

平成26年度

第2次宇和島市男女共同参画基本計画進捗状況調査結果

各課の具体的施策一覧は「概要」をご参照ください。
重複施策については、帳票を省略しています。

男女共同参画関連施策表

基本目標Ⅰ 男女がともに認め合う人づくり

推進方策1 広報・啓発の推進 P1

- ①男女共同参画についての広報・啓発活動の充実
- ②男女共同参画に関する情報の収集と調査・研究の推進

推進方策2 男女共同参画に関する教育・学習の推進 P5

- ①家庭における男女平等に関する教育・学習の推進
- ②教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進
- ③地域における男女平等に関する学習の推進

基本目標Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり

推進方策1 政策・方針決定過程への女性の参画促進 P24

- ①市職員の能力開発・登用等の推進
- ②各種審議会等における女性の参画促進
- ③企業・地域団体等における女性の参画促進
- ④地域社会への男女の参画促進
- ⑤市政への関心の高揚

推進方策2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保 P52

- ①企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進
- ②母性健康管理対策の推進
- ③市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進

推進方策3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立 P64

- ①農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進
- ②再就職や起業活動などへのチャレンジ支援

推進方策4 国際交流・協力の推進 P72

- ①国際交流の充実および国際感覚の向上

基本目標Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり

推進方策1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援 P75

- ①働き方の見直しの促進
- ②家庭生活における男女共同参画の推進

推進方策2 育児期・介護期における環境の整備 P83

- ①子育て支援の充実
- ②介護支援の充実

基本目標Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり

推進方策1 あらゆる暴力の根絶 P116

- ①あらゆる暴力の防止
- ②相談体制の充実と被害者保護の推進

推進方策2 生涯を通じた健康支援 P124

- ①市民の健康づくり支援
- ②教育・相談の充実
- ③保健・医療体制の整備

推進方策3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備 P154

- ①社会参画の推進
- ②介護予防事業の充実
- ③貧困など生活上の困難に直面する男女への支援

【概要・各課施策関連事業】

基本目標Ⅰ 男女がともに認め合うひとづくり

※「計画(2次)での方向」欄について

- ・計画(1次)の事業を継続するもの … 継続
- ・計画(1次)の事業を充実させて行うもの … 充実
- ・計画(2次)で新たに加えたもの … 新規

推進方策1 広報・啓発の推進

1. 男女共同参画についての広報・啓発活動の充実

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
1	男女共同参画セミナーの開催	生涯学習センターにおける男女共同参画セミナー	生涯学習課	1講座/年	1講座/年	2講座/年	継続	1
2	あらゆる機会における広報・啓発活動の充実	男女共同参画広報啓発事業	企画情報課	/	/	/	継続	2
		「議会だより」への掲載	議会事務局	0掲載	1掲載	0掲載	継続	3

2. 男女共同参画に関する情報の収集と調査・研究の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)	keisai		
1	情報の収集・発信の充実		企画情報課	/	/	/	/	/
2	メディアにおける男女共同参画の推進	広報事業への女性参画(広報うわじま・HP作成等)	総務課	1人/2人	1人/3人	1人/2人	継続	4

推進方策2 男女共同参画に関する教育・学習の推進

1. 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
1	家庭教育に関する学習機会の提供	生きる力を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	92%	100%	93%	継続	5
		家庭教育推進事業(地区公民館)	生涯学習課	30館	30館(延べ60回)	29館	充実	6
		校区別人権・同和教育懇談会	人権啓発課	4回	4回	4回	継続	7

2. 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
1	学校等における男女平等教育・啓発の推進	就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	福祉課	/	/	/	充実	8
			福祉課【教育総務課】	/	/	/	充実	9
		豊かな心を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	95%	100%	95%	継続	10
		教職員人権・同和教育研修会(講演会)	人権啓発課	/	/	/	継続	11
2	多様な選択を可能にする教育の充実	特別支援教育推進事業	福祉課【教育総務課】	/	/	/	充実	12
			学校教育課	/	/	/	継続	13
		進路指導推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	89%	100%	89%	継続	14
3	学校等の運営における男女共同参画の推進	幼稚園運営における男女共同参画の推進(実施している施設の割合)	福祉課【教育総務課】	100%	100%	100%	充実	15
		開かれた学校づくり推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	93%	100%	93%	継続	16
4	教育関係者への研修の推進	教職員の資質・能力の向上推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	90%	100%	87%	継続	17

3. 地域における男女平等に関する学習の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
1	地域や事業所における男女共同参画の推進	男女共同参画出前講座	企画情報課	1回	5回	0回	継続	18
		自治会別人権・同和問題学習会	人権啓発課	41回	35回	36回	継続	19
2	多様な学習機会の提供	生涯学習センターにおける男女共同参画セミナー(同一関連事業あり・調査省略)	生涯学習課	1講座/年	1講座/年	2講座/年	継続	1
		市民啓発事業(差別をなくする市民のつどい)	人権啓発課	1,000人	1,500人	1,000人	継続	20
3	学習活動への参加促進	臨時託児所設置事業	企画情報課	/	/	/	新規	21
		学習活動参加促進事業(生涯学習センター・地区公民館)	生涯学習課	/	/	/	充実	22
4	メディア・リテラシーの向上	男女共同参画広報啓発事業(同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課	/	/	/	継続	2
		生きる力を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	89%	100%	90%	継続	23

基本目標Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり

推進方策1 政策・方針決定過程への女性の参画促進

1. 市職員の能力開発・登用等の推進

具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
			現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
	女性市職員の管理職への登用の推進(市の一般行政職における課長補佐級以上に占める女性割合)	総務課	6.1%	5.0%	6.9%	継続	24
	市職員のスキルアップ研修への参画促進	総務課				継続	25
	計画的な人事異動の実施	総務課				継続	26

2. 各種審議会等における女性の参画促進

具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
			現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
1 各種審議会における女性の参画促進	審議会における女性の参画促進(審議会・委員会等における女性の割合)	企画情報課	19%	35%	18%	継続	27
	選挙時の投票立会人における女性参画促進	選挙管理委員会	31%	38%	33%	継続	28
2 人材育成の充実	男女共同参画社会づくり活動補助金交付事業	企画情報課				継続	29

3. 企業・地域団体等における女性の参画促進

具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
			現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
1 事業者等への女性登用の働きかけ	農業協同組合等団体への女性登用の協力要請	農林課				継続	30
	商工会議所、商工会等への要請	商工観光課				継続	31
2 地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進	地域審議会への女性の参画促進	企画情報課	31%	35%(設置期間H27年度末まで)	34%	継続	32
	国民保護協議会及び防災会議における女性委員の登用	危機管理課				継続	33
	廃棄物減量等推進員への女性の参画促進	生活環境課	18%	30%	20%	充実	34
	宇和島市美化運動推進委員会への女性の参画促進	生活環境課	13%	25%	13%	充実	35
	まちづくり女性会議の設立	商工観光課				継続	36

4. 地域社会への男女の参画促進

具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
			現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
1 地域社会での男女共同参画意識の啓発	意識啓発促進事業	生涯学習課				継続	37
2 男性の地域活動への参画促進	男性料理教室(地区公民館)	生涯学習課	3館	30館	4館	充実	38
3 コミュニティ活動の活性化と活動情報の提供	自治会単位での自主防災組織の育成	危機管理課	417組織	500組織	418組織	継続	39
	花いっぱい運動	生活環境課				継続	40
	まちづくりの主体となる組織・リーダー育成事業	商工観光課				継続	41
	青少年活動振興事業	生涯学習課	14,371人	20,000人	18,361人	充実	42
4 コミュニティ施設の整備・充実	インターネットによる施設予約の推進	企画情報課				継続	43
	集会所改修補助事業	企画情報課				新規	44
	市有施設における空きスペースの有効活用	財政課				継続	45
	交流拠点施設の女性の運営参画	商工観光課				継続	46
5 自主防災組織の育成	自治会単位での自主防災組織の育成(同一関連事業あり・調査省略)	危機管理課	417組織	500組織	418組織	継続	39
6 男女共同参画推進団体等のネットワークづくりの推進	男女共同参画推進団体連携事業	企画情報課				新規	47

5. 市政への関心の高揚

具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
			現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
1 市民と行政との情報・意識の共有化	ホームページへのアクセス件数	総務課	1,225件/日	1,800件/日	1,060件/日	充実	48
2 多様な分野における市民及び民間の参画・協働の促進	パブリックコメントを求めた件数	総務課	1件/年	7件/年	8件/年	充実	49
3 ホームページを利用した議会情報の発信	議会インターネットライブ中継	議会事務局				継続	50
4 議会への関心の高揚	議場を活用したイベント等の開催	議会事務局	0回/年	1回/年	0回/年	継続	51

推進方策2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保

1. 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項	
				現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)			
1	就業環境の整備	商工会議所、商工会を通じ事業所等への啓発	商工観光課				継続	52	
			病院局(宇和島病院)				継続	53	
2	雇用機会の確保と雇用の促進	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課				継続	2	
			シルバー人材センター充実支援	高齢者福祉課				継続	54
			地域提案型雇用創造促進事業(セミナーの開催)	商工観光課				継続	55
3	男女雇用機会均等法等について事業所への啓発	団体を通じ、農林業従事者への啓発	農林課				継続	56	
			商工会議所、商工会を通じ事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調査省略)	商工観光課				継続	52
			団体を通じ、水産従事者への啓発	水産課				継続	57
4	男女雇用機会均等法等について市民への啓発	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課				継続	2	
5	企業等における男女平等教育・啓発の推進	男女共同参画出前講座 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課	1回	5回	0回	継続	18	
		男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課				継続	2	
		商工会議所、商工会を通じ事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調査省略)	商工観光課				継続	52	
6	労働に関する相談や苦情への対応	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課				継続	2	
7	セクシュアル・ハラスメントの防止	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課				継続	2	
8	セクシュアル・ハラスメントの相談対応	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課				継続	2	
9	男女どちらかの性の進出が遅れている分野への参画促進	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課				継続	2	
10	市の契約手法の検討	入札(見積)参加資格業者登録への反映の検討	財政課				継続	58	

2. 母性健康管理対策の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
1	女性就労者の健康管理の啓発	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調査省略)	企画情報課				継続	2
		商工会議所、商工会を通じ事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調査省略)	商工観光課				継続	52

3. 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
1	市職員への啓発	市職員男女共同参画研修会	企画情報課				新規	59
2	働きやすい環境づくりとセクシュアル・ハラスメントの防止	市職員のセクハラ被害相談への対応のマニュアル化	総務課				充実	60
		セクハラ相談窓口設置	総務課				充実	61
		選挙時の開票作業における女性参画促進	選挙管理委員会	5%	10%	5%	継続	62
		病院局における各施設へのセクハラ相談窓口	病院局				継続	63

推進方策3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立

1. 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
1	農林水産業、商工業など自営業における男女共同参画の推進	家族経営協定締結の支援	農林課				継続	64
2	農業委員会等への参画支援	農業委員への女性の参画促進	農業委員会	3名	4名	4名	継続	65
3	家族経営協定の推進	家族経営協定締結の支援 (同一関連事業あり・調査省略)	農林課				継続	64
		家族経営協定締結の支援 (事業主管課は農林課・調査省略)	農業委員会	主管課農林課(調査省略)			継続	64
4	経営能力向上のための支援	高速インターネットの普及促進(地域情報化推進事業)	企画情報課				継続	66
		宇和島市生活研究協議会の活動支援	農林課				継続	67
		宇和島地域ブランド化事業	商工観光課				継続	68
		有用貝類・海藻類試験研究事業(特産品の開発)	水産課				継続	69
		農林漁業振興事業資金利子補給事業(経営体制の強化)	水産課				継続	70
5	快適に働くための条件整備	家族経営協定締結の支援 (同一関連事業あり・調査省略)	農林課				継続	64
6	都市と交流・共生する農山漁村づくり	シーカヤックによる交流人口拡大を目指す。	商工観光課				継続	71

2. 再就職や起業活動などへのチャレンジ支援

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績 実績値(H26)	計画(2次) での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)			
1	起業活動の支援		産業経済部各課					
2	女性の職業能力開発のための支援	地域提案型雇用創造促進事業(セミナーの開催) (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				継続	55
3	起業家育成のための情報提供	地域提案型雇用創造促進事業(セミナーの開催) (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				継続	55
4	再就職への支援	地域提案型雇用創造促進事業(セミナーの開催) (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				継続	55

推進方策4 国際交流・協力の推進

1. 国際交流の充実および国際感覚の向上

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績 実績値(H26)	計画(2次) での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)			
1	国際ボランティア養成講座の開催	中国象山県との交流事業(中国語講座開催事業)	総務課	55人	70人	49人	継続	72
2	国際交流の充実	ハワイ交流事業	総務課				継続	73
		日韓友好支援事業	生涯学習課				継続	74
3	国際社会の動向の情報収集		企画情報課					

基本目標Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることのできる環境づくり

推進方策1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援

1. 働き方の見直しの促進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績 実績値(H26)	計画(2次) での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)			
1	事業所に対する働き方の見直しの意識啓発	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				継続	52
2	労働時間短縮等の促進	市職員の年次有給休暇の取得促進	総務課	年平均 9.3日	年平均 10日以上	年平均 9日	継続	75
		市職員の休業・休暇制度の周知、環境整備	総務課				継続	76
		男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				継続	52
3	在宅勤務等、新しい就業形態等の推進	市職員への短時間勤務制度の導入	総務課				継続	77
		市職員の時間外勤務時間の削減	総務課	-	年間上限 360時間	-	継続	78
		高速インターネットの普及促進(地域情報化推進事業) (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	66
		男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2
4	子育てを促進する職場環境の整備	商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				継続	52
		高速インターネットの普及促進(地域情報化推進事業) (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	66
		男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調書省略)	商工観光課				継続	52

2. 家庭生活における男女共同参画の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績 実績値(H26)	計画(2次) での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)			
1	家庭での男女共同参画に関する意識啓発	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2
		意識啓発促進事業 (同一関連事業あり・調書省略)	生涯学習課				継続	37
2	男女共同参画による子育ての促進	保育所・子育て支援センター事業	福祉課				継続	79
		幼稚園の情報機能の活用による意識の見直し	福祉課【教育総務課】	100%	100%	100%	充実	80
		おやじの会推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	84%	100%	87%	継続	81
3	男性の家事・育児等への参画促進	両親学級	保険健康課				充実	82
		男性料理教室(地区公民館) (同一関連事業あり・調書省略)	生涯学習課	3館	30館	4館	充実	38

推進方策2 育児期・介護期における環境の整備

1. 子育て支援の充実

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)			
1	育児休業制度の促進	市職員の仕事と子育ての両立等についての相談窓口での相談受付	総務課				継続	83
		市職員の育児休業等取得率の向上(少子化・子育て支援)	総務課	男性5.3% 女性100%	男性10% 女性100%	男性0% 女性100%	継続	84
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調査省略)	商工観光課				継続	52
2	子ども看護休暇制度の啓発	市職員への子どもの看護休暇等の特別休暇の周知と取得の促進	総務課				継続	85
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調査省略)	商工観光課				継続	52
3	男性の育児休業取得に向けた意識啓発	「えひめの保育」等を通じた情報提供・意識啓発	福祉課				継続	86
4	育児支援サービスの利用促進	保育サービスネットワーク事業	福祉課				充実	87
5	延長保育の充実	延長保育の充実	福祉課	6箇所	9箇所	6箇所	充実	88
6	休日保育の充実	休日保育の充実	福祉課				継続	89
7	特定保育の実施	特定保育の実施	福祉課				充実	90
8	病後児保育の充実(施設型)	病後児保育の充実(施設型)	福祉課	1箇所	2箇所	1箇所	充実	91
9	一時保育の充実	一時保育の充実	福祉課				充実	92
10	パソコンネットワークの構築	保育サービスネットワーク事業 (同一関連事業あり・調査省略)	福祉課				継続	87
11	放課後子どもプランの充実	学童保育の充実	福祉課	9箇所	10箇所	9箇所	充実	93
		放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	10箇所	10箇所 (事業拡充)	11箇所	充実	94
12	地域子育て支援センター事業への支援充実	地域子育て支援センター事業	福祉課				継続	95
13	ファミリー・サポート・センター事業の実施	ファミリー・サポート・センター事業	福祉課				継続	96
14	児童館設置の検討	児童館設置の検討	福祉課	-	1箇所	-	継続	97
15	育児支援等各種の情報提供	保育サービスネットワーク事業 (同一関連事業あり・調査省略)	福祉課				継続	87
16	乳幼児・児童を持つ家庭への各種手当・医療費の助成	乳幼児医療費助成・児童手当	福祉課				継続	98
17	ひとり親家庭への各種手当・医療費の助成	母子家庭医療費助成・児童扶養手当	福祉課				継続	99
18	ひとり親家庭への相談・支援活動の充実	家庭・児童相談室(相談員3人)	福祉課				継続	100
19	ひとり親家庭への就労支援	母子自立支援事業	福祉課				継続	101
20	子育て意識の啓発	子育て支援広報啓発事業	福祉課				継続	102
		健康衛生推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	85%	100%	87%	継続	103
21	子育てを支援する環境整備	歩道の切下げ及び点字ブロックの設置等	建設課	20%	22%	20%	継続	104
		都市公園における移動等円滑化への対応	都市整備課				継続	105
		公営住宅整備事業(バリアフリー型公営住宅数の拡大)	建築住宅課	56戸	128戸	56戸	継続	106
22	地域交流の推進	保育所地域交流事業	福祉課				継続	107
		幼稚園における地域交流	福祉課【教育総務課】				充実	108
		豊かな人間性育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	86%	100%	90%	継続	109
		地域交流推進事業	生涯学習課				継続	110

2. 介護支援の充実

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)			
1	介護休業制度の促進	市職員への休業・休暇制度の周知、環境整備	総務課				継続	111
		商工会議所、商工会を通じての事業所等への啓発 (同一関連事業あり・調査省略)	商工観光課				継続	52
2	介護支援の充実	家族介護支援事業(介護用品支給事業)	高齢者福祉課				継続	112
		在宅老人等介護手当事業	高齢者福祉課				継続	113
		地域支援事業(高齢者見守り配食事業(週3回以内配食、安否確認))	高齢者福祉課				継続	114
		やわらか食お料理教室	病院局 (宇和島病院)				継続	115

基本目標Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり

推進方策1 あらゆる暴力の根絶

1. あらゆる暴力の防止

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
1	あらゆる人に対する暴力の防止	防犯灯設置補助金交付事業	企画情報課				継続	116
		児童虐待・DVに関する情報を広報に掲載	福祉課				継続	117
		「愛の一声」活動推進事業(少年センター)	生涯学習課				継続	118
		市民啓発推進事業	人権啓発課				継続	119
2	配偶者等からの暴力の防止	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2
		DVに関する情報を広報に掲載	福祉課				継続	120
3	ストーカー行為防止対策	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2
		婦人相談員事業	福祉課				継続	121
4	外国人労働者に対する暴力等の防止	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2

2. 相談体制の充実と被害者保護の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
1	相談事業の充実	婦人相談員事業 (同一関連事業あり・調書省略)	福祉課				継続	121
2	被害者保護の推進	DV被害者の申請による住民票等交付制限の取扱い等の徹底	市民課				継続	122
		相談体制の充実(週5日常勤の婦人相談員の配置)	福祉課				継続	123
3	雇用の分野以外でのセクシュアル・ハラスメントの防止・相談体制の充実	男女共同参画広報啓発事業 (同一関連事業あり・調書省略)	企画情報課				継続	2
		婦人相談員事業 (同一関連事業あり・調書省略)	福祉課				継続	121

推進方策2 生涯を通じた健康支援

1. 市民の健康づくり支援

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
1	健康教育・健康相談	健康相談事業	保険健康課				充実	124
		健康教育事業	保険健康課				充実	125
		高齢者サロンへの医療出前講座	病院局 (吉田病院)	.3回	18回	2回	新規	126
		医療懇談会の実施(地域住民の健康増進)	病院局 (津島病院)	42回	50回	7回	継続	127
2	生活習慣病予防教室	特定保健指導の推進	保険健康課	37%	60%	41%	継続	128
		糖尿病教室	病院局 (宇和島病院)				継続	129
		心臓病教室	病院局 (宇和島病院)				継続	130
		肝臓病教室	病院局 (宇和島病院)				新規	131
		生活習慣病予防のためのお料理教室	病院局 (宇和島病院)				新規	132
3	壮年期からの健康づくり	心の健康相談事業	保険健康課				継続	133
4	男性に対する健康づくり支援	心の健康づくり教育事業	保険健康課				継続	134
5	喫煙・飲酒に対する対策	健全育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	92%	100%	92%	継続	135
		受動喫煙防止対策事業(公民館施設内禁煙)	生涯学習課				継続	136
		禁煙外来の開設	病院局(宇和島・津島病院)				新規	137
6	安心して子どもが産める環境づくり	妊婦健康診査(公費負担)	保険健康課	99.1%	100%	97.5%	継続	138
		母親学級・両親学級 (同一関連事業あり・調書省略)	保険健康課				充実	139
		妊産婦相談	保険健康課				充実	82
		母子健康手帳の交付事業	保険健康課				充実	140
		安産教室	病院局 (宇和島病院)				新規	141
		育児学級	病院局 (宇和島病院)				継続	142
7	生涯スポーツの推進	総合型スポーツクラブの組織充実への支援	生涯学習課	H21年度廃止				

2. 教育・相談の充実

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績 実績値(H26)	計画(2次) での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)			
1	HIV/エイズや性感染症に関する知識の普及	HIV/エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発	保険健康課				継続	143
		健康衛生推進事業・人権啓発推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	89%	100%	89%	継続	144
2	発達段階に応じた生命と人権を大切に する性教育の推進	生きる力を育む教育推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	89%	100%	90%	継続	145

3. 保健・医療体制の整備

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績 実績値(H26)	計画(2次) での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)			
1	健康診査	基本健康診査の推進(H19年度老人保健法→H20年度特定健診の受診率)	保険健康課	22%	60%	26.2%	継続	146
		人間ドックの充実(施設設備・検査項目)	病院局 (宇和島病院)				継続	147
2	がん検診の体制整備	がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課	8.7~29.0%	50%	8.2~16.5%	継続	148
3	地域医療の充実	国民健康保険直営診療所運営事業	保険健康課	9施設4医師	9施設5医師	9施設4医師	継続	149
		診療船うわじま維持管理事業	保険健康課				継続	150
		病院と診療所の連携強化	保険健康課				継続	151
			病院局 (宇和島病院)				新規	152
		地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局 (宇和島病院)				継続	153

推進方策3 高齢者や障害者等がいそいそと生活できる条件整備

1. 社会参画の推進

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績 実績値(H26)	計画(2次) での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)			
1	地域生活支援体制の整備	コミュニティバス運行事業	企画情報課	37,323人	43,000人	36,190人	継続	154
		生活交通バス路線維持・確保事業	企画情報課				継続	155
		離島航路維持・確保事業	企画情報課				継続	156
		在宅福祉事業(宇和島市緊急通報装置貸与事業)	高齢者福祉課				継続	157
		家族介護支援事業(介護用品支給事業) (同一関連事業あり・調書省略)	高齢者福祉課				継続	112
		在宅老人等介護手当事業 (同一関連事業あり・調書省略)	高齢者福祉課				継続	113
2	地域生活の支援	地域支援事業(高齢者見守り配食事業(週3回以内配食、安否確認)(同一関連事業あり・調書省略)	高齢者福祉課				継続	115
		コミュニケーション支援事業	福祉課	374人	500人	405人	充実	158
		移動支援事業	福祉課				継続	159
		地域活動支援センター	福祉課	175人/月	延利用人数 9,500人	189人/月	継続	160
		日常生活用具医療等事業	福祉課	588人	350人	560人	継続	161
		相談支援事業	福祉課				継続	162
		自立支援医療事業	福祉課				継続	163
		重度心身障害者医療事業	福祉課				継続	164
		特別障害者(児)福祉手当事業	福祉課				継続	165
		特別児童扶養手当事務事業	福祉課				継続	166
3	教育・育成の充実		福祉課				継続	167
		特別支援教育推進事業	福祉課【教育総務課】				充実	168
			学校教育課				継続	169
4	消費者対策の充実	消費者教育事業(消費者講座)	企画情報課	310人	500人	92人	継続	170
		消費者啓発事業	企画情報課				継続	171
5	高齢者の生きがいづくり	老人クラブ育成事業	高齢者福祉課				継続	172
		老人福祉事業(シルバー人材センター充実支援) (同一関連事業あり・調書省略)	高齢者福祉課				継続	55
		高齢者の生きがいづくり推進事業(地区公民館)	生涯学習課	26館	30館	27館	充実	173
6	高齢者や障害者等にやさしいまちづくり	歩道の切下げ及び点字ブロックの設置等 (同一関連事業あり・調書省略)	建設課	20%	22%	20%	継続	104
		都市公園における移動等円滑化への対応 (同一関連事業あり・調書省略)	都市整備課				継続	105
		公営住宅整備事業(バリアフリー型公営住宅数の拡大) (同一関連事業あり・調書省略)	建築住宅課	56戸	128戸	56戸	継続	106
		障害者用トイレ設置事業(中央・地区公民館)	生涯学習課	13館	15館	13館	継続	174

2. 介護予防事業の充実

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
1	介護予防事業の実施	介護予防事業に係る二次予防事業	高齢者福祉課				継続	175
		介護予防事業に係る一次予防事業	高齢者福祉課				継続	176
2	地域包括支援センター事業の実施	介護予防ケアマネジメント事業	高齢者福祉課				継続	177
		総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課				継続	178
		成年後見人制度支援事業	高齢者福祉課				継続	179
		包括的・継続的ケアマネジメント事業	高齢者福祉課				継続	180
3	認知症高齢者への支援	介護予防事業に係る一次予防事業 総合相談権利擁護事業	高齢者福祉課				継続	181

3. 貧困など生活上の困難に直面する男女への支援

	具体的施策	関連事業	担当課	数値目標		実績	計画(2次)での方向	項
				現状値(H25)	目標値(H29)	実績値(H26)		
1	多重債務相談の実施	多重債務相談	企画情報課				新規	182

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	1 広報・啓発の推進	
施策の方向及び具体的施策	1 男女共同参画についての広報・啓発活動の充実	(1) 男女共同参画セミナーの開催

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
生涯学習センターにおける男女共同参画セミナー	生涯学習課	1講座/年	1講座/年	①充実		●	③新規	
事業の概要								
講演会や研修会等あらゆる機会を通じて、男女共同参画の理念や内容についての啓発を行うために研修会を行う。								
平成26年度実績								
主催事業としては実施していない。 後援・・・松山大学公開講座in宇和島 参加者数41人 共催・・・カタリバin宇和島2014+1 WINTER 参加者数41人								決算額
								0千円
								実績値
								2講座
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
平成26年度生涯学習センターの主催事業を実施することが出来なかった。継続実施ができるよう努力したい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3
平成27年度予定								
公開講座2回(実施予定)								予算額
								40千円
								目標値
-								

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	1 広報・啓発の推進	
施策の方向及び具体的施策	1 男女共同参画についての広報・啓発活動の充実	(2) あらゆる機会における広報・啓発活動の充実

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
男女共同参画広報啓発事業	企画情報課			①充実		●	③新規	
事業の概要								
男女共同参画に関する理解を広めるため、国の取組みや宇和島市で策定した「男女共同参画基本計画」に基づく施策などを広報誌などにより周知するほか、市民を対象とした講演会やイベントを開催して意識啓発を図ろうとするものである。								
平成26年度実績								
【男女共同参画講演会】 日時：平成26年7月12日(土)13:30～15:00 場所：南予文化会館 内容：講演会 講師 書家 金澤泰子 氏 演題 「ダウン症の子どもを育てて学んだこと～天使がこの世に降り立てば～」 ロビー展(人権に関するパネル展,消費生活に関するパネル展)								決算額
								911千円
								実績値
								左記参照
								進捗状況
5								
事業に対する評価・課題等								
参加人数は講演会始まって依頼最高の834名の方にご来場いただくことができた。また、若い方から年配の方、障がいをお持ちの方など幅広く講演会に参加していただくことで、男女共同参画について多くの方に啓発することができる実のある講演会となった。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成27年度予定								
【男女共同参画講演会】 日時：平成27年8月8日(土)13:30～15:00 場所：南予文化会館 内容：講演会 講師 声優 増岡 弘 氏 ロビー展 (人権に関するパネル展,消費生活に関するパネル展,えひめ国体に関するパネル展)								予算額
								907千円
								目標値
								-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	1 広報・啓発の推進	
施策の方向及び具体的施策	1 男女共同参画についての広報・啓発活動の充実	(2) あらゆる機会における広報・啓発活動の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
「議会だより」への掲載	議会事務局	0掲載	1掲載	①充実		●	③新規

事業の概要

年4回発行している議会だよりの紙面の一部を利用して男女共同参画啓発に関する文面を掲載する。

平成26年度実績

実績なし	決算額	-
	実績値	-
	進捗状況	-
		-

事業に対する評価・課題等

議会的には題材に乏しいが、女性議員を特集するなど、今後検討していく必要がある。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

平成27年度予定

実施を検討する。	予算額	-
	目標値	-
		-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	1 広報・啓発の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 男女共同参画に関する情報の収集と調査・研究の推進	(2) メディアにおける男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
広報事業への女性参画(広報うわじま・HP作成等)	総務課	1人/2人	1人/3人	①充実		●	③新規
事業の概要							
市の広報紙、ホームページ等について男女双方から見ても違和感、疎外感のない表現となよう点検し、必要に応じて見直しを行ないます。また、刊行物等に関する表現についてガイドラインの作成を検討します。							
平成26年度実績							
市の広報紙、ホームページ等について、男女双方から見ても違和感、疎外感のない表現となるよう点検している。							決算額
							-
							実績値
							1人/2人
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
男女双方から見ても違和感、疎外感のない表現ができた。 刊行物等に関する表現についてはガイドラインの作成には至っていない。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
広報紙、ホームページ等における表現について、必要に応じて見直しを行う。 また、刊行物等に関する表現についてガイドラインの作成を検討する。							予算額
							-
							目標値
							1人/2人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	1 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 家庭教育に関する学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
生きる力を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	92%	100%	①充実		●	③新規

事業の概要

家庭学習の習慣化、早寝・早起き・朝ごはん運動を、学校と家庭との連携を強化して推進する。
学級PTAや参観日の話し合いの場で、家庭教育のあり方について考えるなど、家庭教育に関する学習の機会を多く持つ。

平成26年度実績

校区別人権・同和教育懇談会を、人権・同和教育参観日に行った。 PTA懇談会の内容を検討し、充実を図った。また、公民館との連携により、地区内懇談会の充実も行った。 学校だより、学年・学級通信、保健だより、生徒指導通信など、各種通信を定期的に発行した。また、ホームページの更新にも努めた。 家庭科や総合的な学習の時間、そして道徳の時間等に、相手の人格と立場を理解尊重し、助け合うことの大切さを学んだ。 男女の特性を理解したうえで家庭における生活の在り方については、保健体育科、技術・家庭科、学級活動等で、発達段階に応じた年間指導計画でその基盤について学習している。 地区別教育懇談会を実施し、少人数グループで家庭学習や学校での学習の様子などを話し合い、学校と家庭との協力関係を構築できた。 家庭学習の習慣化を図るため、強調週間や月間を設け、家庭との連携を図るとともに、学級PTA等で家庭学習の在り方について話し合った。	決算額
	実績値
	93%
	進捗状況
	4

事業に対する評価・課題等

講演会等の行事への保護者の出席率が高まった。
 学校だよりを校区の住民に回覧し、閲覧していただいた。
 講演会など各種行事への参加人数の確保が難しい。
 児童の学力向上を目指し、家庭での学習について啓発を続けた結果、理解は深まっている。
 学級の参観授業では、保護者の参加人数はある程度確保されているが、学級懇談会やPTA総会における参加人数は少ない。そのため、家庭との連携強化を図るためには、PTA懇親会、学級レクバレー大会、学級レクレーション及び各部活動での遠征等、保護者に協力いただくあらゆる機会を捉えて、家庭教育のあり方及び学校との連携について、触れていく必要がある。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成27年度予定

家庭科、社会科の授業において、家庭教育に関する学習を推進する。 各種通信やホームページ等を利用し、情報発信に尽力する。 みんなが興味を示し、積極的に参加できる事業を行う(参加率を上げる)。 学級レク活動が楽しい交流の場となり、保護者とおし意思疎通が図れるようにする。 PTA専門部会を中心に、みんなが会の企画・運営に参加できる事業を実施する。 男女の協力等についての授業を公開する。 学校だよりや各種通信をとおりて家庭との連携を図り、家庭の役割などについても啓発を図る。 昨年度内容を充実することができたホームページや学校通信などを、家庭との双方向ツールとして活用する。 PTA行事に来ていただいた保護者に、「また参加してみたい。」という気持ちになってもらう内容の工夫をする。 PTA運営委員会、学級PTAを中心に、家庭教育のあり方について考えるとともに誰もが参加できる行事の運営を工夫する。	予算額
	目標値
	100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり						
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進						
施策の方向及び具体的施策	1 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進			(1) 家庭教育に関する学習機会の提供			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
家庭教育推進事業(地区公民館)	生涯学習課	30館	30館 (延べ60回)	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
家庭教育力の向上を目指し、保護者会などの機会を活用して思春期の子どもをもつ親を対象に公民館で家庭教育に関する講座を実施するもの。							
平成26年度実績							
【家庭教育講座】 実施公民館数 : 29館 講座実施回数 : 72講座 延べ時間数 : 129時間 参加者数 : 2,864人(うち、男性880人、女性1,984人)							決算額
							420千円
							実績値
							29館
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
実施公民館数が、平成25年度から1館減少した。 講座の内容として、子育て・食育等が中心となっているため、参加者がどうしても女性中心になる。 職をもつ親が参加しやすいように夜間(18:00以降)の開講も積極的に進めていきたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
【家庭教育講座】 実施公民館数 : 30館 講座実施回数 : 87講座 延べ時間数 : 130時間							予算額
							484千円
							目標値
							30館

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり						
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進						
施策の方向及び具体的施策	1 家庭における男女平等に関する教育・学習の推進			(1) 家庭教育に関する学習機会の提供			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
校区别人権・同和教育懇談会	人権啓発課	4回	4回				
事業の概要							
人権尊重の意識を高めるとともに、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるため、毎年1回講師を招いての講演会等を開催するものである。							
平成26年度実績							
会場 講師	宇和島市立玉津小学校 平成26年6月15日(日) 参加者:35名 eネットキャラバン・親子で作る人権標語 eネットキャラバン 宇都宮康弘さん						決算額
							40千円
会場 講師	宇和島市立清満小学校 平成26年10月26日(日) 参加者:125名 「愛顔の人権ストーリー」 宇和島市人権教育協議会副会長 酒井忠彦さん						実績値
							100%(4回)
会場 講師	宇和島市立吉田中学校 平成26年12月6日(土) 参加者:419人 「みんなちがってみんないい」 のらねこ学かん館長 塩見志満子さん						進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
講演を聞いて、比べるのは他の人ではなく、今までの自分で、輝く個性を幸せに生きる権利を大切にしようと感じた。今後、自分を愛して、信じて、大切な子育てをしていきたい。 保護者・一般参加が少なく残念であった。今後、時期や運営方法を見直し、多くの方が参加できるよう改善していきたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成27年度予定							
人権尊重の意識を高めるとともに、人権の視点や関連から男女平等の考え方や家庭生活の大切さについての認識を深めるため、人権問題講演会等を4回程度開催する。						予算額	
						40千円	
						目標値	
						100%	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	福祉課			●			
事業の概要							
学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止に努めます。							
平成26年度実績							
保育所において、人権の尊重や男女の相互理解と協力の重要性、勝ち得生活の大切さなどの教育を実施している							決算額
							0千円
							実績値
							-
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
前年度と同じ							予算額
							0千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
就学前教育における啓発の推進(実施している施設の割合)	福祉課【教育総務課】			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなどの教育を充実させます。また、児童生徒一人一人の特性に応じた生徒指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止に努めます。								
平成26年度実績								
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の幼児理解とその特性を生かしながら、心身ともに調和的な発達を図るとともに、自分の思いや考えなどを表現することができ、友達の思いにも気づき、優しさや思いやりの気持ちを持つことができるように援助した。 幼児一人一人の発達や特性を理解し、職員が連携し合い、また家庭とも連携を図りながら、より良い成長が促されていくよう、見守ったり、援助した。 幼児同士が関わる中で、互いの良さに気付くように努めた。 遊びや生活の中で、縦割り集団による活動を積極的に取り入れ、優しさや思いやりの気持ちが育まれるよう取り組んできた。 互いの思いを伝え合い、相手を思いやる幼児の育成・指導に努めた。 家庭教育支援事業等を通して、子育ての楽しさや家庭教育の大切さを知らせるなど、保護者への啓発を図ってきた。 家庭生活の大切さを啓発した。 家族参観日など、子育てに関心を示してもらおう機会を設けるとともに、人権・同和教育の研修会や保育実践を行う。 								決算額
								—
								実績値
								100%
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の幼児理解に努め、発達課題を明らかにし個々に即した指導に取り組むことができた。集団生活における決まりの必要性を知らせ、自己抑制ができるように努めるとともに命の大切さについても知らせていく。 教職員が共通理解のもと幼児とかかわっていったので、幼児一人一人の成長や発達が見られた。 幼児一人一人の思いや願いを受け止めながら発達に即した教育を行うことができたが、生活リズムの乱れから遅刻や欠席等が続く家庭については、理解・協力がなかなか得られなかった。 保護者の子育てに対する意識の変化がみられるようになった。 互いの思いを伝えたり、受け止めたりしながら活動するようになった。 人権・同和教育研修会を通して、人権尊重への意識や、家庭生活の大切さを理解してもらうことができた。 								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成27年度予定								
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人の幼児理解に努め、発達段階を見極めながら、個々に合った指導の在り方について研修を深めていく。 引き続き職員間の幼児理解と個に応じた援助等を行うとともに、保護者への啓発に努める。 家族参観日・人権・同和教育学習会 「自尊感情」を視点に、人権教育を推進する。 								予算額
								—
								目標値
								100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
豊かな心を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	95%	100%	①充実	②継続	●	③新規	
事業の概要								
<p>学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭生活の大切さなど教育の充実。児童一人一人の特性に応じた指導を行うことにより、いじめや不登校の未然防止を図る。男女平等の精神を学校教育全体を通して児童に指導していく。</p>								
平成26年度実績								
<p>「学校生活に関するアンケート」を定期的実施することにより、生徒のトラブルの早期発見、早期対応につなげることができた。教員一人一人の能力・特性を生かした適材適所の校務分掌を作成した。全校児童生徒を対象に「生活アンケート」を学期1回行った。教育相談活動を全教職員で担当し、児童の悩みや不安の把握に努めた。児童の活動については、全校を縦割り班で行い、一人一人の個性に応じた役割を發揮できるようにした。すべての児童が自尊感情をもって学校生活を送れるよう児童理解と学習指導の充実に努めた。定期的に「児童を見つめる会(生徒指導研修)」を実施し、全教職員体制で、児童一人一人の特性に応じた指導に努めた。生徒指導情報を全教職員が共有し、生徒指導に対応することができた。学校等において、人権の尊重、男女の相互理解と協力の重要性、家庭教育の大切さ等に関する教育を充実させた。児童生徒一人一人の特性、教育的ニーズに応じた指導を行うことで、いじめや不登校の未然防止を図った。</p>								決算額
								実績値
								95%
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
<p>男女が協力する場面を多く見かけることができた。学級担任だけでなく、生徒が希望する教師による教育相談も実施し、全教職員で全校生徒を見守る体制を整えることができた。生徒については、生徒会活動を中心に朝ボランティア活動及び「小さな花の会」活動など、独自の取組を実践することができた。教職員については、組織力を生かした指導が充実した。性教育等、男女の違いや男女の協力の在り方について学習する機会を更に充実させる必要がある。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成27年度予定								
<p>いじめ・不登校対応については、こども支援教室、主任児童委員、SSW等とも連携を図り、いろいろな角度から子どもを支える体制を築く。互いによさを認め合い、高めあう教職員の雰囲気作りに努める。地域や学校関係者評価委員と積極的な意見交換を行い、課題の改善に取り組む。全校縦割り班活動の実施。児童一人一人の人権を尊重し、個性を伸ばす指導に努める。学級活動や道徳の時間において、相手を思いやる心を育み、いじめや不登校の未然防止に努める。校区別人権・同和教育懇談会を実施し、人権尊重の意識を高める。全校児童と向き合う時間の確保に努め、教師に悩みや願いを相談できる信頼関係を確立する。</p>								予算額
								目標値
								100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(1) 学校等における男女平等教育・啓発の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
教職員人権・同和教育研修会(講演会)	人権啓発課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
様々な人権問題解決への確固たる姿勢を確立するとともに、男女平等の意識も含めた人権意識を高め、一人ひとりの教職員の資質向上を図るため年1回研修会を開催する。							
平成26年度実績							
日 時 平成26年8月8日(金) 会 場 宇和島市立コスモスホール三間 テ ー マ 「今、携帯を持つ子どもたちに起きている事実」～ネットいじめをはじめとするトラブルの現状と対応～ 講 師 WEB110(ウェブワンテン)主宰 吉川誠司さん 参加人数 523名							決算額
							232千円
							実績値
							100%
							進捗状況
5							
事業に対する評価・課題等							
現在は警察庁の委託事業のインターネットホットラインセンターのセンター長である講師による、パワーポイントを使用した非常に分かりやすい講演であった。ネットいじめ・自撮り・炎上・出会いをキーワードに子どもたちのすぐ側に潜むケータイ・スマホに起因するトラブルや事件について実話を交えて説明され、決して他人事ではないと自分のこととして捉えることができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
日 時 平成27年8月7日(金) 会 場 宇和島市立コスモスホール三間 テ ー マ 「母娘で問うた部落差別」 講 師 坂田かおりさん 参加人数 530名							予算額
							250千円
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(2) 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
特別支援教育推進事業	福祉課 【教育総務課】			①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
子どもたちが将来の進路や仕事、家庭生活等について、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう、指導の充実を図ります。また、一人一人のニーズに合った特別支援教育の充実を図ります。								
平成26年度実績								
<ul style="list-style-type: none"> ・園だより・クラスだより・アンケートや行事の感想等を通して、園での幼児の姿や育ちを知らせるとともに、家庭教育学習会を実施し、家庭教育の大切さや楽しさなどを共有することで、保護者の子育ての参考になることや思い等発信した。 ・保護者学習会や懇親会、園便り、クラス便りなどを通じて、園の教育方針や指導への理解を図るとともに、幼児の育ちや保護者の思いを伝え合い、子育ての大切さや楽しさを共有したり啓発した。 ・多様なニーズに対応できる環境構成や、幅広い考えを受け入れる素地作りの指導に取り組んだ。 ・一人一人の個性を尊重し、様々な体験を通して、自分に自信を持ち、自分を大切にできる幼児を育てる。 ・家庭の協力を得ながら、幼児一人一人に自尊感情の芽生えを育み、配慮を要する幼児を中心に主体的に取り組む幼児集団の育成を目指してきた。 								決算額
								—
								実績値
								100%
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携を深め、協力しながら、幼児自身が自分で考え、自分で行動することができるよう生きる力の基礎を培っていく。 ・幼児の実態を見極めながら、ニーズに合った指導の充実を図る。 ・自分で考え判断し、行動することができる、生きる力の基礎を身につけるための指導の充実を図る。 ・自己肯定感や自覚を促すことができる環境や指導方法を工夫し、幼児自らの学ぶ力を引き出していく必要がある。 ・園生活の中で、様々な経験を通して人と関わる力や表現する力がついてきた。 ・幼児にとって、実体験の大切さと必要性、それによる発達の違いなどを実感した。今後も保護者の協力を得ながら、幼児に様々な体験をさせたい。 ・幼児の個性や発達に応じた指導法について、教師自身がさらに課題意識をもって取り組む。 								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成27年度予定								
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学習会の充実した内容の選択と取組 ・家庭教育の啓発や、保護者への子育てに関する支援を考える。 ・保護者の実情や要望等に適した学習会の内容を取り入れ、園と保護者との一層の連携を図る。 ・幼児と特性や家庭環境等に応じた指導を工夫し、幼児自らの学ぶ力を引き出していく。 ・園内研修の充実・各研修会への参加 ・保護者との連携を通じて、一人一人の課題や問題点を探り、解決に努める。 ・多様な経験の場を保障し、生活力を育む。 								予算額
								—
								目標値
								100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(2) 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
特別支援教育推進事業	学校教育課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
<p>一人一人のニーズにあった個別の教育支援計画を作成するなど、特別支援教育の充実を図る。 校内支援委員会において、全職員の共通理解を図り、より適切な支援ができるようにする。 一人一人の良さを生かす教育を推進する。</p>							
平成26年度実績							
<p>特別支援教育コーディネーターを中心とし、特別支援教育の校内研修の充実を図った。 一人一人のニーズにあった個別の教育支援計画を作成するなど、特別支援教育の充実を図った。 校内支援委員会において、全職員の共通理解を図り、より適切な支援ができるようにした。 授業のユニバーサルデザイン化を推進し、どの子にも分かりやすい授業が展開できるよう努めた。</p>							決算額
							実績値
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
<p>個別の支援計画や指導計画に基づき、全教職員が共通理解のもと、長期的な視野に立った指導や関わりができた。 一人ひとりの障害に対する正しい理解と認識を深め、適正な就学の推進に努め、関係機関と連携し指導内容や方法の充実を図った。 個人の支援計画や指導計画に基づき、全教職員が共通理解のもと、長期的な視野に立った指導や関わりができた。 一対一の落ち着いた学習活動ができた。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
<p>特別支援学級の児童に対し、保護者との連携、支援員との協力体制の強化により適切な配慮と指導に努める。 特別支援教育に関する研修の機会を増やし、ユニバーサルデザインの授業が行えるよう、教師の実力を高める。 個に応じた支援活動の充実。 特別支援学級の児童に対し、保護者との連携、支援員との協力体制の強化により適切な配慮と指導に努める。 一人一人の良さを生かす教育を推進する。</p>							予算額
							目標値
100%							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(2) 多様な選択を可能にする教育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
進路指導推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	89%	100%	①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>将来の進路や仕事、家庭生活等において、性別にとらわれず主体的に多様な選択ができるよう指導の充実を図る。キャリア教育の推進。発達段階に応じた職業意識を育てる。自己有用感を育てる。</p>							
平成26年度実績							
<p>生徒の自己有用感の育成を図るため、生徒の良さを伸ばす声掛けや指導に努めた。高校説明会や先輩からの講話を行い、職業選択の自由や将来について夢をもち生活できる態度の育成に努めた。職業講話、進路説明会及び進路懇談会を開催することで、学校と家庭が将来の生徒の進路について話し合う機会を提供することができた。職場体験学習及び高校一日体験入学に、生徒を積極的に参加させた。</p>							決算額
							実績値
							89%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>現在の学習や生活が、将来の自分につながっていることを理解させるためにも、キャリア教育の更なる充実が必要である。いくつかの職種の講師を依頼し、各グループごとに職業講話を行った。生徒は自分の興味・関心に応じ、講座を選択したが、このことにより、将来の進路について具体的に考えていこうとする生徒の意識の変容が見られた。将来の夢や目標について考えさせることも大切である。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
<p>ジョブカフェによる研修会を実施し、キャリア教育に関する教員の指導力向上を図る。生徒一人一人に適した進路決定させるため、学級指導及び進路指導委員会での協議を充実させる。家庭における自分の仕事を体験させ、働くことの尊さを実感させる。様々な職業に関する学習や体験を充実させる。</p>							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(3) 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
幼稚園運営における男女共同参画の推進(実施している施設の割合)	福祉課 【教育総務課】	100%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
幼稚園運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、これがPTA活動などにも浸透するよう努めます。								
平成26年度実績								
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へPTA研修会への参加の呼びかけや参加を通して学習の機会を提供してきた。またPTA活動においては、互いに協力し合い取り組めた。 ・園行事やPTA活動においても積極的に取り組み、協力し合い、浸透していくよう努めた。 ・職員会や園内研修などを通して、共通意識をもち協力して仕事に取り組んできた。 ・家庭教育学習会や子育てサポート内容の充実を図った。 ・男の会長を中心に、役員は勿論、保護者の協力を得ながら、園の様々な活動に取り組んできた。 ・園行事に父親参加を呼びかけ、子育てへの関心をもってもらった。 								決算額
								—
								実績値
								100%
								進捗状況
								5
事業に対する評価・課題等								
<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画にかかわる家庭教育学習会の機会を提供しさらに推進に努める。 ・PTA活動の中で、家庭教育に関する学習の機会を持つことができた。 ・PTA活動の中で、男女共同参画にかかる家庭教育に関する学習の機会を提供する必要がある。 ・父親参加が多く見られる。引き続き、PTA活動の中に、男女共同参画の意識を高める内容を組み込んでいく。 ・保護者のニーズに合った行事日程を組むことで、参加者も多く、男の会長を中心に保護者の協力を得ることができた。 								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成27年度予定								
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児への適切な指導の為の研修会への参加と充実。 ・人権・同和教育保護者学習会、子育て学習会、PTA活動の充実を図る。 ・PTA活動の精選、父母だけでなく、祖父母も参加しやすい行事の持ち方を工夫する。 								予算額
								—
								目標値
								100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(3) 学校等の運営における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
開かれた学校づくり推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	93%	100%	①充実	②継続	●	③新規

事業の概要

学校運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、PTA活動などにも浸透するよう努めている。専門職としての資質・能力の向上と信頼される組織作り。保護者や地域の人々と連携した学校づくり。

平成26年度実績

<p>男女の特性を活かしたPTA活動を行うことができた。 PTA役員への女性の登用。 互いによさを認め合い、高めあう教職員の雰囲気作りができた。 重点改善指導目標に対して、男女の性別にとらわれずにチームで行動する組織作りに努めた。 学校評価アンケート、学校関係者評価委員会の方のご意見を取り入れ、開かれた学校づくりのために改善を図った。 学校運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進するとともに、それがPTA活動に浸透するように努めてきた。 PTA理事の女性の視点を生かしたPTA活動を行うことができた。 男女の性別にとらわれずにチームで行動する組織作りに努めた。 保護者や地域の声に耳を傾け、要望等に対しては即日対応を心掛けた。</p>	決算額
	実績値
	93%
	進捗状況
4	

事業に対する評価・課題等

PTA活動への父親の参加が増え、男女が協力して活動することができた。
主任児童委員と情報交換会をもつなど、地域との連携が一步前に進んだ。
教職員集団が団結し、共通理解のもと、協力した実践ができた。
学校関係者評価委員会での答申を元に明確になった課題に対して、具体的な改善や問題解決に取り組んだ。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成27年度予定

<p>専門職としての資質・能力の向上と信頼される教職員の組織づくり。 男女の特性を生かしたPTA活動への参画。 学校評価アンケート、学校関係者評価委員会、ほか、地域のボランティアの方々、公民館関係の方々などとの交流の中で、様々な意見を参考にしていきたい。 学校運営における男女の役割を見直すなど、男女共同参画を推進する。 PTA役員(運営委員会)について、本年度も男9名、女10名となり、男女のバランスのとれた構成となっている。</p>	予算額
	目標値
	100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	2 教育の場における男女平等に関する教育・学習の推進	(4) 教育関係者への研修の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
教職員の資質・能力の向上推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	90%	100%	①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>男女共同参画に関わる研修の充実。 教職員の資質・能力の向上、各種研修会への参加の充実。</p>							
平成26年度実績							
<p>学校運営における男女の役割を見直し、教職員一人一人の資質・能力の向上に努めた。 校外での研修成果を報告し、教職員全員がそれを共有することで資質・能力の向上を図った。 少人数グループでの校内研修を実施するなど、教員の研修参加への意欲を高めることができた。 男女性差なく研修の機会が与えられており、指導力、人間的魅力を高めている。</p>							決算額
							実績値
							87%
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
<p>セクハラにかかわる意識の高まりが見られた。 共通理解を行ったため、職員全員が個に応じた指導を行うことができた。 一人1回の授業研究を実施し、教職員の資質・能力の向上に努めた。 職員の資質・能力の向上につながった。 研究授業、研究協議を重ねることで、授業力の向上が見られた。 一つの研究主題に向けて、全職員で取り組む体制ができ、組織力が向上した。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
<p>セクハラ・パワハラについての研修会を持つ。 中学校区の共通課題を踏まえ、さらに協力して校内研修の充実に努める。 校内支援委員会を全職員の参加で行い、児童一人一人に応じた指導や支援を行っていく。</p>							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(1) 地域や事業所における男女共同参画の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
自治会別人権・同和問題学習課	人権啓発課	41回	35回	①充実		●	③新規

事業の概要

昨今、マスコミ等では日々悲惨な事件や事故等が報じられている。学校では、いじめ・不登校、家庭では、幼児虐待・引きこもり・ニート・DV、職場では、リストラ・セクハラ・パワハラ等の言葉が頻繁に聞こえるようになってきた。地域のコミュニティーも疎遠になりつつある。このような状況の中で、心通い合う明るい町を作ることは皆の願いである。その願いを実現するために、人権・同和問題学習会を通じて、地域の住民と一緒に毎日の暮らしを見つめ直しながら色々な問題について意見交換をすることを目的とするものである。

平成26年度実績

わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会 目的：同和問題をはじめとする様々な人権問題に対する理解と認識を深め、あらゆる差別を解消する意欲と実践力を養う。 開催期間：平成26年12月12日～平成27年2月25日 19:00～20:30 会場：20自治集会所(28自治会区) 参加者数：117名 内容：アイスブレイキング(様々なリボン)、視聴覚教材による人権学習他 推進員：公民館主事、教職員他 であい・ふれあいみんなの人権講座：小集団人権学習会 テーマ：同和問題と人権 会場：16自治会の集会所または公民館(16自治会区) 開催期間：平成26年10月6日～平成26年10月20日 19:30～21:00 参加者：192人 推進委員：三間町人権教育推進委員(32名：6藩編成)であい・ふれあい・みんなの人権講座	決算額
	858千円
	実績値
	100%(36回)
	進捗状況
5	

事業に対する評価・課題等

わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会
 参加者が年々減少しているため、周知方法や内容等の検討が必要である。

であい・ふれあい・みんなの人権講座：人権学習会
 回覧等で周知はしているが、参加者が各自治会10人程度と少なく、今後どう参加者を増やしていくかが課題である。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施に当たり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成27年度予定

わになろう会：小地域別人権・同和教育懇談会 開催予定期日：平成27年12月～平成28年2月(28自治会20会場で実施予定) であい・ふれあいみんなの人権講座：小集団人権学習会 開催予定期間：平成27年10月 19:00～21:00(14自治会で実施予定)	予算額
	836千円
	目標値
100%	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(2) 多様な学習機会の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市民啓発事業(差別をなくする市民のつどい)	人権啓発課	1,000人	1,500人	①充実		●	③新規
事業の概要							
すべての人の人権が尊重される社会の実現に向けて、あらゆる差別と偏見のない明るく住みよい町を実現するために、毎年人権の集いを開催するものである。							
平成26年度実績							
事業名:三間町人権あったかコンサート 会場:コスモスホール三間 期日:平成26年11月13日(木) 参加人数:600人 内容:人権メッセージ・三間中・三間高生徒実行委員会とホロコースト記念館研修参加児童・生徒による「人権問題学習発表」、人権啓発ポスター展、バザー(ゆいの里) 講演:講師 友近890(やっくん)さん(テーマ:心の声に耳をかたむけてつなげていこう笑顔とぬくもり) 事業名:『人権をまもる町民の集い』 会場:宇和島市立吉田公民館 期日:平成27年2月13日(金) 参加人数:400名 内容:人権啓発作品展示、バザー(青空どりーむ)、手話コーラス(宇和島市連合婦人会吉田支部)、人権作文発表、人権啓発劇(遠見子ども会) 人権コンサート:講師 ちひろさん(テーマ:一人一人が大切にされる人権のまちづくりをめざして)							決算額
							410千円
							実績値
							50%(1000人)
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
事業名:『三間町人権あったかコンサート』 三間高・三間中学生実行委員会を中心に司会、運営を行うことにより、より主体的に参加する姿勢を養うことができた。また、人権問題学習発表においても、「アンネの日記」のホロコースト記念館日帰り研修を通して、学校・団体・行政との交流、連携が深まり、差別に対する正しい理解と、人権が守られる社会を共に築いていかなければならないとの思いを強くすることができた。 講演では、書道シンガーの友近890の元気いっばいのパフォーマンスで会場が一体となり、熱く、楽しく人権について学ぶことができた。 今後も、より大勢の方に参加してもらうことで、日頃の人権学習の成果をアピールする機会としていきたい。							
事業名:『人権をまもる町民の集い』 子どもから大人まで市民を巻き込んだ人権啓発作品の展示、バザー、手話コーラス、人権啓発劇の発表など幅広い市民の参加と協力をいただき、様々な人権への取組みの中で、人権をより身近に感じてもらい人権意識の再考に大きく寄与することができた。歌手のちひろさんによる人権コンサートにおいても、金子みすずの詩をとおして参加者一人一人の胸に人権の大切さを伝えることができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
事業名:『人権を考える市民の集い』 会場:宇和島市立城東中学校 期日:平成27年11月(開催日及び講演内容未定) 事業名:『笑顔の集い』 会場:宇和島市立津島中学校 期日:平成27年11月11日(講演内容未定) 事業名:『三間町人権あったかコンサート』 会場:コスモスホール三間 期日:平成27年11月18日(講演内容未定) 事業名:『人権をまもる町民の集い』 会場:宇和島市立吉田公民館 期日:平成28年2月(開催日及び講演内容未定)							予算額
							1,100千円
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(3) 学習活動への参加促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	③新規	●
臨時託児所設置事業	企画情報課			①充実	②継続	③新規	●
事業の概要							
子育て中の市民の社会参加を支援するため、市が行うイベントや各種会議等に臨時託児所を設置します。							
平成26年度実績							
H26.7.12(土) 宇和島市男女共同参画講演会時臨時託児所 10名利用							決算額
							9千円
							実績値
							1回
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
子育て中の方も気兼ねなくイベント等に参加できるよう臨時託児所を設置したところ、多くの方に利用いただけた。他課の事業においても積極的に利用してもらいたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
H27.8.8(土) 宇和島市男女共同参画講演会時臨時託児所 等							予算額
							40千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(3) 学習活動への参加促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
学習活動参加促進事業(生涯学習センター・地区公民館)	生涯学習課			①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
「宇和島市生涯学習推進計画」を基本に、生涯学習推進体制の整備をはじめ、生涯学習社会を支える人づくりに努めるとともに、市民の学習ニーズを把握しながら、いつでも、どこでも、だれでも学ぶことができ、ますます高度化・多様化・専門化する学習ニーズに効果的に応えられるよう、生涯学習センターや公民館をはじめとする生涯学習関連施設を中心に、多様な学級・講座や各種事業を開催し、市民に学習の場を提供する。							
平成26年度実績							
【地区公民館】学級・講座(実施回数) ①家庭教育講座:72回 ②人権・同和教育講座:21回 ③女性学級:58回 ④高齢者学級:90回 ⑤成人学級:0回 ⑥公民館講座:199回							決算額
							4,030千円
【生涯学習センター】 1. 第22回生涯学習うわじまフェスティバル(参加人数) ①岡本知高Concerto del Sopranista 2014:532人 ②第17回宇和島文学歴史講座:61人 2. 市民講座(実施人数) ①パソコン講座:286人 ②クラフトバッグ教室:51人 ③光る泥だんご作り講座:29人 ④布で作る季節の飾り講座:75人 ⑥クリスマスリース講座:47人 ⑦ストレッチポール教室:31人							実績値
							—
							進捗状況
							4
各種学級・講座及び事業は、男女の別や年齢に関わらず、できるだけ多くの人が学べるように、土日や日中、夜間等に分散して、開催しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるよう工夫している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成27年度予定							
【地区公民館】 ①家庭教育講座:87回 ②人権・同和教育講座:69回 ③女性学級:51回 ④高齢者学級:81回 ⑤成人学級:0回 ⑥公民館講座:241回							予算額
【生涯学習センター】 1. 第23回生涯学習うわじまフェスティバル(実施予定) ①宇和島芸術祭 ②第18回宇和島文学歴史講座 ③市民大学 ④第12回宇和島名作劇場 ⑤カタリバイン宇和島2015 2. 市民講座(実施予定) ①パソコン講座 ②クラフトバッグ教室 ③光る泥だんご作り講座 ④布で作る季節の飾り講座 ⑥クリスマスリース講座⑦ストレッチポール教室 ⑧ゆかた着付け教室							4,759千円
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	I 男女がともに認め合う人づくり	
推進方策	2 男女共同参画に関する教育・学習の推進	
施策の方向及び具体的施策	3 地域における男女平等に関する学習の推進	(4) メディア・リテラシーの向上

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
生きる力を育む教育活動推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	89%	100%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
それぞれの個人が、さまざまな情報について取捨選択し、必要な内容については情報の共有化を図る。いろいろな情報に対して、自ら判断できるような資質の育成を図る。メディア・リテラシーの向上のための学習機会を確保する。							
平成26年度実績							
総合的な学習の時間や技術家庭の時間において、コンピューターの基本操作やソフトウェアの機能を理解し活用できるようにした。研修やインターネット・書籍等で得た情報を指導に活かした。ホームページ更新のための研修やソフト活用のための研修を実施した。校内研修会において、メディア・リテラシーに関する研修を行い、情報の取捨選択の大切さを学んだ。総合的な学習の時間や技術家庭の時間において、コンピューターの基本操作やソフトウェアの機能を理解し活用できるようにした。新聞、テレビ、インターネット等のメディアリテラシーについて、社会科や技術・家庭科、総合的な学習の時間等で生徒に指導した。スマートフォン、携帯、ブログやライン利用方法やマナーについて、生徒指導主事を中心に生徒に周知した。							決算額
							実績値
							90%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
総合的な学習の時間や各教科の時間において、コンピューターの基本操作やソフトウェアの機能を理解し、インターネットを通じて情報収集ができるようになった。教職員の能力差が大きくて、最低限の研修になることが多い。情報管理については、研修のみならず日頃から職員に情報提供を行う等、情報管理に努めている。しかし指導者の育成が追いつかず、十分な職員の研修ができない状況である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
学校ホームページの充実を図る。情報機器の効果的な活用を行うとともに、危機管理に対する意識を常にもつ。情報モラル教育の充実(パソコン、携帯電話だけでなく、スマートフォンにも視野を広げて)。児童のスマートフォン・携帯電話の利用について把握するとともに、実態に応じた情報モラル教育を実施する。あらゆる授業の中で、コンピューターに親しみ、活用できる能力を高める。昨年の活動に加え、外部講師による情報モラル研修を生徒、保護者と一緒実施する。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり						
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進						
施策の方向及び具体的施策	1 市職員の能力開発・登用等の推進						
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
女性市職員の管理職への登用の推進(市の一般行政職における課長補佐級以上に占める女性割合)	総務課	6.1%	5.0%				
事業の概要							
平成23年度における一般職員(保育士、幼稚園教諭、診療所職員、病院局職員(事務職は除く。))及び派遣職員(除く。)に占める女性職員の割合は27.8%であり、女性管理職(課長補佐級以上)の割合は4.7%である。目標値だった3.5%はクリアできたが、今後においても、職員数が減少していくことで、管理職員数自体も減少することが予測される中、女性管理職割合5%を維持し、政策・方針決定過程への女性の参画促進を推進する。							
平成26年度実績							
							決算額
							—
○平成26年度 管理職131人のうち女性職員9人 6.9% <内訳:部長9人(うち女性0人)、課長級40人(うち女性3人)、課長補佐級82人(うち女性6人)>							実績値
							6.9%
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
管理職員が平成26年度131人から平成27年度122人と減少したことに併せて、女性管理職数は平成26年度9人から平成27年度7人と減少し、割合も6.9%から5.7%に低下した。女性管理職割合を維持するため、今後も女性職員の管理職への登用を推進する。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
○平成27年度 管理職122人のうち女性職員7人 5.7% <内訳:部長9人(うち女性0人)、課長級40人(うち女性2人)、課長補佐級73人(うち女性5人)> 今後において、将来管理職になり得る係長級についても、女性職員を積極的に登用し、同時に意識改革・能力開発のために研修への参加を図る。							予算額
							—
							目標値
							5.7%(実績)

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり						
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進						
施策の方向及び具体的施策	1 市職員の能力開発・登用等の推進						
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員のスキルアップ研修への参加促進	総務課						
事業の概要							
<p>県研修所で行われるスキルアップ研修は、職員からの希望を募り参加させている。女性からの受講希望は希少であるが、女性の能力開発のため、人事係から女性職員を選定している。</p>							
平成26年度実績							
○ 平成26年度実績 ステージアップ研修 23人 うち女性5人 <参考> 係長研修 8人 うち女性3人 市町村アカデミー 6人 うち女性2人 中堅職員研修 10人 うち女性2人							決算額
							実績値
							5人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
女性の受講希望者は少ないが、今後もステージアップ研修のほか階層別研修等への参加を積極的に推進する。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
平成27年度はステージアップ研修に12名、うち女性6名を参加させる予定である。							予算額
							—
							目標値
							6名

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり						
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進						
施策の方向及び具体的施策	1 市職員の能力開発・登用等の推進						
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
計画的な人事異動の実施	総務課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>専門職を除く若手職員については、早い段階で多様な分野の職務を経験させるための「ジョブローテーション」を推進することとしているが、女性職員についても、固定的な性別役割分担をなくし、計画的な人事異動を推進する。</p>							
平成26年度実績							
<p>○平成26年4月定期異動の状況 病院局採用職員及び消防職を除く異動者 264人 うち女性 71人(26.9%)</p>							決算額
							—
							実績値
							—
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>定期人事異動を行う際、若手職員については、男女とも、採用後10年の間に「窓口部門」「総務管理部門」「事務執行部門」の3つの分野をなるべく経験できるよう配慮しているところであるが、職員数の抑制に伴い、男女を問わず異動が困難な状況になっており、長年にわたり同じ部署という職員も見受けられる。 在課年数の長い職員は必ず異動することを前提として、体制を整えていただくよう各担当課にも啓発していきたい。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
<p>○平成27年4月定期異動の状況 病院局採用職員及び消防職を除く異動者 216人 うち女性 63人(29.2%)</p>							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	2 各種審議会等における女性の参画促進	(1) 各種審議会における女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
審議会における女性の参画促進 (審議会・委員会等における女性の割合)	企画情報課	19%	35%	①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>政策・方針決定過程への女性の参画を推進するため、地方自治法180条の5に基づき設置する委員会(教育委員会、選挙管理委員会等)、202条の3または、要綱等に基づき設置する審議会・委員会等、政策又は方針の立案及び決定に際して意見を述べ、または審査、審議等を行なう各種審議会等への女性の登用を促進しようとするもの。</p>							
平成26年度実績							
【H.26.4.1現在の女性の登用率】							決算額
<ul style="list-style-type: none"> ○地方自治法180条の5に基づき設置する委員会 3/6(女性がいる委員会/委員会数)、6/64(女性委員数/総委員数)→女性比率9.4% ○地方自治法202条の3に基づき設置する委員会、要綱等による委員会等 30/41(女性がいる委員会/委員会数)、157/819(女性委員数/総委員数)→女性比率19.2% ○地方自治法202条の3以外により設置する委員会等 8/14(女性がいる委員会/委員会数)、25/148(女性委員数/総委員数)→16.9% 							-
計18.2%							実績値
							18%
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
<p>各種団体や各課の長が委員となっている組織が多いことから、自ずと登用が進んでいないのが現状である。条例、要綱等の改正も視野に入れ、登用の促進を図っていく必要がある。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
H27.4.1現在の女性の登用率については現時点で未調査							予算額
							-
							目標値
							20%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	2 各種審議会等における女性の参画促進	(1) 各種審議会における女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
選挙時の投票立会人における女性参画促進	選挙管理委員会	31%	38%	①充実		●	③新規
事業の概要							
「男女共同参画社会」を進めていくため、選挙において投票当日及び期日前投票所の管理執行に立会う投票立会人に女性の比率を高めていこうとするものである。							
平成26年度実績							
○愛媛県知事選挙	投票日(H26.11.16)	152人中	17人	11.1%	決算額		
	期日前投票	157人中	84人	53.5%			
	全体(期日前～投票当日)	309人中	101人	32.6%			
○衆議院議員選挙	投票日(H26.12.14)	152人中	20人	13.1%	実績値		
	期日前投票(7/5～7/20)	156人中	82人	52.58%			
	全体(期日前～投票当日)	308人中	102人	33.1%			
	総合計	617人中	203人	32.9%			
進捗状況							
3							
事業に対する評価・課題等							
今後とも女性立会人を増員していきたいと思えます。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成27年度予定							
						予算額	
						目標値	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	2 各種審議会等における女性の参画促進	(2) 人材育成の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
男女共同参画社会づくり活動補助金交付事業	企画情報課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
男女共同参画社会の実現に向けて活動する団体や個人に対して、補助金を交付するもの。行政機関・NPO等各種団体が主催する研修・交流事業に参加する場合や、市民を対象とした研修会の開催、啓発活動等を行う場合を対象として補助を行っている。							
平成26年度実績							
実績なし							決算額
							0千円
							実績値
							0件
						進捗状況	
						1	
事業に対する評価・課題等							
研修・啓発活動開催、研修会参加の募集を行ったものの、今年度においては申請がなかった。内容や利用方法の周知を、さらに検討する必要がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成27年度予定							
男女共同参画推進のための活動が活性化されることを目指し、広報などで事業の周知を図り継続実施する。							予算額
							100千円
							目標値
						1件	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	3 企業・地域団体等における女性の参画促進	(1) 事業者等への女性登用の働きかけ

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
農業協同組合等団体への女性登用の協力要請	農林課			①充実		●	③新規
事業の概要							
女性委員を積極的に登用するよう依頼し、女性の社会進出を図ると共に、農業経営を家族の一員として共に支えることができるよう支援するものである。							
平成26年度実績							
女性のみで構成されている団体においては、女性の視点から農業分野に積極的にかかわっていくための活動を展開した。各種団体等に対しては、女性委員の登用の必要性の意識づけを図った。							決算額
							実績値
							進捗状況
3							
事業に対する評価・課題等							
女性が積極的に参画できる場を提供し、活動が展開できるように推進できた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成27年度予定							
今後もあらゆる機会を通して、女性が積極的に農業分野に参画できるよう推進していきたい。							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	3 企業・地域団体等における女性の参画促進	(1) 事業者等への女性登用の働きかけ

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
商工会議所、商工会等への要請	商工観光課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
会議所、商工会等を通じて、事業者等への女性登用の働きかけを依頼する。							
平成26年度実績							
会議所・商工会会員を中心に啓発(総会等)。							決算額
							-
							実績値
							2回
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
現在の中小企業を取り巻く状況は厳しく、推進は難しい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成27年度予定							
会議所・商工会会員を中心に啓発の継続。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	3 企業・地域団体等における女性の参画促進	(2) 地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
地域審議会への女性の参画促進	企画情報課	31%	35% 審議会設置期間 合併日～H27年度末	①充実		②継続 ●	③新規

事業の概要

市町村合併の特例に関する法律第5条の4に基づいて設置される市長の諮問機関で、その位置づけは地方自治法第202条の3に基づく付属機関である。合併にあたり、地域の住民の声を適切に市の施策に反映させ地域の特性に応じたきめ細やかな行政サービスを行っていくため、「地域審議会の設置に関する協議」に基づいて各地域にそれぞれ15名以内の委員で構成される地域審議会を設置しており、この審議会への女性の登用を促進しようとするものである。

平成26年度実績

【四地域合同地域審議会】6/30 (委員委嘱式、地域審議会の役割について、新市建設計画変更案の策定について、) 【宇和島地域審議会】11/10 第26回(新市建設計画の変更について、地域課題等の意見交換について) 【吉田地域審議会】11/11 第32回(新市建設計画の変更について、地域課題等の意見交換について) 【三間地域審議会】11/19 第22回(新市建設計画の変更について、地域課題等の意見交換について) 【津島地域審議会】11/14 第21回(新市建設計画の変更について、地域課題等の意見交換について) 【四地域審議会長・副会長】2/12 (新市建設計画の変更について、平成27年度以降の地域審議会について)	決算額	425千円
	実績値	34%
	進捗状況	5

事業に対する評価・課題等

女性の割合はどの審議会でも女性委員は率先して意見を述べていた。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	3

平成27年度予定

8月、2月に各地区定例会を予定している。女性の割合は、目標値の25%を達成している。 【宇和島地域審議会】総数:14人 女性委員数:4人 女性の割合:28.6% 【吉田地域審議会】 総数:14人 女性委員数:4人 女性の割合:28.6% 【三間地域審議会】 総数:13人 女性委員数:5人 女性の割合:38.5% 【津島地域審議会】 総数:13人 女性委員数:3人 女性の割合:23.1%	予算額	540千円
	目標値	達成済 (29.6%)

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	3 企業・地域団体等における女性の参画促進	(2) 地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
国民保護協議会及び防災会議における女性委員の登用	危機管理課			①充実	②継続	●	③新規

事業の概要

各種会議に女性委員を登用することにより、計画策定等に女性の意見も取り入れていくもの。

平成26年度実績

女性の新規登用なし。 (条例で規定している委員の構成の中に、女性の役職者等がないため。)	決算額
	実績値
	進捗状況
	1

事業に対する評価・課題等

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	2
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

平成27年度予定

国民保護協議会、防災会議ともに法律及び基本法をもとに、市の条例で委員の構成について規定しているため、各種組織等の役職者に女性が就かなければ変更は難しい。	予算額
	目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	3 企業・地域団体等における女性の参画促進	(2) 地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
宇和島市美化運動推進委員会への女性の参画促進	生活環境課	13%	25.0%	①充実	●	②継続	③新規

事業の概要

宇和島市美化運動推進委員会は、本市における美化運動の推進についても協議し、もって生活環境の保全と文化の向上に資する事を目的とする組織で、本委員会の委員として、女性の登用を促進しようとするものである。

平成26年度実績

[美化運動推進委員会における女性の登用状況]
委員8名の内女性1名(登用率12.5%)、会長:宇和島市女性団体連絡協議会会長(女性)
[会議の開催状況]
平成26年6月18日(水)美化運動推進委員会開催(議事)
○花いっぱい運動推進重点地区事業としての花いっぱい運動推進について
○環境美化推進を図るための団体・個人へのごみ袋支給
○国道沿線等美化清掃活動としての「クリーン新宇和島」実施について
○美化推進に寄与した団体・個人の表彰実施について
平成26年11月17日(月)美化表彰式

決算額

-

実績値

13%

進捗状況

4

事業に対する評価・課題等

○委員会は各団体の代表で構成されているため、男性である場合が多い。
○市民の意識向上により環境問題及び美化推進にも賛同していただき、美化推進活動については男女の区別なく参加いただいている。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	2

平成27年度予定

○美化運動推進委員会における女性の登用状況は25年度と同様 ○美化推進活動については27年度も計画実施し、内容的にも各種事業につき「男女共同参画」を意識して展開する	予算額
	-
	目標値
	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	3 企業・地域団体等における女性の参画促進	(2) 地域における政策・方針決定過程への女性の参画促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
まちづくり女性会議の設立	商工観光課					●	

事業の概要

女性の視点による中心市街地の活性化を試みるため、女性を中心とするまちづくり会議「Beppin塾」を設立。

平成26年度実績

<ul style="list-style-type: none"> ・定例会の開催 ・まちづくり通信「vif femme」の発行(年3回 毎号4,000部配布) ・海の恋人まつり実行委員会主催 	決算額	-
	実績値	-
	進捗状況	5

事業に対する評価・課題等

- ・それぞれの立場からまちづくりについて真剣に考え、取り組んでいる。
- ・持続的な活動と自立に向けた話し合いが必要である。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

平成27年度予定

<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回の定例会の開催、年に3回のまちづくり通信「vif femme」の発行を行う。 ・海の恋人まつり実行委員会の主催 ・他団体と協力し、イベント等の実施に携わっていく。 ・持続的な活動と自立に向けての会議も行っていく。 	予算額	-
	目標値	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(1) 地域社会での男女共同参画意識の啓発

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
意識啓発促進事業	生涯学習課			①充実		②継続	●	③新規
事業の概要								
地域における各種事業について、性別にとらわれず誰でも気軽に参加でき、様々な計画にも女性が主体的に関わることができるよう、公民館の広報活動を通して意識啓発を図る。								
平成26年度実績								
【啓発紙原案の協議】 他県、他市の啓発紙を参考に、原案の方針を継続して協議中。								決算額
								0千円
								実績値
								—
								進捗状況
								2
事業に対する評価・課題等								
原案の方針・方向性を決定した段階で、今後は詳細部分について各地区公民館と協議する予定。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成27年度予定								
原案の方針・方向性を決定し、各地区公民館と詳細を協議し、原案を完成させる。								予算額
								0千円
								目標値
								—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(2) 男性の地域活動への参画促進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
男性料理教室(地区公民館)	生涯学習課	3館	30館	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
高齢化や核家族化が進む中、地域の男性を対象に料理教室を開催することにより、夫婦がともに協力し合うことの大切さや男性が積極的に家事に参画する意識の向上を図る。								
平成26年度実績								
								決算額
								25千円
【男性料理教室】 開催公民館数 : 4館 開催回数 : 14回 参加者数 : 171人(うち、男性119人)								実績値
								4館
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
開催公民館数は平成25年度より1館増加したが、実施回数は1回減少した。 公民館として、当該事業に対する取り組み姿勢がまだ消極的なため、各地区公民館に対して積極的な開催を促す必要がある。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
平成27年度予定								
								予算額
【男性料理教室】 開催公民館数 : 4館 開催回数 : 18回								40千円
								目標値
								5館

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(3) コミュニティ活動の活性化と活動情報の提供

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
自治会単位での自主防災組織の育成	危機管理課	417組織	500組織	①充実		●	③新規	
事業の概要								
男女がともに地域での防災活動へ参画できるよう自主防災組織の育成を促進し、参画機会を提供します。								
平成26年度実績								
<ul style="list-style-type: none"> 平成27年3月31日現在 自主防災組織数 418組織(組織率89.1%) 平成26年度に結成した組織数 1組織 自主防災組織による防災訓練 2回 16組織参加 自主防災組織結成支援事業補助金支給組織数 9組織(防災資機材整備) 自主防災組織育成事業 1件(防災資機材整備) 								決算額
								2,812千円
								実績値
								418組織
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
男女の別なく組織での防災活動には参画しているが、各種責任者については女性の比率は低い。自主防災組織の育成と合わせて、防災士の確保等にも努めているが、平成27年3月末現在で138人が防災士として認証登録しているが、そのうち女性は12人である。各種機会をとおして女性の防災士増についても働きかけたい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
平成27年度予定								
訓練を実施していくなかで、自主防災組織を支援し組織の育成促進を図る。防災士の育成を進める中で、女性防災士の要請についてもあらゆる機会を通じて呼びかけを行いたい。								予算額
								目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(3) コミュニティ活動の活性化と活動情報の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
花いっぱい運動	生活環境課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
花いっぱい運動推進重点地区事業として宇和島市の駅前、港の玄関口及び公共施設を市内各種団体の協力を得て、花壇・プランターに四季の花の植栽・灌水・除草除去等の管理をしていただき花いっぱい運動の推進に努めた。							
平成26年度実績							
〔花づくりボランティア実施団体(地域環境づくり団体)〕 (旧市内)中組老人クラブ、住吉美化推進グループ、明倫環境美化推進グループ、宇和津校区老人クラブ連合会、 、宇和島市社会福祉協議会、保田自治会ほか (旧津島)増穂老人クラブ、若葉会、於泥いきいきサロン、はまゆう会、てんやわんや王国ほか (旧吉田)御殿内集会所運営委員会、御殿内ファミリー、ニューモラル宇和島、本町会、吉田商工会本町会、 白浦三つ葉会、吉田町手をつなぐ育成会他 (オレンジロード分)藤堂組、畑地小学校、浅田組、丸之内歩道橋ファミリー、栄町Fガーデン、富 土建設コンサルタント、立間婦人会、少林寺拳法宇和島支部、亀岡建設、松広造園							決算額
							2,346千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
緑化推進事業として年2回実施しているが、ボランティアで各団体に管理運営をしていただいており、市民からも好評を得ている。男女がともに参加できる事業であるが、女性の方が多く、また高齢者の方の参加協力が多いという傾向もある。今後は若年層及び男性にも参加を呼びかける啓発運動を実施したい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							2
平成27年度予定							
平成27年度も計画実施し、各種団体などに協力を得ながら花いっぱい運動を展開する。							予算額
							2,874千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(3) コミュニティ活動の活性化と活動情報の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
まちづくりの主体となる組織・リーダー育成事業	商工観光課			①充実		●	③新規
事業の概要							
女性の視点による中心市街地の活性化を試みるため、女性を中心とするまちづくり会議「Beppin塾」を設立。							
平成26年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ・定例会の開催 ・まちづくり通信「vif femme」の発行(年3回 毎号4,000部配布) ・海の恋人まつり実行委員会主催 							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの立場からまちづくりについて真剣に考え、取り組んでいる。 ・持続的な活動と自立に向けた話し合いが必要である。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成27年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回の定例会の開催、年に3回のまちづくり通信「vif femme」の発行を行う。 ・海の恋人まつり実行委員会の主催 ・他団体と協力し、イベント等の実施に携わっていく。 ・持続的な活動と自立に向けての会議も行っていく。 							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(3) コミュニティ活動の活性化と活動情報の提供

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
青少年活動振興事業	生涯学習課	14,371人	20,000人	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
<p>公民館や愛護会、青少年育成団体など、行政、地域、家庭、学校が連携し、青少年が新時代の本市の担い手として心身ともに健全に育成されるような様々な体験活動やボランティア活動、交流活動への参加を促進する。</p>								
平成26年度実績								
<p>【事業】総数：93事業（市民運動会、納涼祭を除く） 【内容】①スポーツ・レクリエーション活動（子どもスポーツ大会、クロッケー大会等） ②文化活動（虫送り、門松作り等） ③自然体験活動（野外活動等） ④その他の活動（地域清掃活動、環境美化活動等） 【参加者】総数：18,361人</p>								決算額
								1,246千円
								実績値
								18,361人
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
<p>地域の公民館が、愛護会等の社会教育関係団体と連携し、青少年の体験活動や世代間交流の事業を行っているが、団体の活動が縮小する中で、事業内容も低下の傾向にある。このため、地域総ぐるみで青少年の育成活動に取り組むための枠組みが必要とされている。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成27年度予定								
<p>【事業】総数：85事業 【内容】①スポーツレクリエーション活動 ②文化活動（虫送り、しめ飾り作り等） ③自然体験活動（野外活動等） ④その他の体験活動（地域清掃活動、環境美化活動等） 【参加者】総数：18,085人</p>								予算額
								1,309千円
								目標値
								17,525人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(4) コミュニティ施設の整備・充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
インターネットによる施設予約の推進	企画情報課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
体育施設等の公共施設について、インターネットを使ってオンライン予約や予約状況の確認ができるようシステムを整備し、利用者の利便性向上を図った。							
平成26年度実績							
・システム整備済(平成22年9月) 【空き状況の公開施設】 46施設(総合体育館、丸山公園、石丸公園、三間町運動公園、三間町国民体育館、宮下ふれあい広場、保手公園運動広場、津島勤労者体育センター、第4号南予レクリエーション都市内の施設) 【予約可能施設】 17施設(丸山公園、石丸公園、宮下ふれあい広場、保手公園運動広場内の施設)							決算額
							—
							実績値
							左記参照
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成27年度予定							
							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(4) コミュニティ施設の整備・充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	③新規	●
集会所改修補助事業	企画情報課			①充実	②継続	③新規	●
事業の概要							
地域住民のコミュニティ活動の場となる集会所において修繕を必要とする場合に補助金を交付するもの。							
平成26年度実績							
補助申請件数 14件							決算額
							3,427千円
							実績値
							—
						進捗状況	
						—	
事業に対する評価・課題等							
修繕及び整備を行うことで、年代や男女を問わず地元住民の使用するコミュニティ施設として永く使用できる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						—	
平成27年度予定							
特になし。							予算額
							—
							目標値
						—	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(4) コミュニティ施設の整備・充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市有施設における空きスペースの有効活用	財政課			①充実		●	③新規

事業の概要

市有施設の効率的な運用を図り、空きスペースについては、コミュニティ活動への場の提供の可能性を検討します。

平成26年度実績

具体的な実績なし	決算額	-
	実績値	-
	進捗状況	-
		-

事業に対する評価・課題等

空きスペースの有効活用については、継続して検討していく必要がある。
場の提供を求めているコミュニティ活動の存在等、実態把握が必要。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

平成27年度予定

具体的な予定なし	予算額	-
	目標値	-
		-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(4) コミュニティ施設の整備・充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
交流拠点施設の女性の運営参画	商工観光課			●			

事業の概要

宇和島地域及び姉妹都市の農林水産物、加工品等の販売、真珠の展示販売・加工体験、郷土料理レストランにおける宇和島の食文化の普及、米粉パンの製造販売による米消費拡大などによって産業を振興するとともに、イベントによる地域間交流の促進を図り、宇和島市のイメージアップにつなげることを目的とした施設である。この施設において、女性の運営への参画及び雇用を促進しようとするもの。

平成26年度実績

高速道路によるアクセス恩恵も受け、平成26年度売上は施設全体で1,114,000千円、前年対比約104.3%であった。レジ通過客数においても、1,181,613人を記録し、前年とほぼ同じ値であったが、5年連続でレジ通過客数100万人超えを達成した。フリーマーケット、5周年記念イベントや自主企画イベントなど各種イベントを実施し、地域間交流を促進した。特に、自主企画イベントにおいて女性職員が積極的に企画・商品開発を行った。 【女性の参画状況】 運営に関わっている女性の人数:11人(総人数14人)	決算額	-
	実績値	11人
	進捗状況	4

事業に対する評価・課題等

女性の感性を生かした商品開発等への参画や運営が行われている。
また、パン工房みなみや、企業組合あこやひめ等の女性が活躍している団体とともに積極的な関わりがなされた。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成27年度予定

イベント等における女性の参画推進を図りながら、施設運営を行っていく。 【女性の参画状況】 運営に関わっている女性の人数:10人(総人数14人)	予算額	
	目標値	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	4 地域社会への男女の参画促進	(6) 男女共同参画推進団体等のネットワークづくりの推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	③新規	●
男女共同参画推進団体連携事業	企画情報課			①充実	②継続	③新規	●
事業の概要							
男女共同参画推進団体相互の連絡協調と連携の強化を図ろうとするものである。							
平成26年度実績							
宇和島市女性団体連絡協議会の役員会・理事会・総会等における連絡強調を図る							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
宇和島市女性団体連絡協議会開催の各種会議等において、男女共同参画についての啓発等を行うとともに、より一層の協力体制を築いていく必要がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
例年同様連絡強調を図っていく。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	5 市政への関心と高揚	(1) 市民と行政との情報・意識の共有化

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
ホームページへのアクセス件数	総務課	1,225件/日	1,800件/日	●			
事業の概要							
市ホームページの充実を図ることにより、市民への行政情報の発信に努める。							
平成26年度実績							
トップページ閲覧者数 : 1,060件/日							決算額
							-
							実績値
							1,060件/日
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
閲覧者数が減少しているため、情報発信のあり方について検討を進める。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成27年度予定							
10月1日のリニューアルに向け、閲覧者にとって見やすく、分かりやすく、必要な情報が探しやすいホームページとなるよう、サイト設計に配慮する。							予算額
							11,000千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	5 市政への関心と高揚	(2) 多様な分野における市民及び民間の参画・協働の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
パブリックコメントを求めた件数	総務課	1件/年	7件/年	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
市の施策に関する基本的な計画等の立案にあたり、その目的、内容その他必要な事項を公表して、広く市民からの意見を求め、提出された意見等を考慮して意思決定を行うことにより、市の施策形成過程における公平性の確保及び透明性の向上を図るとともに、市民の積極的な市政参加の推進を図る。							
平成26年度実績							
市民からの意見が少なく、十分な意見の反映ができていない。							決算額
							-
							実績値
							8件/年
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
引き続きパブリックコメント制度の活用を進める。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成27年度予定							
引き続きパブリックコメント制度の活用を進める。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	5 市政への関心と高揚	(3) ホームページを利用した議会情報の発信

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
議会インターネットライブ中継	議会事務局					●	

事業の概要

宇和島ケーブルテレビ(株)協力のもと、リアルタイムで議会の様子が見られるようにする。

平成26年度実績

3月、6月、9月、12月の本会議を、宇和島ケーブルテレビ(株)の協力のもと、リアルタイムで放送した。	決算額	-
	実績値	
	年4回	
	進捗状況	5

事業に対する評価・課題等

インターネットにより家庭等で議会がリアルタイムで傍聴できることで、より多くの人に情報発信できる。議会に関心を持っていただくために必要なことである。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

平成27年度予定

平成27年度も実施	予算額	-
	目標値	
	年4回	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	1 政策・方針決定過程への女性の参画促進	
施策の方向及び具体的施策	5 市政への関心と高揚	(4) 議会への関心の高揚

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向					
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規		
議場を活用したイベント等の開催	議会事務局	0回/年	1回/年	①充実		●	③新規		
事業の概要									
議場において、合唱などのミニコンサートや模擬議会など、議場を利用したイベント等を開催することで、広く市民に開かれた議会、親しまれる議会を目指す。									
平成26年度実績									
実績なし								決算額	-
								実績値	-
								進捗状況	-
									-
事業に対する評価・課題等									
広く市民に開かれた議会、親しまれる議会を目指すことは、議会改革の中でも重要なテーマの一つとなっており、工夫をして取り組んでいく必要がある。									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-	
平成27年度予定									
予算化していない								予算額	-
								目標値	-
									-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	1 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進	(1) 就業環境の整備

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
商工会議所、商工会を通じ事業所等への啓発	商工観光課			①充実		●	③新規	
事業の概要								
会議所、商工会等を通じて、事業所等への啓発を行う。								
平成26年度実績								
会議所、商工会会員を中心に啓発(総会等)。								決算額
								実績値
								2回
								進捗状況
2								
事業に対する評価・課題等								
現在の中小企業を取り巻く状況は厳しく、推進は難しい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
平成27年度予定								
								予算額
								-
								目標値
								-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	1 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進	(1) 就業環境の整備

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
院内保育所の運営	病院局 (宇和島病院)			①充実		●	③新規	
事業の概要								
看護師確保の一環として、看護師が働きやすい環境整備のため、乳児又は幼児を対象に院内保育所を設置、運営している。(定員50人)								
平成26年度実績								
年間利用自動数 8538人 1日平均29.14人								決算額
								52,701千円
								実績値
								1施設
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
福利厚生施設であるため、市内の外の保育園として保育料は割安であるが、休日、夜間病児保育等が実施されていないため、夜間勤務があり、休暇のとりにくい看護師の負担軽減にはまだまだつながっていない。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成27年度予定								
								予算額
								48,927千円
								目標値
5								

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	1 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進	(2) 雇用機会の確保と雇用の促進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
シルバー人材センター充実支援	高齢者福祉課			●				
事業の概要								
定年退職者その他の高齢者の就業において、臨時的かつ短期的なもの又はその他軽易な業務の機会を確保し、その就業を援助、または能力の積極的な活用を図るため、シルバー人材センターに対し補助金を交付している。								
平成26年度実績								
事業受託件数 : 3,190件								決算額
就業実人員 : 342人								14,000千円
就業延人員 : 26,166人								実績値
								左記参照
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
高齢者の就業機会の確保や能力の積極的な活用を図るための支援ができた。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								3
平成27年度予定								
事業受託件数 : 3,400件								予算額
就業人員 : 430人								14,000千円
就業延人員 : 27,700人								目標値
								—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	1 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進	(2) 雇用機会の確保と雇用の促進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
地域提案型雇用創造促進事業(セミナーの開催)	商工観光課			①充実		●	③新規	
事業の概要								
事業拡大を支援し、雇用の受け皿を増やし、人材育成のための各種セミナーを開催し、労働者のスキルアップを図る。また、就職支援事業として、宇和島地域合同就職面接会を開催し、直接的な雇用増加を目指す。								
平成26年度実績								
人材育成メニュー(求職者向けメニュー)セミナー、受講者235人参加。達成率121%。 就職支援事業(合同就職面接会)参加企業82社 参加者94人。達成率85%。 人材育成各種セミナー16回および宇和島地域合同就職面接会1回の開催、43社の参加、329人の参加。達成率108%。就職者37人 達成率137%								決算額
								19,764千円
								実績値
								左記参照
								進捗状況
5								
事業に対する評価・課題等								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								
平成27年度予定								
								予算額
								目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	1 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進	(3) 男女雇用機会均等法等について事業所への啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
団体を通じ、農林業従事者への啓発	農林課			①充実		●	③新規
事業の概要							
従来から男社会と考えられていた、農林業の分野において、女性の積極的な進出を図り、男女が共に協力し合ってよりよい職場づくりを行う。							
平成26年度実績							
研修等あらゆる機会において、積極的に女性の参加を呼びかけ、農林業への理解を深めた。							決算額
							実績値
							進捗状況
3							
事業に対する評価・課題等							
6次産業化の取組みのための研修会等を通じ、女性のネットワークの構築を図り、女性が積極的に農業の場で活躍する機会を設けることができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
引き続き、あらゆる機会を捉えて、女性の参加を推進していきたい。							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	1 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進	(3) 男女雇用機会均等法等について事業所への啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
団体を通じ、水産業従事者への啓発	水産課			①充実		●	③新規
事業の概要							
男女雇用機会均等法や育児・介護休業法など労働に関する各種法律について事業所や団体等への啓発に努めようとするものです。							
平成26年度実績							
漁業協同組合関係団体等へ男女共同参画関係のイベント等の告知を行った。							決算額
							実績値
							進捗状況
3							
事業に対する評価・課題等							
イベント参加等、協力を得られたが、労働法関係の啓発不足であった。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成27年度予定							
男女雇用機会均等法や育児・介護休業法など労働に関する各種法律について事業所や団体等への啓発に努めたい。							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	1 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保の推進	(10) 市の契約手法の検討

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
入札(見積)参加資格業者登録への反映の検討	財政課			●			
事業の概要							
市が発注する工事や購入する物品等において、契約相手となる企業等の男女共同参画推進への取組状況(男女雇用機会均等法やパートタイム労働法などの遵守やポジティブ・アクション(積極的改善措置)、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進など)の評価について、その可能性を検討します。							
平成26年度実績							
平成25・26年度宇和島市建設業者格付事務取扱要領において、「育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律」に規定する育児休業制度を就業規則で定めている建設業に対しては、格付の加点要素とした。							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
平成25・26年度の市内工事登録業者135者のうち、「就業規則への育児休業制度」を規定している業者は35者しかいないが、今回加点要素としたことで、次回(平成27・28年度)入札参加資格申請の登録の時には、「就業規則への育児休業制度」を規定する業者の増加が期待できる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成27年度予定							
具体的な予定なし							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	3 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進	(1) 市職員への啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	③新規	
市職員男女共同参画研修会	企画情報課						
事業の概要							
男女共同参画社会形成促進のため、関係各課等で様々な施策を行っており、男女共同参画社会の実現のため、市民の模範となるべき市職員の知識向上を図るため研修を行うもの。							
平成26年度実績							
愛媛県が実施する男女共同参画推進支援事業「市町男女共同参画講座」に応募するも、選考漏れにつき実施できず							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
市職員を対象とした研修を開催し、宇和島市における男女共同参画をより一層推進する必要がある。今後も、県の制度を活用し啓発を行っていきたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
愛媛県実施の男女共同参画推進支援事業を活用し実施希望。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	3 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進	(2) 働きやすい環境づくりとセクシュアル・ハラスメントの防止

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
市職員のセクハラ被害相談への対応	総務課			●			
事業の概要							
市職員のセクハラ被害相談への適切な対応のため、セクハラ被害相談対応マニュアルを作成するもの。							
平成26年度実績							
人事院の「セクシュアル・ハラスメントに関する苦情相談に対応するに当たり留意すべき事項についての指針」等を参考に対応しているが、独自のマニュアルは未作成							決算額
							—
							実績値
							—
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
担当者の育成が必要							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
相談員に研修を受講させ、マニュアル化に取り組みたい。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	3 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進	(2) 働きやすい環境づくりとセクシュアル・ハラスメントの防止

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
セクハラ相談窓口設置	総務課			●			
事業の概要							
セクハラ相談窓口を設置し、相談しやすい体制を整える。							
平成26年度実績							
「宇和島市職員のハラスメントの防止等に関する要綱」に基づきセクハラも含めたハラスメント相談窓口を設置している。							決算額
							—
							実績値
							—
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
担当者の育成及び相談しやすい環境づくりが必要。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
相談窓口における相談体制の充実を図る。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	3 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進	(2) 働きやすい環境づくりとセクシュアル・ハラスメントの防止

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
選挙時の開票作業における女性参画促進	選挙管理委員会	5%	10%	①充実		●	③新規	
事業の概要								
「男女共同参画社会」を進めていくため、選挙の開票作業に女性の比率を高めていこうとするものである。								
平成26年度実績								
愛媛県知事選挙	開票事務従事者	60名中女性職員4名	(女性の占める割合 6.66%)					決算額
衆議院議員選挙	開票事務従事者	97名中女性職員4名	(女性の占める割合 4.12%)					実績値
総合計		157人中女性職員8名	(女性の占める割合 5.09%)					5%
								進捗状況
								2
事業に対する評価・課題等								
今後も国の選挙執行経費が減額されることが予想されるため、開票事務従事者の増員はますます困難な状況である。従って、女性職員だけを増員していくことは困難な状況となっている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4	
平成27年度予定								
参議院議員選挙							予算額	
							目標値	
							6%	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	2 企業等における男女の均等な機会と待遇の確保	
施策の方向及び具体的施策	3 市役所や市関連施設などにおける男女共同参画の推進	(2) 働きやすい環境づくりとセクシュアル・ハラスメントの防止

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
病院局における各施設へのセクハラ相談窓口	病院局			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
病院局の各施設(医療行政管理部、3病院、2老健)に、セクシャルハラスメントの被害者を支援するため、相談窓口を設置し情報の提供を行う。							
平成26年度実績							
平成26年9月1日 宇和島市病院局職員のハラスメント防止等に関する要綱を定め、相談の受付から解決に向けた統一相談窓口を病院局内に設置した。 平成26年度における相談実績はなし。							決算額
							—
							実績値
							—
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
病院局の要綱、ハラスメントの防止等のために職員が認識すべき事項についての指針等を、年に1回全職員に周知しハラスメントの防止及び問題が生じた場合に迅速・適切に対応できるよう病院局としての体制作りに努めている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進	(1) 農林水産業、商工業など自営業における男女共同参画の推進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
家族経営協定締結の支援	農林課			①充実		●	③新規	
事業の概要								
農家の家族関係を近代化し、農業後継者の確保や女性の地位向上を目指す。								
平成26年度実績								
家族経営協定締結数：93家族 ※新規締結は、ありませんでした。								決算額
								実績値
								左記参照
								進捗状況
事業に対する評価・課題等								
経営面や生活面でのルールを文書化することで、妻や後継者も経営参画することができている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成27年度予定								
今後も家族経営協定締結を推進していきたい。								予算額
								目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進	(2) 農業委員会等への参画支援

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
農業委員への女性の参画促進	農業委員会	3名	4名	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
<p>宇和島市農業委員会農業委員の定数は47人で、公選によるものが40人、土地改良区・共済・農協推薦がそれぞれ1人、議会推薦が4人となっている。これまで女性農業委員が選出されておらず、平成20年10月改選時に議会推薦枠4人のうち2人、平成23年10月改選時に議会推薦枠4人のうち3人の女性委員が誕生した。平成26年の改選時には、公選からも女性委員が選出されるように「男女共同参画社会」について理解を深めていこうとするものである。</p>							
平成26年度実績							
平成26年度の改選時には議会推薦により4名の女性農業委員が選任された。							決算額
							実績値
							4名
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
平成29年度の改選時には推薦枠だけでなく、公選からも女性委員の立候補を促し「男女共同参画社会」の理解を深めていきたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成27年度予定							
							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進	(4) 経営能力向上のための支援

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
高速インターネットの普及促進(地域情報化推進事業)	企画情報課			●				
事業の概要								
宇和島市地域情報ネットワーク施設の完成により、採算性の問題等により民間通信事業者による整備が困難だった地域でも高速インターネットの利用ができるようになり、情報通信格差是正を実現した。引き続き、施設指定管理者と共に、安定かつ利用しやすいサービス提供を継続します。								
平成26年度実績								
※平成21年度に民間の通信事業者のサービスを含め、市内全域の高速インターネット環境整備は完了した。今後は、宇和島市のサービス地域については、指定管理者により加入促進を行っていく。								決算額
								0千円
								実績値
								100%
								進捗状況
5								
事業に対する評価・課題等								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
平成26年度予定								
								予算額
								-
								目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進	(4) 経営能力向上のための支援

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
宇和島市生活研究協議会の活動支援	農林課			●			

事業の概要

宇和島市の農山漁村において、農漁家生活の研究と農業改良を学習実践している女性の自主的なグループが、情報や技術等を研究しあい、グループの健全な発展を図っている。

平成26年度実績

研修会の開催や地産地消活動、食文化の伝承・普及活動を行った。

主な活動として、

- ・6次産業化先進地視察
- ・特産品開発講座
- ・グリーンツーリズム体験取り組み施策研修
- ・宇和島市、鬼北地区生活研究協議会交流大会
- ・えひめ食文化普及講座 5回
- ・愛媛県農山漁村ふるさとづくり推進大会参加
- ・機関誌の発行

決算額

370千円

実績値

進捗状況

事業に対する評価・課題等

女性農業者として自主的、積極的に活動している。

今後は、メンバーの高齢化と共に活動が衰退していかないように、新たな会員の勧誘など指導していきたい。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成27年度予定

昨年同様の活動を展開する。

予算額

370千円

目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進	(4) 経営能力向上のための支援

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
宇和島地域ブランド化事業	商工観光課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
真珠を核とした宇和島地域のブランド化に取り組み、地域産業の活性化と交流人口の拡大を目指す。							
平成26年度実績							
女性団体の有志による、企業組合が継続運営されている。 企業組合が提供しているご当地エステ「パールエステ」が大手旅行代理店からも高い評価を得ており、観光客誘致のひとつのツールとして大変注目されており、事業継続が充実している。							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							-
事業に対する評価・課題等							
女性が中心となり地域の活性化に取り組む中で、企業組合を立ち上げ起業したことは大きな成果である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成27年度予定							
パールエステの普及拡大を図るため、昨年度に引き続きパールエステの担い手育成に努めるほか、ホテルや旅館等と連携した旅行商品造成の土台づくりに取り組むとともに、新たな雇用の創出を目指す。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における 男女共同参画の推進	(4) 経営能力向上のための支援

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
有用貝類・海藻類試験研究事業(特産品の開発)	水産課			①充実		●	③新規
事業の概要							
生産技術向上や水産加工品の販売など、女性の自営業への参画促進するため、技術に関する学習会開催や情報提供を行うものである。							
平成26年度実績							
トサカノリ養殖 普及技術指導 イワガキ養殖 普及技術指導							決算額
							実績値
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
生産者がある程度の収益を上げているが、さらなる技術品質の向上を目指す必要がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成27年度予定							
事業予定無し。							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における男女共同参画の推進	(4) 経営能力向上のための支援

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
農林漁業振興事業資金利子補給事業(経営体制の強化)	水産課			①充実		●	③新規
事業の概要							
農林漁業者等に対し、低金利の融資を円滑にする措置を講じて農林漁業の経営の近代化と合理化等を図り、その振興に資する。							
平成26年度実績							
平成26年度 農林漁業振興事業資金利子補給金 近代化 26,784,617円 他 5事業 50,080,782円							決算額
							50,080千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
景気の低迷は今後とも長期化することが予想され、漁業を取り巻く環境は厳しい状況にあるため、資金の返済方法(回数、金利)等の変更を要すると思われる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成27年度予定							
農林漁業者等に対し、低金利の融資を円滑にする措置を講じて農林漁業の経営の近代化と合理化等を図り、その進行に資する。							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	3 活力ある地域に向けた男女共同参画の確立	
施策の方向及び具体的施策	1 農林水産業、商工業などの自営業における 男女共同参画の推進	(6) 都市と交流・共生する農山漁村づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
シーカヤック関連整備事業	商工観光課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
シーカヤックによる交流人口の拡大を目指す。							
平成26年度実績							
宇和島シーカヤッククラブを主体とし、講習会や親子ふれあい体験教室等を開催。							決算額
							-
							実績値
							-
事業に対する評価・課題等							
利用者は女性も多いが、クラブの活動メンバーに女性がいない。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	4 国際交流・協力の推進	
施策の方向及び具体的施策	1 国際交流の充実及び国際感覚の向上	(1) 国際ボランティア養成講座の開催

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
中国象山県との交流事業(中国語講座開催事業)	総務課	55人	70人	①充実		●	③新規
事業の概要							
中国象山県との友好交流の一環として、宇和島市国際交流員を講師とし、週1回公民館で開催するものであり、市民が語学を学ぶことにより相互理解や友好親善が推進されることを目的としている。							
平成26年度実績							
中国語講座 講師 王 姿妍							決算額
週1回(木)19:00~21:00 吉田支所で開催							12千円
開催実日数44日(初級・中級の2講座実施)							実績値
受講登録者数 49名(男21名・女28名) 延べ受講者数1,528名							49人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
参加者の多くは中国交流に大変熱心であり、象山県からの柑橘農業技術研修生と積極的な交流を図る等活発に活動している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成27年度予定							
受講生が継続的且つ楽しく語学を学べるように、テキストのみでなく、絵付きカード、CD、DVD、中国映画上映や象山県からの研修生を参加させて、生きた中国語を実感させる。							予算額
							12千円
							目標値
							50人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	4 国際交流・協力の推進	
施策の方向及び具体的施策	1 国際交流の充実及び国際感覚の向上	(2) 国際交流の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
ハワイ交流事業	総務課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
<p>国際交流団体や住民との連携を深め、国際化に対応した地域づくりの活性化を図る。 愛媛とハワイの子供たちが一堂に会し、交流の意味を込めた野球大会を隔年でハワイ、愛媛県(松山・宇和島)で開催している。 えひめ丸の不幸な事故を風化させることなく後世に伝えるとともに、姉妹都市としての友好関係をより深める目的で開催している。</p>							
平成26年度実績							
愛媛ハワイ交流少年野球大会 平成26年度:宇和島市で開催 えひめ丸事故を機にハワイ州ホノルル市との姉妹都市提携を行い、交流野球大会は今回で第13回目を迎えた。 また、宇和島市とホノルル市の姉妹都市提携10周年を迎え、総勢92名の市民団がハワイ州ホノルル市を訪問し、記念式典を開催することで、両市の一層の交流促進に寄与した。							決算額
							7,381千円
							実績値
							2回
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
関係者の多数の参加があり、盛大に開催できた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
平成27年度は、交流少年野球大会レセプションをホノルル市で開催する。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅱ 男女がともに活躍する社会づくり	
推進方策	4 国際交流・協力の推進	
施策の方向及び具体的施策	1 国際交流の充実及び国際感覚の向上	(2) 国際交流の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
日韓友好支援事業	生涯学習課					●	

事業の概要

【目的】

国際感覚を持った有為な人材育成に寄与するとともに、国際親善、国際交流を推進する。

【内容】

宇和島市内の小学生と、韓国浦項市の小学生がお互いの国を訪問して、ホームステイや交歓会を行うことにより相互理解と日韓親善を深める。

平成26年度実績

中止(国際情勢や日韓の外交上の都合により)	決算額	-
	実績値	-
	進捗状況	2

事業に対する評価・課題等

国際情勢や日韓の外交上の影響を受けやすく、突然の中止を余技なくされる場合がある。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成27年度予定

中止	予算額	-
	目標値	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	1 働き方の見直しの促進	(2) 労働時間短縮等の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員の年次有給休暇の取得促進	総務課	年平均 9.3日	年平均 10日以上	①充実		●	③新規
事業の概要							
市職員の年次有給休暇の取得を促進し、職業生活と家庭・地域生活のバランスの取れた、健康的な生活を支援する。							
平成26年度実績							
平成26年1月～12月までの年次有給休暇取得日数 平均9日							決算額
							—
							実績値
							9日
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
年次有給休暇の取得について、目標値である平均10日以上に達していない所属課がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
各所属課において年間10日以上 of 年次有給休暇が取得できるよう推進する。							予算額
							—
							目標値
							10日

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	1 働き方の見直しの促進	(2) 労働時間短縮等の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員への休業・休暇制度の周知、環境整備	総務課			①充実		●	③新規
事業の概要							
休業・休暇制度について国に準じて制度を整備するとともに、制度の周知を行う。							
平成26年度実績							
嘱託職員育児休業制度(平成23年度創設) 平成26年度の嘱託職員の育児休業取得者は計4名であった。							決算額
							—
							実績値
							—
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
正規職員に係る特別休暇は国に準拠して制度を整備することとなるが、非正規職員に関しては市の財政状況や他市の状況を考慮しながら対応することとなっている。法律や国の制度改革が伴った場合は、非正規職員の勤務条件も速やかに改善に努める。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
正国に準じて制度の整備に努める。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	1 働き方の見直しの促進	(3) 在宅勤務等、新しい就業形態等の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員への短時間勤務制度の導入	総務課					●	

事業の概要

平成20年度より、職員の職業生活と家庭生活との両立を支援するため、職員が職務を完全に離れることなく育児を行うことができるよう、正職員に育児のための短時間勤務制度を導入した。

勤務形態: 3時間55分/日×週5日(週19時間35分)、4時間55分/日×週5日(週24時間35分)、7時間45分/日×週3日(週23時間15分)、7時間45分/日×週2日+3時間55分/日×週1日(週19時間25分)

平成26年度実績

平成26年度の育児短時間勤務者: 0名	決算額	-
	実績値	-
	進捗状況	-
		-

事業に対する評価・課題等

代替職員の確保及び仕事の引き継ぎに課題がある。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

平成27年度予定

育児短時間勤務の請求があった場合には、代替職員を確保することにより許可できる環境づくりに務める。	予算額	-
	目標値	-
		-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	1 働き方の見直しの促進	(3) 在宅勤務等、新しい就業形態等の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員の時間外勤務時間の削減	総務課	-	年間上限 360時間	①充実		●	③新規
事業の概要							
ワーク・ライフ・バランスを推進するため、市職員の時間外勤務時間の削減を行う。							
平成26年度実績							
○平成26年度実績 23,702時間(水道3,291時間 その他20,411時間) 前年度比570時間増 年間360治移管超過職員 3人(水道2人 その他1人) 前年度比増減なし							決算額
							-
							実績値
							左記参照
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
平成25年度実績は、23,132時間(水道3,890時間 その他19,242時間)で、26年度には総時間で570時間、2.5%増加する結果となった。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成27年度予定							
今後も業務の効率化に努め、時間外勤務時間数の減少に努めたい。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	2 家庭生活における男女共同参画の推進	(2) 男女共同参画による子育ての促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
保育所・子育て支援センター事業	福祉課			①充実		●	③新規
事業の概要							
保育所(園)・地域子育て支援センターなどの情報提供機能を活用し、父親の子育て参加に対する意識啓発を促進していきます。							
平成26年度実績							
保育所や地域子育て支援拠点事業を行っている園にて、イベント等における協力など父親の子育て参加に対する意識啓発を実施							決算額
							0千円
							実績値
							-
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成27年度予定							
前年度と同じ内容の啓発にとどまるが、積極的な啓発に取り組む必要あり							予算額
							0千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	2 家庭生活における男女共同参画の推進	(2) 男女共同参画による子育ての促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続		③新規
幼稚園の情報機能の活用による意識の見直し	福祉課 【教育総務課】	100%	100%	①充実	●	②継続		③新規
事業の概要								
保育所(園)・地域子育て支援センター・幼稚園・小学校などの情報提供機能を活用し、父親の子育て参加に対する意識啓発を促進していきます。								
平成26年度実績								
<ul style="list-style-type: none"> ・参観日・家族参観日・祖父母参観日等を通して、父親の参加呼びかけをしたり、幼稚園の取り組みや指導内容等の理解を図ったりする。 ・参観日や子育て学習会、諸行事の参加を通して、子育てに対する意識啓発を行った。 ・市家庭教育支援事業の親子ものづくりを通して、親子のコミュニケーションを深めたり、家族の役割について具体的に啓発した。 ・行事や通信などを利用し、保護者と同じ意識をもって子育て推進に努めた。 ・「全員参加のPTA活動」を目標に両親参加型のPTA活動を行い、父親の参加を促してきた。また週3回園庭開放を行い、保護者間の親睦を深める機会を設けた。 								決算額
								—
								実績値
								100%
								進捗状況
								4
事業に対する評価・課題等								
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者との連携を十分にとる。 ・保護者の幼稚園教育の理解と父親の子育てへの積極的な参加を図る。 ・参観日や諸行事に参加した保護者の感想を参考にしながら、幼児教育の理解を更に深められるよう啓発の仕方を考える。 ・父親が行事や園児の送迎に積極的に関与している状況があり、さらに家族が参加しやすい学習会や行事などを検討する。 ・参観日や行事等への父親の参加が増えてきた。 ・園庭を開放したことで、母親同士のつながりが深まってきている。 ・園行事には、ほとんどの家庭が協力的であり、父親の参加も多い。 								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5
平成27年度予定								
<ul style="list-style-type: none"> ・家庭参観日や園行事を通して、子育てに対する意識の向上を図る。 ・参観日や行事などを通じて、父親参加の保育活動を充実させ、男女共同参画による子育ての楽しさを伝える。 ・今後も行事の精選をしながら、両親参加型のPTA活動をしていきたい。 ・関係機関・保護者と情報を共有する。 ・家族参観日・親子遠足・夕涼み会・運動会等 								予算額
								—
								目標値
								100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	2 家庭生活における男女共同参画の推進	(2) 男女共同参画による子育ての促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
おやじの会推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	84%	100%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
<p>父親の子育て参加に対する意識啓発の促進。 学校行事、PTA活動等、学校教育活動への父親参加の呼びかけ。 よりよい子育てを目指しての研修啓発活動の実施。</p>							
平成26年度実績							
PTA球技大会や夏季休業中のプールの監視、親子奉仕活動、運動会の準備や種目参加に父親の参加が増えた。 校内環境整備等さまざまな行事の中で、児童が家族と触れ合う機会を設けた。 PTA奉仕作業や校内相撲大会等で多くの父親の参加が得られた。 「父ちゃん母ちゃんの会」を計画的に開催し、父親と学校とのコミュニケーションの向上を図ることで、学校教育への父親の参画意識を高めることができた。 日曜日に学校行事や家族参観日を実施。							決算額
							実績値
							87%
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
<p>校内環境整備においては、積極的に作業に取り組む父親の姿が多く見られた。 父親の参加がしやすく、父親の協力を得やすい行事内容の設定。 PTA行事への参加はあるが、父親との直接懇談の場の確保は個別対応しなければならないのが現状である。 父親の果たす役割を確認し、方向性を相談した。協力してくれる家庭が固定化している。 学校行事に父親の参加が増えてきた。しかし、平日の参観日への参加は依然として母親が多数をしめる状態である。 懇談会や学級PTAなどの行事は、母親が中心となるが多かった。 学校が参加を呼びかけるだけでなく、PTA役員力を借りて、PTA活動や学校教育活動及び学校行事に、父親の参加を呼び掛けると多少参加率が高くなる傾向にある。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
各種通信、ホームページを利用して、父親の積極的な参加を取り上げ、男女参画の重要性を発信していく。 保護者意識を高め、教育活動やPTA活動に父親の参加を呼びかける。 父親の参加が必要とされる行事を企画する。 生徒・保護者を対象とした講演会を実施する。 定期的な学校だより、学級通信の発行とHPで、男女参画の重要性に関する啓発を行う。 保護者が参加する活動や学校行事について、PTA役員からも父親の参加を促す声を掛けていただく。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	1 職業生活と家庭・地域生活のバランスのとれた参画支援	
施策の方向及び具体的施策	2 家庭生活における男女共同参画の推進	(3) 男性の家事・育児等への参画促進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
両親学級	保険健康課			①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
妊婦及びその家族に対し、子どもを健康に産み育てるための知識・技術について支援し、母子保健の向上に努める。また、妊娠・出産に対する不安の軽減を図り、仲間作りの場とするものである。							
平成26年度実績							
【パパママスクール】							決算額
(対象) 宇和島市に居住地を有する妊婦及びその配偶者		回数	延人数	(再掲)妊婦	(再掲)夫	(別掲)子等	10千円
(場所・従事者) 宇和島保健センター・保健師、栄養士		I マタニティー編 4回	87	44	43	0	実績値
(回数) 年8回(日曜5回・平日夜間3回)		II 育児編 4回	92	45	45	2	8講座
(内容) 栄養についての講話、試食、夫の妊婦体験、 妊婦体操、沐浴実習、育児についての講話等		計8回	179	89	88	2	進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より回数を1回減らし計8回の実施としたため延参加人数は減少したものの、実人数は昨年度より多かった。 ・アンケートの結果を見ると参加者の満足度・教室の内容の理解度は高い。 ・虐待予防や母親や自身の自己肯定感についても講話の中で取り入れ、妊娠中のことのみならず、育児についての助言も行っている。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
・参加者の意見を取り入れながら内容やテキストを検討。							予算額
							10千円
							目標値
							8講座

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(1) 育児休業制度の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員の仕事と子育ての両立等についての相談窓口での相談受付	総務課			①充実		●	③新規
事業の概要							
市職員の仕事と子育てについて相談を受ける窓口を設置し、仕事と子育ての両立ができるよう職員のサポートを行うもの。							
平成26年度実績							
総務課人事係で相談を受ける体制となっており、産前休暇願申請の際に個別に相談を受けることとしている。							決算額
							—
							実績値
							—
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
職員が気軽に相談できる雰囲気づくりを心掛けたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
継続して、気軽に相談できる雰囲気づくりに努める。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(1) 育児休業制度の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員の育児休業等取得率の向上(少子化・子育て支援)	総務課	男性5.3% 女性100%	男性10% 女性100%	①充実		●	③新規
事業の概要							
市職員が育児休業を取得しやすい職場環境を整えとともに、男性職員の取得を促進していく。							
平成26年度実績							
○平成26年度中に新たに育児休業が取得可能になった職員数と取得実績 対象者 男性12人 女性3人 取得者 男性0人(0%) 女性3人(100%)							決算額
							実績値
							男性0% 女性100%
							進捗状況
3							
事業に対する評価・課題等							
生成26年度実績として、女性の取得率100%に対し、男性の取得率0%であった。育児休業制度及び育児短時間勤務制度の周知を行うとともに、男性職員の育児休業取得を促進する。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							2
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							2
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
職員が育児休業を取得しやすい職場環境づくりに心がけ、男性職員の育児休業取得を促進する。							予算額
							—
							目標値
男性10% 女性100%							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(2) 子ども看護休暇制度の啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員への子どもの看護休暇等の特別休暇の周知と取得の促進	総務課			①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>「子の看護のための休暇」は、職員が負傷又は病気の小学校就学の始期に達するまでの子の看護を行なう場合で、その勤務しないことが相当と認められるときを対象とする特別休暇で、1年において5日(2人以上は10日)の範囲内で認められる。子どもの看護休暇等の子育てを支援する特別休暇制度の周知を行い、取得の促進を図る。</p>							
平成26年度実績							
平成26年度 子の看護休暇取得 6人 9日0時間15分(うち男性職員 3人)							決算額
							—
							実績値
							5人
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
制度の周知を行う。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
男女問わず、職員の取得をさらに促進させるため、制度の周知を図る。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(3) 男性の育児休業取得に向けた意識啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
「えひめの保育」等を通じた情報提供・意識啓発	福祉課			●			
事業の概要							
「えひめの保育」や各種情報誌など、あらゆる機会を活用し、男性の育児休業取得に向けた意識啓発を行う。							
平成26年度実績							
各種情報誌などを窓口や保育所などに配布設置しているが、男性の育児休業取得に向けた積極的意識啓発とまでは至っていない							決算額
							0千円
							実績値
							-
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
積極的な啓発に取り組む必要あり							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成27年度予定							
前年度と同じ内容の啓発にとどまるが、積極的な啓発に取り組む必要あり							予算額
							0千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(4) 育児支援サービスの利用促進

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向		
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続
保育サービスネットワーク事業	福祉課			●		
事業の概要						
各種保育サービスや地域支援体制など支援サービスや制度について周知に努め、公的サービスの利用を促進します。 ・地域内における保育サービスに関するパソコンネットワークを構築し、病後児保育・一時保育・認可外保育施設などの空き状況の情報提供 ・育児休業取得者、育児を行う就業者に対する育児支援等の、国・県の関係諸施策や各種制度の広報・情報提供、関係団体と連携して啓発に努める						
平成26年度実績						
「宇和島市保育サービスネットワーク」として、ホームページを開設しており、随時更新を行っている。						決算額
						0千円
						実績値
						-
						進捗状況
事業に対する評価・課題等						
情報媒体の充実化、さらなる周知に努める必要あり						
男女共同参画の視点での評価						
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4
平成27年度予定						
子育てガイドブック製作予定						予算額
						7,000千円
						目標値
-						

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(5) 延長保育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
延長保育の充実	福祉課	6箇所	9箇所	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
開園時間を超える保育ニーズに対応するため、延長保育を充実する。							
平成26年度実績							
延長保育促進事業を法人保育園6園で実施							決算額
							35,598千円
							実績値
							6力所
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
実施園の拡大の必要性の検討							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成27年度予定							
子ども子育て支援新制度施行に伴うニーズ拡大に対応するため、公立保育所における延長保育の実施							予算額
							10,340千円
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(6) 休日保育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
休日保育の充実	福祉課			●			
事業の概要							
保護者の日曜・祝日の勤務などの理由によって保育ができない場合の対応を充実します。							
平成26年度実績							
休日保育事業を法人保育園1園において実施							決算額
							1,424千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
特になし							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
前年度と同様							予算額
							-
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(7) 特定保育の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
特定保育の実施	福祉課			●			
事業の概要							
就労形態等の多様化に伴い、家庭での保育が一時的に困難となる場合など、様々な保育ニーズに対応するため、週2・3回程度、また、午前か午後のみなどの柔軟な保育事業を実施する。							
平成26年度実績							
類似した内容の事業へ一本化したため、平成25年度より実施していない							決算額
							0千円
							実績値
							-
							進捗状況
							-
事業に対する評価・課題等							
特になし							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成27年度予定							
なし							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(8) 病後児保育の充実(施設型)

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
病後児保育の充実(施設型)	福祉課	1箇所	2箇所	●			

事業の概要

現在、実施されている病後児保育に対して支援を行い、保護者の就労などにより、病気回復期に家庭での保育が困難な乳幼児の保育を充実する。

平成26年度実績

こおり小児科にて実施	決算額	9,829千円
	実績値	1カ所
	進捗状況	3

事業に対する評価・課題等

需要に見合った提供をするには、1カ所のみでは不足している状況といえる

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	3
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	3
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	3

平成27年度予定

前年度同様に桑折小児科1カ所のみで実施	予算額	11,146千円
	目標値	2カ所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(9) 一時保育の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
一時保育の充実	福祉課			●			
事業の概要							
保護者の就労形態の多様化や疾病等の緊急時に対応するため、また、保護者の心理的・肉体的負担の解消を図るためにも一時保育を充実する。							
平成26年度実績							
法人保育園6園にて実施							決算額
							9,373千円
							実績値
							-
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
保護者の就労形態の多様化や疾病等の緊急時に対応できた							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成27年度予定							
前年度同様							予算額
							13,290千円
							目標値
						-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(11) 放課後子どもプランの充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
学童保育の充実	福祉課	9箇所	10箇所	①充実	●	②継続	③新規
事業の概要							
<p>地域の実情に合わせて子育て支援を充実させるため、小学生の放課後の居場所を確保する放課後児童プラン(放課後児童クラブ)を充実する。(対象者1~3年生)</p>							
平成26年度実績							
<p>設備及び運営に関する条例を制定し、対象児童を小学6年生まで拡充した。 吉田小校舎一部を取り壊しに伴い、吉田放課後児童クラブを吉田小余裕教室に移設した。 放課後児童クラブ 公設民営 4クラブ、民設民営 5クラブを開設。 児童者数(補助基準対象数) 350人</p>							決算額
							26,979千円
							実績値
							9箇所
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
<p>番城認定こども園(仮称)に放課後児童クラブを2教室(移設・新設)を新設。 放課後児童クラブ 公設民営 4クラブ、民設民営 5クラブを開設。 児童者数(補助基準対象数) 350人</p>							予算額
							93,638千円
							目標値
							9箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(11) 放課後子どもプランの充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
放課後子ども教室推進事業	生涯学習課	10箇所	10箇所 (事業拡充)	①充実	●	②継続	③新規

事業の概要

放課後に小学校の余裕教室や公民館等を活用して、子ども達の安全・安心な活動拠点(居場所)を設け、地域住民の参画を得て、子ども達とともに勉強やスポーツ、地域住民との交流活動等に取り組むことにより、子ども達が地域社会の中で心豊かで健やかにはぐくまれる環境作りを推進する。

平成26年度実績				決算額
【鶴島放課後子ども教室】	①実施日数：32日	②参加児童(平均)：26.6人/回	③対象校区：鶴島小学校	1,014千円
【天神放課後子ども教室】	①実施日数：10日	②参加児童(平均)：15.3人/回	③対象校区：天神小学校	
【和霊放課後子ども教室】	①実施日数：9日	②参加児童(平均)：27.6人/回	③対象校区：和霊小学校	実績値
【高光放課後子ども教室】	①実施日数：187日	②参加児童(平均)：10.5人/回	③対象校区：高光小学校	
【住吉放課後子ども教室】	①実施日数：187日	②参加児童(平均)：24.0人/回	③対象校区：住吉小学校	11箇所
【三間放課後子ども教室】	①実施日数：188日	②参加児童(平均)：12.8人/回	③対象校区：三間小学校	
【二名放課後子ども教室】	①実施日数：187日	②参加児童(平均)：11.3人/回	③対象校区：二名小学校	進捗状況
【成妙放課後子ども教室】	①実施日数：183日	②参加児童(平均)：0.5人/回	③対象校区：成妙小学校	
【畑地放課後子ども教室】	①実施日数：192日	②参加児童(平均)：3.5人/回	③対象校区：畑地小学校	4
【宇和津放課後子ども教室】	①実施日数：187日	②参加児童(平均)：6.5人/回	③対象校区：宇和津小学校	
【美沼子ども教室】	①実施日数：95日	②参加児童(平均)：7.1人/回	③対象校区：三間、二名、成妙小学校	

事業に対する評価・課題等

平成24年度との比較で1箇所増え、合計11箇所を実施している。
 学校日の開催を基本としている7教室については、学童保育のニーズの高い地域における児童クラブを補完する形での放課後対策事業として一定の評価ができる。長期休業期間や土曜日の学校休業日への対応については、平成25年度に美沼子ども教室(三間地区対象)を開設した。
 公民館で不定期に開催している3教室については貸館の都合上実施回数に限りがあり、地域の教育力を生かした児童の居場所づくりという観点からは十分評価できるものの、学童保育の普及を求める保護者のニーズには十分対応できていない。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成27年度予定				予算額
【鶴島放課後子ども教室】	実施日数：40日	【天神放課後子ども教室】	実施日数：15日	10,547千円
【和霊放課後子ども教室】	実施日数：10日	【高光放課後子ども教室】	実施日数：187日	
【住吉放課後子ども教室】	実施日数：187日	【三間放課後子ども教室】	実施日数：187日	目標値
【二名放課後子ども教室】	実施日数：187日	【成妙放課後子ども教室】	実施日数：187日	
【畑地放課後子ども教室】	実施日数：187日	【宇和津放課後子ども教室】	実施日数：187日	11箇所
【美沼子ども教室】	実施日数：99日			

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(12) 地域子育て支援センター事業への支援充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
地域子育て支援センター事業	福祉課			①充実		●	③新規
事業の概要							
地域子育て支援センターを設置し、保護者の育児相談、保育サービスの利用相談等に対応できる体制を整備する。							
平成26年度実績							
地域子育て支援拠点事業を法人保育園5園で実施するとともに、他の保育所や公民館などでも対応できる体制が整っている							決算額
							37,265千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
旧宇和島市内では充実している							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
前年度同様							予算額
							37,265千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(13) ファミリー・サポート・センター事業の実施

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
ファミリー・サポート・センター事業	福祉課					●	

事業の概要

子育て中の保護者が急な仕事・用事により、子どもの世話ができないとき、一時的に地域住民が子育ての手伝いをおこなう。

平成26年度実績

利用会員に対し、市立宇和島病院で実施される子育てセミナーの参加を呼びかけた。
 会員登録数(平成27年3月31日現在)
 利用会員 210人
 サポート会員 99人
 両方会員 17人 計 326人

決算額

2,271千円

実績値

1箇所

進捗状況

4

事業に対する評価・課題等

平成26年度における活動件数は1,195件であり、昨年度比で△141件であった。
 利用会員に対する効果的な研修を実施し、会員の確保に努めたい。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	4

平成27年度予定

利用会員の確保及び効果的な研修を実施する。

予算額

2,398千円

目標値

1箇所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(14) 児童館設置の検討

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
児童館設置の検討	福祉課	-	1箇所	●			

事業の概要

地域において健全な子どもを育成し、情報交換やふれあいの場を提供していくために、児童館の設置を検討する。

平成26年度実績

なし	決算額	0千円
	実績値	-
	進捗状況	1

事業に対する評価・課題等

要検討事項

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

平成27年度予定

なし	予算額	-
	目標値	1カ所

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(16) 乳幼児・児童を持つ家庭への各種手当・医療費の助成

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
乳幼児医療費助成・児童手当	福祉課					●	

事業の概要

子ども手当をはじめとする各種手当の支給や医療費の助成と行い、乳幼児、児童を養育している家庭の福祉の増進を図る。

平成26年度実績

児童手当の支給 1,102,884千円 乳幼児医療費の負担 131,219千円 児童医療費の助成 4,730千円	決算額
	1,238,833千円
	実績値
	左記参照
	進捗状況
	5

事業に対する評価・課題等

児童手当及び乳幼児医療比の負担については、国・県の施策により実施。
 児童医療費の助成は、県内における実施状況を勘案し、市単独事業で実施。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	-

平成27年度予定

児童手当の支給 1,104,450千円 乳幼児医療の負担 143,160千円 児童医療費の助成 7,010千円	予算額
	1,254,620千円
	目標値
	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(17) ひとり親家庭への各種手当・医療費の助成

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
母子家庭医療費助成・児童扶養手当	福祉課			●			
事業の概要							
児童扶養手当をはじめとする各種手当の支給や医療費の助成を行い、母子家庭等の福祉の向上を増進をはかる。							
平成26年度実績							
制度改正に伴い、年金受給者が児童扶養手当を受給することができるようになった。 医療費の助成について、父子家庭にも拡充を行った。(平成27年7月診療分から) 児童扶養手当の支給 468,655千円 母子家庭医療費の助成 84,242千円							決算額
							552,897千円
							実績値
							左記参照
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
制度改正について、広報・HPで周知を行った。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
前年度と同様に実施 児童扶養手当の支給 480,105千円 ひとり親家庭医療費の助成 85,487千円							予算額
							565,592千円
							目標値
—							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(18) ひとり親家庭への相談・支援活動の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
家庭・児童相談員(相談員3人)	福祉課			①充実		●	③新規
事業の概要							
ひとり親家庭に対して、民生児童委員、主任児童委員等との連携を図りながら、生活一般及び自立生活に必要な相談・支援活動を充実させていく。							
平成26年度実績							
1名の母子父子自立支援員を配置し、ひとり家庭から相談を受けたり、小口資金5件や福祉資金5件の貸し付けなど支援を行った。							決算額
							2,286千円
							実績値
							10件
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
法改正により父子家庭への支援策が強化されたため、当市も母子父子自立支援員を配置した。また、児童扶養手当を受給し、求職中の者に対し、ハローワークと連携し就労支援を実施した。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
昨年度と同様に就労支援を実施。							予算額
							3,162千円
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(19) ひとり親家庭への就労支援

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
母子自立支援事業	福祉課			●			
事業の概要							
母子家庭の社会的、経済的自立を推進していくため、国や県と連携を取りながら推進する。							
平成26年度実績							
自立支援プログラム策定事業 1件 高等技能訓練促進費等事業 9人							決算額
							10,882千円
							実績値
							9人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
国の制度改正を踏まえながら、事業を実施していく。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
相談内容に応じた福祉サービスを提供していく。							予算額
							9,740千円
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(20) 子育て意識の啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
子育て支援広報啓発事業	福祉課			①充実		●	③新規
事業の概要							
子育て支援の充実および子育て意識の啓発							
平成26年度実績							
特になし							決算額
							-
							実績値
							-
						進捗状況	
						2	
事業に対する評価・課題等							
さらなる子育て支援の充実化を図る必要あり							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						3	
平成27年度予定							
子育て相談窓口の設置 子育てガイドブックの製作							予算額
							7,000千円
							目標値
						-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(20) 子育て意識の啓発

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
健康衛生推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	85%	100%	①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>生命の尊さや親となる喜びを学ぶ機会の充実・子育てに喜びを感じる社会づくり。自他の生命尊重の大切さを学校・家庭が共有。社会全体で子育てを支える必要性などについての啓発活動の推進。生命尊重を基盤とした教育の実施。</p>							
平成26年度実績							
<p>交通安全教室や薬物乱用教室による警察や関係機関との連携ができた。 お年寄りとの交流を深めるなど、命や福祉を学ぶ教育の機会を充実させた。 教職員と保護者が子育てについて話し合う場・機会を持つことにより、連携・協力した児童の成長にかかわる取組ができた。 日々の集団下校において、命の大切さや発達段階に応じた役割の指導に努めている。 総合的な学習の時間において、福祉問題を取り上げ、関係機関の協力を得て、学習の機会を充実させた。</p>							決算額
							実績値
							87%
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
<p>教職員と保護者が、連携・協力して自分の命は自分で守る教育を推進することができた。 子育てに関する考え方が大きく違う家庭があり、親の考え方によって児童同士のつきあいも制限せざるを得ない状況になる場合が見られる。 保健室だよりや学級通信等、学校からの啓発活動に努めた。 教職員と保護者が子育てについて話し合う場・機会を持つことにより、連携・協力した児童の成長にかかわる取組ができた。 各家庭で独自の子育て観があり、子育ての悩みなどを共有することが困難な点もある。 生徒の問題行動に関する話合いの流れで、個別に関係保護者と相談する機会はある。しかし、それ以外で「子育て」に関して、取り上げて話し合う場は設定できてはいない。そのため、保護者の代表が集まるPTA運営委員会や地域の代表と協議する「まもり育てる協議会」等で啓発し、地域から各保護者へ発信していくよう努めている。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
<p>人権感覚の高揚・生命尊重をテーマにした講演の実施。 人権・同和教育を中心として、命の尊さを指導していく。 性教育年間指導計画に沿って、各教科との関連を図りながら指導をする。 学校だより等の通信を通じた、学校情報の発信を行う。 防災訓練の実施等を通して生命尊重の意識を高める。 防災訓練を実施し、自他の生命尊重の大切さについて学ぶ機会をもつ。 教職員から保護者に啓発する形でなく、PTA組織の中の「学年学級部」や「人権・同和教育部」を中心に、保護者同士の集まりの中で、「子育て」について話し合う場を設定していきたい。</p>							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(21) 子育てを支援する環境整備

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
歩道の切下げ及び点字ブロックの設置等	建設課	20%	22%	①充実		●	③新規	
事業の概要								
交差点及び横断歩道の車道と歩道の段差をなくし、歩行者にやさしい道作りをするものです。								
平成26年度実績								
市道長堀14号線に転落防止柵を約100m設置したほか、3路線にて歩行者安全対策工事を行った。								決算額
								7,600千円
								実績値
								20%
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
近年の財政状況に対して、市内の補修箇所が増加により予算確保が困難になっている。しかしながら、交通弱者に対して最優先の道づくりを行っていかねばならないと考えている。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								-
平成27年度予定								
歩行者にとって危険な箇所について、市民からの要望によりその都度補修を行う予定である。また、通学路緊急合同点検の結果を踏まえ、危険箇所について対策工事を実施予定。								予算額
								8,500千円
								目標値
								21%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(21) 子育てを支援する環境整備

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
都市公園における移動等円滑化への対応	都市整備課			①充実		●	③新規
事業の概要							
出入口の段差解消やスロープの設置等により、高齢者や障がい者、ベビーカーを含む子ども連れの人などに優しい公園造りを目指すもの							
平成26年度実績							
都市公園、児童遊園における公園施設の設置・改修の実績なし。							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							-
事業に対する評価・課題等							
公園施設の機能回復のための修繕はその都度行ったが、機能向上のための改修は行っていない。地域の要望や現状を把握し、財政措置を含めた年次改修計画の策定が必要。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成27年度予定							
都市公園、児童遊園の既存の公園施設の調査・改修。 都市公園、児童遊園内のトイレを和式から洋式へ改修。							予算額
							-
							目標値
							3か所以上

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(21) 子育てを支援する環境整備

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
公営住宅整備事業(バリアフリー型公営住宅数の拡大)	建築住宅課	56戸	128戸	①充実		●	③新規	
事業の概要								
<p>少子高齢社会に対応するため公営住宅等整備事業により、公営住宅のバリアフリー化を推進する。</p>								
平成26年度実績								
<p>年度内の修繕予算は、公営住宅住民からの修繕願に基づく修繕などで全額使い切る状況で、逆に残不足により年度末近くになると公営住宅住民の生活環境に直結するような修繕すら満足に受け付けられない状況に陥る。したがって、上記関連事業にまわす予算残がなかったことなどから、実績は全くない。</p>								決算額
								—
								実績値
								56戸
								進捗状況
								1
事業に対する評価・課題等								
<p>伊吹団地シルバーハウジング戸数(56戸)の他に、既存住宅のうち72戸をバリアフリー化しようとするものであるが、上記平成26年度実績にて述べたような例年の逼迫した歳出状況から、同事業のための予算措置をしていただけない限りは、同事業の進捗は全くありえない。</p>								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								—
平成27年度予定								
<p>昨年度と同様の実情より、今年度に就いても何ら進捗することはないと思われる。</p>								予算額
								—
								目標値
								—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(22) 地域交流の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
保育所地域交流事業	福祉課			●			
事業の概要							
様々な世代間の交流や中高生による体験学習、郷土芸能の伝承活動、保育所・幼稚園・小学校・中学校の連携など、地域・学校・家庭での交流を促進する。							
平成26年度実績							
公立保育園12園、法人保育園6園で実施							決算額
							1,629千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
世代間の交流を促進することができた							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
公立保育園15園、法人保育園6園で実施							予算額
							1,789千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(22) 地域交流の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
幼稚園における地域交流	福祉課 【教育総務課】			●			
事業の概要							
様々な世代間の交流や中高生による体験学習、郷土芸能の伝承活動、保育所・幼稚園・小学校・中学校の連携など、地域・学校・家庭での交流を促進します。							
平成26年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ・公民館、地域の高齢者、老人クラブ、農業後継者、また小・中・高等学校などの身近な人との様々な交流や連携を図ってきた。 ・小学校・未就園児との交流活動、高齢者福祉施設訪問などの他、地域行事にも参加し、様々な世代の人たちとの交流を行った。 ・保育園児と共に行事に参加し、協力した。 ・職場体験学習により、中高生と交流した。 							決算額
							—
							実績値
							100%
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・同じ敷地内に小学校・公民館があり、交流や連携がとりやすかった。また、園行事に老人クラブの方々に参加してもらうことで、お年寄りとの交流ももてた。 ・様々な世代間の交流を通して、園内ではできないいろいろな体験をすることができ、活動の内容や場が広がった。 ・継続的な行事や新たに取り入れた活動などにより、保護者・小学校・地域・他園とのつながりを深めることができた。 ・地域とのつながりの中での体験活動が、幼児の成長や発達につながった。 ・園児と様々な世代との交流を重ねてきたことで、親しみの気持ちや思いやりの心が育まれてきている。 ・様々な人との交流を通して、豊かな経験や人との関わりを深めることができた。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
<ul style="list-style-type: none"> ・幼・保・小・中・高生や地域との交流活動の促進。 ・小学校や公民館・地域・保育所との交流により、地域で見守り、育てる指導体制を確立する。 ・引き続き、地域行事への参加、地域の人々との交流活動を取り入れる。 ・幼児の直接体験を促す。 							予算額
							—
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(22) 地域交流の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
豊かな人間性育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	86%	100%	①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>様々な世代間の交流や体験学習、郷土芸能の伝承活動、小中学校の連携など、地域・学校・家庭での交流の促進。 公民館活動を中心とした地域行事への積極的な参加。 低学年とお年寄りとの交流会の実施。 老人クラブとの交流や地域での体験活動。</p>							
平成26年度実績							
<p>保育園、障害者施設、老人ホームとの交流活動や、地域の方を講師として招き、しめ縄作り等の活動を行った。 秋祭りのお練に全校児童が参加した。 総合的な時間に地域の教育力を導入している。 児童が地域行事へ積極的に参加するよう呼びかけるとともに、教職員も地域への奉仕活動に参加した。 地域の老人クラブと、グランドゴルフ等を通して交流することができた。 地域の秋祭りや相撲大会等の行事に多くの児童が参加した。 地区別教育懇談会を開催し、学校・保護者・地域の方が参加して、児童の健全育成について話し合いと情報交換を行った。 地域の子どもを守るため、地域の団体との話し合いの場を定期的にもった。</p>							決算額
							実績値
							90%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
<p>交流を通じて自分たちが住んでいる地域の歴史や文化、人と人とのつながりについて学ぶことができた。 地域の方との交流によって、世帯間交流がうまくでき、挨拶が広がっている。 地域の人をゲストティーチャーとして校内に招いて指導してもらったり、地域との触れ合い活動を取り入れたりする。 地域との関わりを深めることにより、地域全体で子どもたちを育てているという意識が高まった。 地域行事への参加を通して、児童が、地域の歴史や文化を学び、地域の一員としての自覚が高まった。 児童数の減少とともに、継承する児童も減ってきている。 地域の伝統を継承する意義を啓発していく必要がある。 伝統文化に参加することで、地域の歴史や文化、人とのつながりを学ぶことができた。 三世代でもちつき大会を行い、お年寄りとの交流を深めることができた。 事業を通して、地域の一員であるとの自覚や地域に貢献しようとする心情が育った。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
<p>児童が、計画段階から主体的に参加できるような行事を実施する。 地域行事について、公民館などに情報を提供していただき、学校だよりなどをとおして発信していく。 世代間交流行事の促進。 ゲストティーチャーによる学習や体験活動の実施。 総合的な学習の時間や生活科の中での地域教材を通して、地域に対する愛着を深める。</p>							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	1 子育て支援の充実	(22) 地域交流の推進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
地域交流推進事業	生涯学習課			●			
事業の概要							
世代間交流や郷土芸能の伝承にかかる学級・講座及び、様々な体験学習を推進し、地域や学校、家庭での交流を促進する。							
平成26年度実績							
【公民館講座】 実施公民館数 : 30館 実施回数 : 162回 実施時間数 : 283時間 参加者数 : 2,194人 内容 : 郷土史学級・三世代交流・光る泥だんご作り・古典読書講座・パソコン教室等							決算額
							592千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
限られた予算の中で、さまざまな学級・講座が実施できたことは評価できる。今後も多くの人が学べるよう、土日や日中、夜間等に分散して開催する努力が必要である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
【公民館講座】 実施公民館数 : 30館 実施回数 : 165回							予算額
							631千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護支援の充実	(1) 介護休業制度の促進

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
市職員への休業・休暇制度の周知、環境整備	総務課			●			

事業の概要

職員が家族を介護しなければならなくなった場合には、肉体的、精神的に職業生活と介護の二重の負担がかかることとなり、離職に至ることとなりかねない。介護休暇は、このような事態を回避するため、長期の場合は一定期間の休暇(無給)、短期の場合は特別休暇を認めることにより職員の離職を回避するもの。

長期における取得可能期間: 2週間以上6か月以下
短期における取得可能期間: 1年のうち5日(要介護者が2人以上は10日)

平成26年度実績	
○平成26年実績 長期における介護休暇 0人 短期における看護休暇 0人	決算額
	—
	実績値
	0人
	進捗状況
	2

事業に対する評価・課題等

制度の周知を行う。

男女共同参画の視点での評価	
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	—

平成27年度予定	
仕事と介護の両立ができるよう、制度の周知や相談体制の充実を図る。	予算額
	—
	目標値
	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護支援の充実	(2) 介護支援の充実

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規	
家族介護支援事業(介護用品支給事業)	高齢者福祉課			●				
事業の概要								
居宅において要介護4以上の高齢者を介護している家族に対し、介護用品を支給することにより、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続及び向上を図る。								
平成26年度実績								
利用者数 : 164名								決算額
支給件数 : 1,225件								6,811千円
支給費総額 : 6,811,421円								実績値
								左記参照
								進捗状況
								3
事業に対する評価・課題等								
ケアマネージャーや民生委員等に対して業務説明を行ったため、ある程度の周知は図られたが、市全体として更なる周知を行ってほしい。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								4
平成27年度予定								
利用者数 : 200名								予算額
支給件数 : 1,300件								7,800千円
支給費総額 : 7,800,000円								目標値
								—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護支援の充実	(2) 介護支援の充実

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
在宅老人等介護手当事業	高齢者福祉課			●			
事業の概要							
居宅において要介護3以上の寝たきり及び重度認知症の高齢者を介護している家族に対し、介護手当を支給することにより、経済的負担の軽減を図るとともに、要介護高齢者の在宅生活の継続及び向上を図る。							
平成26年度実績							
利用者数 : 205名						決算額	
支給月数 : 1,519ヶ月						7,595千円	
支給費総額 : 7,595,000円						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	
						3	
事業に対する評価・課題等							
ケアマネージャーや民生委員等に対して業務説明を行ったため、ある程度の周知は図られたが、市全体として更なる周知を行っていきたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成27年度予定							
利用者数 : 240名						予算額	
支給月数 : 1,800ヶ月						9,000千円	
支給費総額 : 9,000,000円						目標値	
						-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護支援の充実	(2) 介護支援の充実

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
地域支援事業(高齢者見守り配食事業(週3回以内配食、安否確認))	高齢者福祉課			①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>居宅において食事の調理等が困難な65歳以上の独居高齢者等に対し、配食サービスを行うことにより栄養状態の改善と健康の増進を図るとともに、利用者の安否確認を行う。</p>							
平成26年度実績							
利用者数 : 653名(延) 配食件数 : 6,078件 支給費総額 : 1,436,700円(委託料のみ)						決算額	
						1,437千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
<p>○食事の提供が週に1回(昼食)のみであったため、十分な事業効果が得られていなかった。H21年度から週3回を上限に利用回数を増やし、利用者の安否確認を行うことに重点を置いている。 ○事業選定は3年に1度実施しているが、H24年度～津島地区で事業者不在の状態が続いていたが、再三の追加募集の結果、H25年9月に1社決定、更にH26年9月に1社決定し、計2社が参入し、津島地区での実施が再開できるようになった。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成27年度予定							
利用者数 : 900名(延) 支給件数 : 7,000件 支給費総額 : 1,800,000円(委託料のみ)						予算額	
						1,800千円	
						目標値	
						—	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅲ 男女がともに充実した生活をおくることができる環境づくり	
推進方策	2 育児期・介護期における環境整備	
施策の方向及び具体的施策	2 介護支援の充実	(2) 介護支援の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向					
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	③新規	●		
やわらか食お料理教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続		③新規	●
事業の概要									
高齢化等に伴う嚥下機能低下に対応したレシピを栄養士が作成し、誤嚥防止のための調理実習を調理師とともにを行い、実践につながる学習機会の提供を行う。									
平成26年度実績									
<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数6回 ・延べ参加者数28人(すべて外来患者) 								決算額	—
								実績値	左記のとおり
								進捗状況	5
事業に対する評価・課題等									
<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に開催しており、事前に広報うわじまで周知することで、在宅や施設、病院など嚥下食が必要な患者・市民に情報提供を行うことができた。 ・参加者の希望する内容で調理実習を行い、実際作ることによって理解や自信取得につながり、他施設での嚥下食の発展に貢献することができた。 ・教室参加を通して、各施設や病院スタッフの情報交換の場を提供できた。 ・当院調理師に自己研鑽の場にもなっており、これまで嚥下食を作ったことがなかった調理師も嚥下食担当として取り組めるようになった。 									
男女共同参画の視点での評価									
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか								5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか								5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか								5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか								5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか								5	
平成27年度予定									
今後も定期的に実施する。嚥下食地域連携勉強会と共同して、地域住民や他施設、他の病院に調理実習を通して嚥下食の情報提供を行っていく。								予算額	—
								目標値	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶						
施策の方向及び具体的施策	1 あらゆる暴力の防止			(1) あらゆる人に対する暴力の防止			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
防犯灯設置補助金交付事業	企画情報課						
事業の概要							
住民の防犯意識を高め、犯罪を未然に防ぐ地域社会づくりに寄与するため、宇和島市の自治会が防犯灯を新規設置する場合及び既存防犯灯照明器具を一式交換する場合に補助金を交付するもの。							
平成26年度実績							
地域づくり交付金の事業計画により必要な場合は支出費用を交付されることとなったため、平成25年度より事業費なし。また、防犯灯のLED化については平成26～27年度にかけて順次市で行っていく予定。(維持管理については各自治会)							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							-
事業に対する評価・課題等							
地域づくり交付金の事業計画により必要な場合は支出費用を交付されることとなったため、平成25年度より事業費なし。また、防犯灯のLED化については平成26～27年度にかけて順次市で行っていく予定。(維持管理については各自治会)							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							-
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							-
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成26年度予定							
地域づくり交付金の事業計画により必要な場合は支出費用を交付されることとなったため、平成25年度より事業費なし。また、防犯灯のLED化については平成26～27年度にかけて順次市で行っていく予定。(維持管理については各自治会)							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶						
施策の方向及び具体的施策	1 あらゆる暴力の防止			(1) あらゆる人に対する暴力の防止			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
児童虐待・DVに関する情報を広報に掲載	福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
乳幼児など児童に対する暴力を容認しない社会環境をつくるための啓発を推進するとともに、生涯を通じて暴力への加害者にも被害者にもなることがないよう、啓発、情報提供を行う。また、関係機関と連携し、女性に対する暴力を誘引する有害環境の浄化を推進する。							
平成26年度実績							
2名の相談員を配置し児童家庭相談活動を実施した。 宇和島市要保護児童対策地域協議会代表者会 1回 " 実務者会 3回 " ケース進行管理会 3回 " 個別ケース会17回							決算額
							0千円
							実績値
							24件
							進捗状況
5							
事業に対する評価・課題等							
愛媛県内で発生した悲惨な事件があった以降、関係機関の連携がさらに強化され対処できている。保健部局と連携を図りながら、特定妊婦への支援を充実された。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成27年度予定							
昨年と同様に関係機関と連携を図りながら、早期発見・早期対処に努めたい。							予算額
							0千円
							目標値
							随時

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶						
施策の方向及び具体的施策	1 あらゆる暴力の防止			(1) あらゆる人に対する暴力の防止			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
「愛の一声」活動推進事業(少年センター)	生涯学習課						
事業の概要							
街頭において声かけをすることによって、少年の非行を未然に防ぎ少年自身に自らの行為の過ちに気付かせるような補導活動を進める。 昼間補導 16:00～18:00 夜間補導 19:30～21:30							
平成26年度実績							
「愛の一声」年間対象者人数：1,761人 (内訳) 小学生 367人(男：228人 女：139人) 中学生 369人(男：188人 女：181人) 高校生 972人(男：585人 女：387人) その他 53人(男：42人 女：11人)							決算額
							0千円
							実績値
							—
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
少年補導委員はあらゆる機会を通して、自らの補導委員としての資質を高め、日々の活動の中で青少年に「愛の一声」をかけられるよう研鑽を心がけることが大切である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
ボランティア精神による各地区での「愛の一声」運動を推進し、前年度同様に積極的な声かけを実施する。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶						
施策の方向及び具体的施策	1 あらゆる暴力の防止			(1) あらゆる人に対する暴力の防止			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
市民啓発推進事業	人権啓発課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
市民を対象に、人権啓発パネル展を開催し、すべての人の人権が保障され、乳幼児から高齢者に至るまであらゆる人に対する暴力を容認しない社会環境をつくる啓発を推進する。							
平成26年度実績							
事業名:人権啓発パネル展 会 場:南予文化会館 ロビー 平成26年7月12日(日) 参加者:800名							決算額
							5千円
							実績値
							100%
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
人権啓発パネル展の実施により、ジェンダーフリーやセクシャルハラスメントなど「女性の権利」を広く市民に啓発した。インパクトのある様々なポスター工夫を凝らしており、参加者にあらためて女性の権利について考えるきっかけとなった。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
事業名:人権啓発パネル展 会 場:南予文化会館 ロビー 平成27年8月8日(日) 参加者:800名							予算額
							5千円
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶						
施策の方向及び具体的施策	1 あらゆる暴力の防止			(2) 配偶者等からの暴力の防止			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
DVIに関する情報を広報に掲載	福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
講座の開催やパンフレットの作成配布など、配偶者等からの暴力についての認識を深め、配偶者等からの暴力防止に向けた啓発に努める。							
平成26年度実績							
県から送付のパンフを配布した。							決算額
							0千円
							実績値
							1回
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
昨年と同様に実施。							予算額
							0千円
							目標値
							1回

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶	
施策の方向及び具体的施策	1 あらゆる暴力の防止	(3) ストーカー行為防止対策

他の具体的施策等にて同一関連事業あり(この調書以外は重複するため省略)※別添概要参照

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
婦人相談員事業	福祉課			①充実		●	③新規
事業の概要							
広報誌による啓発や、警察広報への協力などにより、つきまとい・待ち伏せなどのストーカー行為とそれに対する自己防衛策の周知に努めるとともに、相談体制の充実を図る。							
平成26年度実績							
2名の相談員を配置し婦人相談事業として、相談業務を実施している。							決算額
							0千円
							実績値
							-
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
警察などの関係機関との連携は取れている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
前年度と同様							予算額
							1千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶						
施策の方向及び具体的施策	2 相談体制の充実と被害者保護の推進			(2) 被害者保護の推進			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
DV被害者の申請による住民票等交付制限の取扱い等の徹底	市民課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
市が発注する工事や購入する物品等において、契約相手となる企業等の男女共同参画推進への取組状況(男女雇用機会均等法やパートタイム労働法などの遵守やポジティブ・アクション(積極的改善措置)、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進など)の評価について、その可能性を検討します。							
平成26年度実績							
平成26年度申出数は、27件。							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
特に問題なく運営された。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成27年度予定							
同じ内容で、継続して実施する。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	1 あらゆる暴力の根絶						
施策の方向及び具体的施策	2 相談体制の充実と被害者保護の推進			(2) 被害者保護の推進			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
相談体制の充実(週5日常勤の婦人相談員の配置)	福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
配偶者等からの暴力等の相談体制の充実を図るとともに、関係機関とのネットワークを確立し、被害者保護と自立を支援する取組を強化する。							
平成26年度実績							
2名の相談員(常勤:1名、非常勤:1名)を配置し、相談活動を行った。 緊急性や被害状況等を勘案しながら、警察や愛媛県婦人相談所と連携し対処を行った。							決算額
							0千円
							実績値
							1回
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
警察、愛媛県婦人相談所他関係機関との連携体制が確保できている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
昨年と同様							予算額
							0千円
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(1) 健康教育・健康相談		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
健康相談事業	保険健康課			①充実 ●	②継続
事業の概要					
健康増進法に基づく健康増進事業による健康相談を実施する。 事業の対象年齢は、40歳から65歳未満とされているが、宇和島市健康づくり推進計画を基本として、成人期の健康づくりに役立てることとしている。事業の主な内容は、血圧測定・体重・体脂肪率の測定を始め、尿検査、保健師・栄養士による健康及び栄養に関するアドバイスを通して市民の健康づくりに寄与する。					
平成26年度実績					
1)まちの健康相談室 実施内容:健康に関する相談、健診結果の説明、血圧・体重測定・体脂肪測定(偶数月のみ)・尿検査(必要時) 実施回数:年間48回(市役所、三間保健福祉センター、津島保健センター、吉田支所において毎月実施) 参加者数:年間延べ 154人 2)その他の健康相談 実施内容:歯周疾患健康相談、病態別健康相談、市民健康相談等 実施回数:年間延べ 172回 参加者数:延べ 1,481人 総計:220回 延べ 1,635人					決算額
					195千円
					実績値
					220回
					進捗状況
4					
事業に対する評価・課題等					
・平成25年度から引き続き、重症化ハイリスク者に対して、健診結果説明会(病態別健康相談)の利用勧奨を実施することにより、健診受診後の治療放置予防に役立っている。 ・定例相談日來所者は、固定化・高齢化しているが、健診結果のフォローの場や心の相談(健康不安)の場として定着している。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成27年度予定					
①生活習慣病重症化ハイリスク者への電話等による利用勧奨を継続する。 ②市民が集まる機会等へ出向き健康相談を実施する機会を増やす。(出前健康相談等)					予算額
					256千円
					目標値
増加					

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(1) 健康教育・健康相談		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
健康教育事業	保険健康課			①充実 ●	②継続
事業の概要					
<p>健康増進法に基づく健康増進事業による健康教育を実施する。 事業の対象年齢は、40歳から65歳未満とされているが、宇和島市健康づくり推進計画を基本として、成人期の健康づくりに役立てることとしている。事業の主な内容は、生活習慣病予防をはじめ市民の健康づくりを目的とした運動、栄養等に関する知識の普及と実践への支援を行う。</p>					
平成26年度実績					
1)教育内容(種別)					決算額
・病態別(生活習慣病やがん予防)、歯周疾患、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、ロコモティブシンドローム予防及び一般健康教育等					639千円
2)ヘルスアップ実践講座・・・体験型健康教育を通じて、楽しみながら生活習慣行動の改善に取り組む					実績値
①運動編(基礎編)年間10回 参加者数 延べ 115人 ②栄養編(試食型及び実習型)年間11回 参加者数 延べ122人					249回
3)その他の健康教育及び啓発活動					進捗状況
①「健康づくり出前講座」の実施・・・公民館、保育園・幼稚園、学校等との連携による健康教育の実施 ②広報うわじま「健康づくり通信」掲載・・・毎月 ③「健康づくりパネル展」の実施・・・年間25回					4
健康教育 総計:249回 延べ6,294人					
事業に対する評価・課題等					
<ul style="list-style-type: none"> ・各種団体や地区組織からの依頼による健康教育は、依頼元のニーズと市の健康課題を組み合わせ、プログラムや内容を検討し実施した。 ・ヘルスアップ実践講座では、本来参加して欲しい若い世代の参加が少ない。また、運動編では効果判定のためにも継続参加が必要である。 ・講座参加をきっかけとして、継続した社会資源活用をすすめていく必要がある。 					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成27年度予定					
①集団健診の場を利用した野菜摂取啓発(フードモデル使用)や婦人がん予防、COPD予防教育等を実施していく。(継続)					予算額
②生涯学習課主催の「生涯学習課職員会議」に出席し、各公民館へ「健康づくり出前講座」のちらし・ポスターの掲示依頼、「パネル展」に関する周知を行う。					757千円
③講座参加者の実践状況の評価を行う。					目標値
④市民が活用しやすい社会資源に関する情報提供を行う。					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり							
推進方策	2 生涯を通じた健康支援							
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援				(1) 健康教育・健康相談			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向				
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	③新規	●	
高齢者サロンへの医療出前講座	病院局 (吉田病院)	3回	18回					
事業の概要								
高齢者の健康支援のため、医師・看護師・栄養士・理学(作業)療法士・薬剤師等が地域の高齢者サロンに出向き、医療(健康)講座・相談を行う。 (24年度より実施中)								
平成26年度実績								
							決算額	
							-	
・高齢者サロン 2会場(約40名) 内容:理学療法士・作業療法士による講義・実技							実績値	
							2回	
							進捗状況	
							2	
事業に対する評価・課題等								
評価:内容については好評で、個別の相談も行った。 課題:PR不足(H26年度も継続して実施していることを知らない)のため、回数が少なかった。								
男女共同参画の視点での評価								
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3	
平成27年度予定								
							予算額	
・高齢者サロン世話人会での講座内容等説明を行う。 ・内容を介護予防を中心としたものとする。 ・土日祝日についても可能な範囲で実施する。							-	
							目標値	
							10回	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(1) 健康教育・健康相談			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
医療懇談会の実施(地域住民の健康増進)	病院局 (津島病院)	42回	50回				
事業の概要							
地域住民の健康増進を図るため、自治会単位での医療懇談会の実施。							
平成26年度実績							
津島地区の各自治会の集会所等において、病院長及びスタッフが住民と医療について懇談を行った。 実施回数7回、出席者数121人。							決算額
							—
							実績値
							7回
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
8年前の現院長就任後から実施しているが、以前より回数が減少している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
各自治会で継続して開催していく。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
特定保健指導の推進	保険健康課	37%	60%	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>内臓脂肪症候群に着目した特定健康診査の結果に基づく階層化により、生活習慣改善の必要度に応じた「積極的支援」「動機づけ支援」「情報提供」の分類を行い、それぞれに即応した特定保健指導を行う。 特定保健指導は、市民自らが生活習慣改善の目標を設定し、実践するものであり健康に関する自己管理ができ、結果として内臓脂肪症候群の改善を目的として実施する。</p>							
平成26年度実績							
特定保健指導 積極的支援 対象者 165名 初回面接実施者 60名 実施率 36.4% 動機づけ支援 対象者 330名 初回面接実施者 141名 実施率 42.7%							決算額
							915千円
特定保健指導受講者の改善状況 (積極的支援から動機づけ支援・情報提供、動機づけ支援から情報提供になったもの) 平成25年度特定保健指導受講者 積極的支援 改善率34.5%(昨年比 -4.4%) 動機づけ支援 改善率25.1%(昨年比 -5.9%)							実績値
							41%
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<p>初回面接実施率は40.6%となり、昨年度の37%から上昇した。 平成26年度からの特定健診自己負担無料化の相乗効果により、新規受講者の割合が増えたことも上昇要因の1つだと考えられる。 過去に特定保健指導を受けたことがある者の受講率(リピーター率)は年々減少傾向であり、受講拒否理由は「忙しい」に次いで「自分流である」が多い。 改善率も昨年度と比較し減少しており、受講したことで効果が得られるような保健指導を実施していく必要がある。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
①特定保健指導対象者のうち、重症ハイリスク者に対しては受講の有無にかかわらず「生活習慣病等連絡票」を郵送し、受診・治療率を向上させ、重症化予防に努める。							予算額
②初回受講者と継続受講者に対する指導教材を分け、継続受講率向上に努める。							943千円
③継続受講者については「からだノート」を活用し、疾病の理解をより深め、主体的に生活改善に取り組めるよう支援する。							目標値
④魅力ある保健指導実施のため、支援スタッフのスキルアップを行う。							55%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
糖尿病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
入院患者や外来患者を対象として、医師により糖尿病の基礎知識や治療法に関する講義を行うほか、発病または進行を予防するための食事栄養・運動等の療法について栄養士、リハビリ技師等が指導するなど、実践に繋がる学習機会の提供を行う。							
平成26年度実績							
実施回数33回(夜間糖尿病教室3回を含む) 延べ参加者数818人(入院155人 外来663人)							決算額
							—
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な開催が継続できている。市広報や病院ホームページ、院内ポスター掲示、開催当日の院内放送などで、患者、市民に広く浸透し、糖尿病予防の啓発が図れた。 ・平成25年度の予定通り、これまでの内科のみならず皮膚科、歯科口腔外科、眼科などの医師や、栄養士、理学療法士、薬剤師、臨床検査技師、看護師のコアスタッフに加え歯科衛生士、総務管理課、地域連携室職員による講話を実施し、多角的に糖尿病の理解を深めることができた。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
昼間糖尿病教室年間30回、夜間糖尿病教室3回開催 平成26年度同様、医師・コメディカル・事務部門の全病院スタッフが講師となる予定。患者会(パール会)活動を通して世界糖尿病デーのイベントも平成26年度同様実施予定。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
心臓病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
入院患者や外来患者を対象として、特に3大疾病の1つである心筋梗塞を引き起こす可能性のある心臓病に焦点をあて、生活習慣を改善することで予防に繋げるため、医師による病気の基礎知識及び治療法に関する講義、栄養士による栄養食事指導など実践に繋がる学習機会の提供を行う。							
平成26年度実績							
実施回数12回 のべ参加者数199人(入院患者5人、外来患者194人)							決算額
							—
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
定期的を開催しており、事前に広報うわじまでの周知や当日は随時院内放送を実施していることから、患者・市民に広く浸透し、心臓病予防に対する意識啓発が図れた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
今後も定期的実施する。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
肝臓病教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続	③新規 ●
事業の概要							
入院患者や外来患者を対象として、医師による肝臓病についての正しい知識や治療法に関する講義を行うほか、栄養士による栄養食事指導を行い、実践につながる学習機会の提供を行う。							
平成26年度実績							
実施回数4回 のべ参加者数33人(入院患者4人、外来患者29人)							決算額
							—
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
参加人数は他の教室に比べると少ないが、広報や院内掲示ポスターにより実施しており、本当に必要な患者の知識、普及は実施できていると考える。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
内科医師と栄養士により、平成26年度同様年間4回の実施予定。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(2) 生活習慣病予防教室			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
生活習慣病予防のためのお料理教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続	③新規 ●
事業の概要							
生活習慣病予防のために、食事内容の改善につながることを目的に、栄養士が減塩や野菜たっぷりのレシピを作成し、調理師とともに実習を行い、実践につながる調理自習の機会を提供する。							
平成26年度実績							
実施回数10回 のべ参加者数52人(すべて外来患者)							決算額
							—
							実績値
							左記のとおり
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
毎回テーマに沿った献立を立案し、講義と調理実習を通して生活習慣病予防のため、日常的な実践に繋がる情報を提供した。また、男性の参加者も増え、昨年よりも、男女双方に事業効果があったと考えられる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
月1回実施予定(ただし8月、1月は休み)							予算額
							—
							目標値
							月一回実施

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(3) 壮年期からの健康づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
心の健康相談事業	保険健康課						
事業の概要							
<p>心の健康に関する相談事業をいう。 当該事業は、個別の相談に対して、相談窓口の周知による情報提供及び必要な助言を行うことにより、個々のもつ悩みを軽減することを目的として実施する。近年は、うつ病に関する相談をはじめ精神障害に関する相談や社会復帰のための相談が多くなっている。 事業の従事者としては、精神科医師、臨床心理士、保健師等で対応する。</p>							
平成26年度実績							
①実施場所	宇和島市役所						決算額
②日程	毎月第2水曜日：年12回 予約制						-
③スタッフ	精神科医師相談(精神科スタッフ)：年6回 保健師相談：年12回						実績値
④利用状況	実人数 11人 (うつ病1人 妄想：2人 統合失調症：1人 対人関係：1人 パニック障害1人 (相談内容内訳) ひきこもり：2人 介護疲れ：1人 発達障害：1人)						12回
⑥来所者内訳	10代：1人 20代：0人 30代：3人 40代：2人 50代：2人 60代：2人 70代：1人						進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
<p>・来所や電話以外にも広報や健診会場、健診結果説明会で配布したちらしを診て相談を予約する者があった。 ・保健師相談の利用者は、医師相談につなぐケースが多かった。利用者は年齢が10～70歳代と幅広く、新規の相談ケースが9割を超えている。精神疾患に関する相談では、既に治療に結びついているケースからの相談もあり、本人以外の家族支援としても効果があった。相談後、介護保険を申請し、サービス導入開始となったケースもあり、医療や福祉だけでなく、介護も視野に入れた支援が今後必要である。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成27年度予定							
1)関係機関と連携し、継続した支援をおこなう。 2)継続した相談窓口の周知						予算額	
①周知用ちらしの配布						-	
②保健事業を通じて、相談窓口の周知を図る。						目標値	
						-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援	(4) 男性に対する健康づくり支援

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
心の健康づくり教育事業	保険健康課			●			

事業の概要

精神保健に関する知識の普及を図ることを目的として、健康教育を実施する。
事業の内容は、全市民を対象とした講演会をはじめ、公民館、各種団体等に出向き保健師による健康教育を実施する。

平成26年度実績

①心の健康づくり講演会 日時：平成26年11月2日(日) 場所：市役所2階大会議室(大ホール) テーマ：「生きててくれてありがとう」～自分をゆるし、自尊感情を育むために～ 講師：北村 年子 参加者：187人							決算額	
							1,741千円	
	②心の健康づくり健康教育 年間計画に基づき、各地区で健康教育を実施	地区	開催回数	延人数	年齢別内訳			内容
					～39歳	40～64歳	65歳以上	
		対象者						
内容								
本庁	13	198	11	27	112	一般市民・ほっぺの会・男性料理教室来所者 食生活改善推進委員	このころの健康づくり ゲートキーパーになりませんか 傾聴と対応 このころの相談窓口 みつめなおそうママのころ うつ予防(DVD視聴)	
吉田	0	67	0	22	45	一般市民	このころの健康づくり ゲートキーパーについて(DVD視聴)	
三間	8	157	14	33	157	一般市民	ゲートキーパーについて	
津島	13	136	4	45	87	連合婦人会・男性料理教室参加者・一般市民	あなたもゲートキーパーになりませんか このころの健康づくり	
計	34	558	29	127	401			
							実績値	
							745人	
							進捗状況	
							5	

事業に対する評価・課題等

①心の健康づくり講演会
 ・講演会の内容が理解できた人 91.2%、内容が日々の生活に役立つと思った人は85.7%だった。
 ・講師の経験に基づいた具体的で説得力のある話であり、講師の「自尊感情を育てよう」「命を大切に」のメッセージが十分伝わった講演会だった。
 ②心の健康づくり健康教育
 ・多くの人にライフステージごとのストレス要因や起こりやすい心のトラブルと予防対策、ゲートキーパーの考え方について健康教育が実施できた。
 ・相談窓口をホームページで配布することで、窓口周知をすることができた。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成27年度予定

1)心の健康づくりの普及啓発 ①講演会の継続開催 2)地域に出向いた教育により知識の普及啓発 ②年間計画に基づいた健康教育の実施……(内容)心の健康づくり、うつ予防、ゲートキーパーの必要性について等 相談窓口の周知も含む	予算額
	719千円
	目標値
	600人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(5) 喫煙・飲酒に対する対策			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
健全育成推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	92%	100%			●	
事業の概要							
喫煙、飲酒の健康被害について情報を提供する。 「心身ともに健康な子」の育成。							
平成26年度実績							
薬物乱用防止教室を実施して、健康について学習する機会を持った。 学校医による健康管理に関する講演会を実施した。 校舎敷地内喫煙禁止の徹底を図った。							決算額
							実績値
							92%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
児童は、喫煙・飲酒・薬物使用の健康被害についての知識を深めた。 学校敷地内喫煙禁止の徹底により、健全育成に対する家庭や地域への啓発が行えた。 飲酒・喫煙・シンナーの吸引が成長を妨げる理解が深まった。 公共の場でのマナーについての理解が深まった。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
敷地内禁煙の表示を作成し、外来者の禁煙を促していく。 学校だより、学級通信、ほけんだより、ホームページ等で、家庭や地域へ、喫煙、飲酒等の健康被害についての情報を提供する。 食育に関する研修(学級保健委員会)、小児生活習慣病予防教育の実施、禁煙教育の実施。 公共の場でのマナーについての学習の展開。 薬物乱用防止教室を実施し、学級指導の充実を図りながら、指導効果を高める。 保護者へ、受動喫煙防止について呼びかけを行う。 喫煙、飲酒の健康被害について「保健」「特別活動」に位置づけ授業で指導する。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(5) 喫煙・飲酒に対する対策			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
受動喫煙防止対策事業(公民館施設内禁煙)	生涯学習課						
事業の概要							
不特定多数の住民が利用する公民館において受動喫煙防止策を推進するために、平成24年度までに全館施設内禁煙を実施し達成する事ができた。							
平成26年度実績							
平成24年度で全館施設内禁煙を達成することができた。							決算額
							0千円
							実績値
							30館
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
市が管理している公民館は、市の方針として実施できているが、地元管理の集会所を兼ねた公民館については、建物全体の禁煙は困難。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							-
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							-
平成27年度予定							
市が管理している公民館は目標を達成できたが、地元管理の集会所を兼ねた公民館についても施設内禁煙を目指したい。							予算額
							0千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(5) 喫煙・飲酒に対する対策			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
禁煙外来の開設	病院局(宇和島・津島病院)			①充実		②継続	③新規 ●
事業の概要							
<p>禁煙はこれまで個人の意志や努力の問題とされてきましたが、平成16年より厚生労働省は医師による禁煙指導を「ニコチン依存症」という病気に対する「治療」と位置づけ、公的医療保険の給付対象としました。</p> <p>禁煙外来では、禁煙の実行・継続にむけてのアドバイスや治療薬の処方を行うことにより、禁煙をサポートすることを目的としています。</p> <p>○宇和島病院＝心臓血管外科外来にて。毎週金曜日午後1時30分～午後3時30分 ○津島病院＝内科外来にて。毎週火曜日午後2時～4時</p>							
平成26年度実績							
<宇和島病院> H26年度患者数 33名、禁煙治療終了者 16名、禁煙成功者 24名。 <津島病院> H26年度患者数 1名、禁煙治療終了者 1名、禁煙成功者 1名。						決算額	—
						実績値	
						左記のとおり	
						進捗状況	—
事業に対する評価・課題等							
今後も同様に継続してゆく。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成27年度予定							
						予算額	—
						目標値	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援	(6) 安心して子どもが産める環境づくり

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
妊婦健康診査(公費負担)	保険健康課	99.1%	100%	①充実	②継続	●	③新規

事業の概要

母子保健法の規定により、妊娠中の女性への健康保持増進を図るために、妊婦健康診査を実施し、その費用の全部または一部を助成することにより、妊婦の経済的な負担の軽減を図り、安心安全な妊娠・出産に資することを目的とするものである。

平成26年度実績

(対象)宇和島市に住民登録をしている妊婦 (内容) ・昨年度と同様に妊娠期を通して公費負担回数を14回として実施。 ・健診内容は、平成25年度と特に変更なし。	①5枚綴り分			②9枚綴り分			決算額																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>交付数</th> <th>受診数</th> <th>受診率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1回目</td><td>481</td><td>469</td><td>97.5%</td></tr> <tr><td>2回目</td><td>488</td><td>484</td><td>99.2%</td></tr> <tr><td>3回目</td><td>490</td><td>470</td><td>95.9%</td></tr> <tr><td>4回目</td><td>496</td><td>479</td><td>96.6%</td></tr> <tr><td>5回目</td><td>500</td><td>365</td><td>73.0%</td></tr> </tbody> </table>		交付数	受診数	受診率(%)	1回目	481	469	97.5%	2回目	488	484	99.2%	3回目	490	470	95.9%	4回目	496	479	96.6%	5回目	500	365	73.0%	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>交付数</th> <th>受診数</th> <th>受診率(%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1回目</td><td>485</td><td>488</td><td>100.6%</td></tr> <tr><td>2回目</td><td>490</td><td>487</td><td>99.4%</td></tr> <tr><td>3回目</td><td>495</td><td>480</td><td>97.0%</td></tr> <tr><td>4回目</td><td>497</td><td>469</td><td>94.4%</td></tr> <tr><td>5回目</td><td>500</td><td>443</td><td>88.6%</td></tr> <tr><td>6回目</td><td>501</td><td>398</td><td>79.4%</td></tr> <tr><td>7回目</td><td>502</td><td>343</td><td>68.3%</td></tr> <tr><td>8回目</td><td>501</td><td>237</td><td>47.3%</td></tr> <tr><td>9回目</td><td>502</td><td>126</td><td>25.1%</td></tr> </tbody> </table>		交付数	受診数	受診率(%)	1回目	485	488	100.6%	2回目	490	487	99.4%	3回目	495	480	97.0%	4回目	497	469	94.4%	5回目	500	443	88.6%	6回目	501	398	79.4%	7回目	502	343	68.3%	8回目	501	237	47.3%	9回目	502	126	25.1%
	交付数	受診数	受診率(%)																																																															
1回目	481	469	97.5%																																																															
2回目	488	484	99.2%																																																															
3回目	490	470	95.9%																																																															
4回目	496	479	96.6%																																																															
5回目	500	365	73.0%																																																															
	交付数	受診数	受診率(%)																																																															
1回目	485	488	100.6%																																																															
2回目	490	487	99.4%																																																															
3回目	495	480	97.0%																																																															
4回目	497	469	94.4%																																																															
5回目	500	443	88.6%																																																															
6回目	501	398	79.4%																																																															
7回目	502	343	68.3%																																																															
8回目	501	237	47.3%																																																															
9回目	502	126	25.1%																																																															
			実績値																																																															
			97.5%																																																															
			進捗状況																																																															
			5																																																															

事業に対する評価・課題等

・妊婦健診初回(5枚綴り1回目)の受診率は97.5%であり、今後も定期的な受診の勧奨を続けていくことは必要である。
 ・妊婦健診の結果から、高血糖妊婦の割合が県下で高い状況であるため、高血糖妊婦に対しては妊娠中より栄養指導等を行っている。食事の影響で第1回目の健診結果で高血糖になる可能性もあるため、母子健康手帳交付時に健診受診方法について周知を行っている。
 ・今後も母子健康手帳交付時に、妊婦健診受診の必要性や利用方法について説明し、妊娠期の健康管理を支援していく必要がある。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	—

平成27年度予定

・平成27年4月1日受診分から、検査項目・実施時期(週数)が変更となる。 ・平成26年度と同様に14回分の受診票を交付し、適切な時期に健診を受けるよう勧奨し妊娠中の健康管理に役立てる。	予算額
	4,200千円
	目標値
	100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(6) 安心して子どもが産める環境づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
妊産婦相談	保険健康課			①充実 ●	②継続		③新規
事業の概要							
<p>妊娠・出産及び産褥期における異常の予防及び健康増進に関し必要に応じて支援し、妊娠・出産・育児に対する不安を軽減する。また妊婦同士の交流の場とする。</p>							
平成26年度実績							
(対象)宇和島に住民登録をしている妊産婦 (従事者)保健師・管理栄養士 (内容)個々の妊産婦に応じた相談 (場所・回数) ・母子健康手帳交付時における妊婦相談: 481人 ・定例妊産婦相談(育児相談と同時開催): 宇和島保健センター、吉田公民館、三間保健福祉センター、津島保健センター計48回 【妊婦】相談者(実) 8人、相談者数(延) 17人 【産婦】相談者(実) 27人、相談者数(延) 50人 ・随時妊産婦相談: 集会所や公民館、電話等において随時実施 【妊婦】来所 15人、電話 41人 【産婦】来所等 8人、電話 16人							決算額
							0千円
							実績値
							48回
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・定例日の妊産婦相談は、乳幼児の育児相談を兼ねて来所する人が多い。 ・妊婦の相談は少なく、妊婦健診受診の際病院等で不安を解消している可能性もある。 ・母子健康手帳交付時には、妊娠中保健師や栄養士が相談に応じれることを説明し、出産に対する不安軽減に努めている。 ・母子健康手帳交付時に、アンケートや面接によりハイリスク妊婦の把握を行い、児童虐待予防の視点からも妊娠中から継続した支援を行っている。 							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							—
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							—
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							—
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							—
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
・今後も、母子健康手帳交付時にアンケートや面接によりハイリスク妊婦を把握し、児童虐待予防の視点からも妊娠中から継続した支援を行う。 ・母子健康手帳交付時に、相談先を載せたカードを配布し、気軽に相談ができるようにする。また継続して妊産婦相談の周知も行う。							予算額
							0千円
							目標値
							48回

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり																						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援																						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援		(6) 安心して子どもが産める環境づくり																				
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向																			
		現状値(H25)	目標値(H29)																				
母子健康手帳の交付事業	保険健康課			①充実	②継続 ● ③新規																		
事業の概要																							
妊娠・出産・育児に関する一貫した記録と情報を提供し、安全で安心できる出産及び育児に役立てる。																							
平成26年度実績																							
(対象)宇和島市に住居登録をしており、妊娠届出書(妊娠証明書)を提出した妊婦 (場所)本庁及び支所窓口にて交付 (内容)母子健康手帳・妊婦一般健康診査受診票・妊婦歯科健康診査受診票交付、 保健指導、ハイリスク妊婦の把握、妊婦アンケートの実施、母子保健事業の紹介、 母性健康管理指導事項連絡カードの説明、出産後の諸手続きの説明 (従事者)保健師					決算額																		
<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: top;"> <thead> <tr> <th></th> <th>妊娠届出数</th> <th>初産婦数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宇和島地区</td> <td>418</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td>吉田地区</td> <td>25</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>三間地区</td> <td>14</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>津島地区</td> <td>24</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>481</td> <td>196</td> </tr> </tbody> </table>						妊娠届出数	初産婦数	宇和島地区	418	183	吉田地区	25	6	三間地区	14	2	津島地区	24	5	計	481	196	87千円
	妊娠届出数	初産婦数																					
宇和島地区	418	183																					
吉田地区	25	6																					
三間地区	14	2																					
津島地区	24	5																					
計	481	196																					
					実績値																		
					481人																		
					進捗状況																		
					5																		
事業に対する評価・課題等																							
<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健のスタートである母子健康手帳交付時に保健師が関わり、虐待予防の視点を持ちアンケートや面接によりハイリスク妊婦の把握を行い必要な支援へとつないでいる。 ・母子健康手帳交付時、夫婦での来庁も多く、妊娠・出産についての不安を夫婦で共有し、相談を行うことができている。 ・妊婦アンケートから、妊婦の同居家族の喫煙率は昨年度より減少しているが、妊婦の喫煙率は増加しているため、今後も母子手帳交付時に喫煙による胎児や母体への影響を説明し禁煙支援を必要がある。 																							
男女共同参画の視点での評価																							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					—																		
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					—																		
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					—																		
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					—																		
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					—																		
平成27年度予定																							
<ul style="list-style-type: none"> ・母子保健のスタートである母子健康手帳交付時に保健師が関わり、ハイリスク妊婦の把握とともに、妊娠中から産後の関わりへと切れ目のない支援をおこなう。 ・喫煙習慣のある妊婦及び同居家族に対しては、母子健康手帳交付時に喫煙(受動喫煙含む)による胎児や母体への影響についての情報提供を行い禁煙を勧める。 					予算額																		
					85千円																		
					目標値																		
					—																		

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(6) 安心して子どもが産める環境づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
安産教室	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
妊婦の健康管理の必要性についての啓発や妊娠・出産に関する不安等に対応できる相談を行うもの。							
平成26年度実績							
毎月、第1、第3、第4水曜日に実施(第1水曜日は栄養指導も実施)。 ・栄養指導分: 医師、助産師による指導、相談に加え、栄養士による栄養士指導等を実施 ・一般分: 医師、助産師による指導、相談。 実施回数22回 のべ223名参加							決算額
							—
							実績値
							左記
							進捗状況
							5
事業に対する評価・課題等							
該当者には、検診時に案内していることから、多数参加してもらっている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
これまで同様に実施継続する。							予算額
							—
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	1 市民の健康づくり支援			(6) 安心して子どもが産める環境づくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
育児学級	病院局 (宇和島病院)			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
産後の健康管理の必要性についての啓発や育児に関する不安等に対応できる相談を行うもの。退院時だけでなく、外来に来られた妊婦を対象として、参加を呼びかけている。							
平成26年度実績							
参加者なし。							決算額
							—
							実績値
							0%
							進捗状況
							1
事業に対する評価・課題等							
助産師が不足しているため、事実上、休止している状態。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成27年度予定							
以前より実施している退院1週間後の電話訪問で不安等の軽減にも努めていきたい。							予算額
							—
							目標値
—							

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実	(1) HIV／エイズや相談の充実

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
HIV／エイズ・性感染症に関する正しい知識の普及・啓発	保険健康課			①充実	②継続	●	③新規

事業の概要

全国における平成23年のHIV感染者及びエイズ患者の新規報告数(確定値)は1,529件であり、平成19年以降患者数の多い状態のまま推移している。平成23年の新規HIV感染者は1,056件で過去4位の報告数となり、また新規エイズ患者報告数は473件で過去最多の報告数となっている。そのため、早期発見のために、検査機会を提供する必要があり、愛媛県においては、保健所が検査・相談体制の構築を進めている。市においても、保健所が実施するHIV検査及び相談事業等について、ポスター、チラシ、広報等の手段により、市民へ広く周知するほか、健康教育において感染症の正しい知識の普及・啓発を図っている。

平成26年度実績

愛媛県内の保健所が実施する定期相談に加え、「愛媛HIV検査普及週間(6月1日～7日)」に実施される定期外(休日・夜間等)の相談・検査について、ポスターの貼付等により、広く市民に周知した。また、世界エイズデーに呼応して定められた「エイズ予防週間(12月1日～7日)」に実施される相談・検査についても、ポスターの掲示や市広報誌への掲載等により、広く市民に周知した。 また、思春期に関する講座「ひとり暮らしサポート講座(高校3年生)」(講座型5回生徒455人、実習型1回12人)「思春期保健健康講座(高校1.2年生)」(7回生徒411人)において、HIV／エイズ、性感染症に対する情報提供を行った。 あわせて、市が作成した「ひとり暮らしサポートブック」にも啓発ページを掲載し、市内6校等871人の高校3年生に配布した。	決算額
	実績値
	進捗状況

事業に対する評価・課題等

愛媛県では、平成23年は11件、平成24年は10件と2年続けて報告数が多い状態が続いていたが、平成25年は5件、平成26年は6件と例年なみの報告数だった。平成27年は2月18日現在で1件の報告がある。今後も、正しい知識の普及等、啓発活動を推進するとともに、感染への不安がある場合の早期受診に加え、エイズへの誤解・偏見のない環境を作る必要がある。市においては、愛媛県内の保健所が実施する相談・検査事業の周知及び、正しい知識の啓発活動について引き続き協力体制を継続するとともに、高校生の若い世代を対象に積極的な普及・啓発活動を推進していく。

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	

平成27年度予定

・保健所実施の相談事業などの周知に対する協力。 ・ひとり暮らしサポート講座における高校3年生に対する健康教育、及び他の学年の高校生、中学生など各校の依頼により学校に出向いて健康教育を実施。	予算額
	目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実			(1) HIV/エイズや相談の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
健康衛生推進事業・人権啓発推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	89%	100%	①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
HIV/エイズや性感染症に関する正しい知識を普及する。性に関する指導の充実。「心身ともに健康な子」の育成。学校での児童が、発達段階に応じた知識を身につけ、適切な行動が取れるようにするための教育の推進。							
平成26年度実績							
年間指導計画に従って、発達段階に応じた性教育を実施した。 保健体育と特別活動において、発達段階に応じた指導を行った。 保健体育において、生徒の発達段階に応じたエイズに関する学習を行った。また、人権教育の視点にたち、「一人ひとりを尊重し、あらゆる偏見や差別を許さない」生徒の育成を図った。							決算額
							実績値
							89%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
専門の知識をもった養護教諭の指導により、正しい知識を得ることができた。 保護者への啓発や連携が課題である。 同学年の児童でも発達に差があり、個に応じた指導が難しい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
人権・同和教育の視点から、HIV/エイズ患者への偏見をなくす学習を行う。 保健主事が中心となり、年間指導計画を見直し、性に関する指導の充実を図る。 学校だより、学級通信、ほけんだより、ホームページ等を通じて、保護者への啓発を行う。 発達段階に応じた知識を身に付け、適切な行動をとることができるように性に関する指導の充実を図る。 エイズやハンセン病に関する人権学習の実施(6年体育科保健領域)。 保健体育及び学級指導の充実を図るために、年間指導計画に示し、計画的に実施する。 性に対する正しい知識や認識を持ち、自他の性や命を大切にすることを性教育を通して養う。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	2 教育・相談の充実			(2) 発達段階に応じた生命と人権を大切に する性教育の推進			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
生きる力を育む教育推進事業(事業を実施している小中学校割合)	学校教育課	89%	100%	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
生命尊重・人格尊重・男女平等の精神に基づき自分自身を大切に、相手の心身の健康についても思いやりを持つことができるよう、指導を推進する。 心身ともに健康な子の育成。							
平成26年度実績							
道徳・学級活動を中心に、相手を思いやる心情の大切さについて指導した。 道徳、特別活動において生命尊重と性教育の学習を行い、参観日に授業公開した。 人権同和教育参観日の後、人権・同和教育主任が、生徒や保護者に対して、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」ことが大切であるという内容の講演を行った。 生命誕生のしくみを知り、一人一人かけがえのない存在であることを理解させるよう努めた。							決算額
							実績値
							90%
							進捗状況
事業に対する評価・課題等							
生命尊重と人権尊重、男女平等について生徒の意識が向上した。 生徒の発達に差があり、個に応じた指導を展開することが難しいことが分かった。 学習したことを、学校・家庭・社会生活で実践していく力をさらに高めていきたい。 基本的な生活習慣の定着・向上について、改善されてきた生徒もいるが、指導が入りにくい生徒もいる。 性教育講演会による、現状の理解と今後の取組の充実を図る。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
道徳の全体計画及び年間指導計画を見直し、各教科等と関連した指導を行う。 心の教育の重要性を確認し、教科、道徳、特別活動において実践する。あらゆる活動を通して、命の大切さ、思いやりの心を育てる。 学級活動や学校行事の見直しを通して、男女が協力して活動する場を多く設定する。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり																			
推進方策	2 生涯を通じた健康支援																			
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(1) 健康診査																
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向																
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続 ● ③新規															
基本健康診査の推進(H19年度老人保健法→H20年度特定健診の受診率)	保険健康課	22%	60%	①充実	②継続 ● ③新規															
事業の概要																				
<p>宇和島市国民健康保険被保険者の内、40歳から64歳の者を対象として実施する健康診査をいう。 糖尿病等の生活習慣病が起因とされている内臓脂肪症候群の該当者を早期に発見し、特定保健指導につなげることを目的として健康診査を行う。市民の健診に関する関心度や仕事が忙しいなどの理由による健診離れが進んでおり、健診の重要性を周知徹底する必要があると感じている。 健康の基本は、健診からであることを周知徹底することにより受診率アップに努める。</p>																				
平成26年度実績																				
・特定健診・後期高齢者健診：個別(6月～2月)・集団(6月～1月 61回)で実施					決算額															
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>対象者</th> <th>受診者</th> <th>受診率</th> <th>昨年度受診率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診</td> <td>21123</td> <td>5524</td> <td>26.20%</td> <td>22.20%</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者健診</td> <td>15057</td> <td>624</td> <td>4.10%</td> <td>4.20%</td> </tr> </tbody> </table>						対象者	受診者	受診率	昨年度受診率	特定健診	21123	5524	26.20%	22.20%	後期高齢者健診	15057	624	4.10%	4.20%	44,863千円
	対象者	受診者	受診率	昨年度受診率																
特定健診	21123	5524	26.20%	22.20%																
後期高齢者健診	15057	624	4.10%	4.20%																
<ul style="list-style-type: none"> ・受診率アップへの取組 ①40歳の健診未申込者への受診勧奨訪問 ②50歳・60歳(節目年齢)の健診未申込への受診勧奨通知(申込みはがき同封) ③不定期受診者等への電話による受診勧奨 ④新聞折り込みチラシやケーブルテレビの活用 ⑤事業所健診・人間ドックなどのデータ取得 					実績値															
					26.2%															
					進捗状況															
					4															
事業に対する評価・課題等																				
<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率は、毎年上昇傾向にあるが、国の目標の60%には程遠い状況である。 ・不定期受診者への受診勧奨では、勧奨者の6割強から申込みがあり、継続受診への動機付けとなった。 ・働き盛り年代の受診率が特に低いため、今後は個別勧奨だけでなく、市民同士の受診勧奨等の地域ぐるみの取り組みが必要である。 																				
男女共同参画の視点での評価																				
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4															
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4															
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5															
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5															
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5															
平成27年度予定																				
1) 受診しやすい健診体制の整備 ・特定健診の無料化及び周知の継続 ・市民が利用しやすい健診会場の設定(きさいや広場) ・年度末年齢40歳のがん検診の一部無料化の継続 2) 受診率アップの取り組み ・金融機関等との協定締結による受診勧奨の実施 ・国保新規加入時のアンケート実施(健診歴や健康意識の把握及び健診等の勧奨実施) ・40歳の健診未申込者への受診勧奨継続 ・健診登録制開始への準備 ・健診受診者への健康管理ファイルの配付(継続受診への動機付け) ・ケーブルテレビ等マスコミの活用 ・個別健診増加に向けた取り組みの継続(受診勧奨・医療機関への協力依頼) ・事業所健診結果取得・・・委託契約締結医療機関の追加					予算額															
					52,046千円															
					目標値															
					30%															

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備				(1) 健康診査		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
人間ドックの充実(施設設備・検査項目)	病院局 (宇和島病院)			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
1日ドックを月～金曜日の各日で1日あたり5名まで、2日ドックを火・水曜日、木・金曜日の2クールで1クールあたり8名まで、脳ドックを火曜日、木曜日、金曜日に1名ずつ受け入れ、実施している。検査メニューは充実しており、また同程度の内容で実施している県内の他施設に比べて安価な料金設定を行っていることにより、圏域の受診率向上にも寄与している。また、受診時には、集団による健康管理指導も実施している。							
平成26年度実績							
一般個人の受診のみならず、企業等の契約を積極的に受け入れている。 ドック受診者数 1日ドック:1052人 2日ドック:452人 脳ドック:122人 合計1626人						決算額	—
						実績値	—
						左記のとおり	—
						進捗状況	—
						事業に対する評価・課題等	—
2日ドックについては人数制限に対して比較的余裕があるが、1日ドックについては7～1月くらいまで企業等の予約でいっぱいになって余裕がない状態。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						—	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						—	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						—	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						—	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						—	
平成27年度予定							
						予算額	—
						目標値	—
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり	
推進方策	2 生涯を通じた健康支援	
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備	(2) がん検診の体制整備

関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
がん検診(胃がん・大腸がん・肺がん・前立腺がん・子宮がん・乳がん)	保険健康課	8.7~29.0%	50%	①充実	②継続	●	③新規

事業の概要

健康増進法に基づき各種がん検診を実施する。
 死亡原因の三大要因のうち、がん(悪性新生物)による死亡の減少は、全国と同様に本市においても急務であるとする。がんの早期発見・治療なくしてがん死亡を減少させることは困難であることから、市民が受診しやすい体制づくりに努めると同時に、検診項目及び検診の精度管理等の充実に努め受診率アップを図る。

【がん検診項目】

- ・40歳以上を対象:胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・前立腺がん検診・乳がん検診(乳房超音波検診:30歳以上女性)
- ・20歳以上を対象:子宮がん検診

平成26年度実績

・子宮がん、胃がん検診(胃透視・胃カメラ)は個別健診を実施							決算額
H26年度 がん健診実施状況							61,725千円
クーポン事業受診状況							実績値
	胃がん	肺がん	大腸がん	前立腺がん	子宮頸がん	乳がん(マンモ)	8.2~16.5%
受診者	2,825	4,575	4,861	1,758	3,413	3,268	進捗状況
受診率	8.2	13.3	14.1	14.0	14.6	15.6	4
回数	62	66	71	62	45	48	
	子宮頸がん		乳がん(マンモ)				
	受診者(人)		受診率(%)		受診者(人)		受診率(%)
H25年度	272		14.9%		790		29.0
H26年度	803		16.5		800		12.2

事業に対する評価・課題等

- | | |
|--|--|
| 1) 受診しやすい検診体制の整備
・年度末40歳の一部がん検診無料継続
・子育て中が受診しやすい検診体制(ボランティアの協力等)
・子宮頸がん・子宮体がんセット健診の試行的実施
・子宮頸がん、乳がん検診の無料クーポン券送付(対象年齢者のみ) | 2) 精密検査が必要な人への面接、電話等で受診勧奨
3) がんに関する正しい知識の普及のため機会ある毎に周知する。 |
|--|--|

男女共同参画の視点での評価

事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか	5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか	5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか	5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか	5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか	5

平成27年度予定

1) 受診しやすい検診体制の整備 ・女性が受診しやすいレディース検診日の設定 ・婦人検診時の託児の継続 ・子宮頸がん・体がん検診の実施 ・検診に関する周知方法の充実と継続 ・子宮頸がん・乳がん検診の無料クーポン券送付(対象年齢者のみ)	2) がん検診要精密者の不安軽減及び受診支援 ・精密検査受診率の低いがん検診の受診勧奨の強化 3) がんに関する正しい知識の普及 4) がんに関する相談体制の整備 ・個別支援と情報提供	予算額
		61,219千円
		目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備				(3) 地域医療の充実		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
国民健康保険直営診療所運営事業	保険健康課	9施設4医師	9施設5医師	①充実		●	③新規
事業の概要							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所(9診療所(2出張所を含む))を安定的に運営し、地域住民に対する医療を充実させ、男女がともに安心して暮らすことができる地域づくりに寄与する。</p> <p>平成23年度は医師(所長)5名体制であるが、平成24年3月末の遊子診療所長退任に伴い、以後は当面4名体制となる。引き続き各医師の兼任管理を適正化し、各診療所の診療体制を充実・継続させる。</p>							
平成26年度実績							
<p>24年4月から、9施設4医師での診療体制を維持しており、平成26年度は蔦淵診療所長が遊子・下波・蔦淵診療所を、戸島診療所長が嘉島診療所を、日振島診療所長が喜路・能登出張所を兼任管理している。</p> <p>26年度も診療所が所在する地域の人口は減少傾向にあり、受診患者数を同じ傾向にある。</p>							決算額
							実績値
							9施設4医師
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
<p>市立宇和島病院において、医師募集を行っており、診療所としても非常に厳しい現状にある。給与の増額等の変更は財政上厳しく、募集要件としては現状維持にある。今後も医師募集は継続して行く必要がある、フルタイムでの勤務体制を構築していくことも急務である。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(3) 地域医療の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
診療船うわじま維持管理事業	保険健康課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所で、診療船うわじまの維持管理(運航等)を行っている。この診療船を活用することにより、離島での医師の兼任管理、兼任管理中の緊急搬送等を行い、地域医療の充実を図るとともに、地域住民の生命の安全を確保している。</p>							
平成26年度実績							
<p>平成26年度は戸島診療所長が兼任管理する嘉島診療所への交通手段として、月曜日、水曜日及び金曜日の午前中、定期運航している。また、施設修繕及び医療機器の導入等、診療所の維持管理に必要な事項について、不定期に運航している。毎年度、年2回の定期ドックを実施し、診療船の維持管理を行っている。</p>							決算額
							実績値
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所は、民間医療機関の進出が望めない地域に所在しているが、これら地域は、民間交通機関の便数が少なく、診療所間の移動手段は、主に公用車や診療船をりようしている。特に離島においては、定期連絡船の運航数、運航時間、台風や災害時の運航停止等不測事態となる時があり、診療船の果たす役割は非常に大きくなっている。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							5
平成27年度予定							
<p>27年度も26年度同様、戸島・嘉島間の兼任管理に伴う診療船運航を実施する。また、年2回の定期ドックを実施する。今後医師の退職等により診療日程の変更、兼任管理の変更が必要となるが、適宜、実情に即した対応を行う。</p>							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	2 生涯を通じた健康支援				
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備		(3) 地域医療の充実		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
病院と診療所の連携強化	保険健康課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<p>宇和島市国民健康保険直営診療所と市立宇和島病院との連携を強化し、診療所及び病院の役割を明確にし、疾病の段階や状態により住民(患者)にとっての最適な地域医療を提供する。</p> <p>診療所は1次医療機関として、患者の診察治療に当たり、急性期等緊急性の高い患者を市立宇和島病院へ紹介する。また、市立宇和島病院は2次医療機関として急性期等を経過した患者の家庭・地域での生活のため、診療所へ紹介する。</p> <p>診療所及び病院が相互に連携することで、患者のQOLを高め、地域医療の充実を図る。</p>					
平成26年度実績					
<p>25年度に引き続き診療所による「開放型病院」オープンシステムにより、診療所からの紹介・入院した患者を診療所医師が市立宇和島病院で診察することができる。診療所から市立宇和島病院への患者紹介及び、市立宇和島病院から診療所への患者紹介を実施し、患者の疾病段階や状態による最適な医療を提供している。</p>					決算額
					0千円
					実績値
					進捗状況
3					
事業に対する評価・課題等					
離島であるため患者の輸送手段が限定され、診療所医師の不在や診療所での受け入れ時、医療機器の設備面での不足問題等が生じてきて病院から診療所での対応できないと思われる。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成27年度予定					
					予算額
					目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(3) 地域医療の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
病院と診療所の連携強化	病院局			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>入院を必要としない程度の方を対象に医療を提供している診療所(クリニック)や、生命に危険のある方を助ける3次救急医療や高度専門医療を提供する市立宇和島病院のような急性期病院が、自らの施設の機能や規模、特色、宇和島圏域の医療の状況に応じて、医療の機能分担や専門化を進め、円滑な連携を図るとともに、それぞれの医療機関の有する機能を有効かつ迅速に活用することにより、一層、受診者の方々がシームレスで適切な医療を受けることができるようにする。</p> <p>また、県下統一の地域医療連携システムを導入することによって、各種地域連携パスとともに上記地域医療連携を促進する。</p>							
平成26年度実績							
<p>地域連携室を中心に転院先の確保から在宅療養支援、看取りに至るまでありとあらゆる相談支援に対応し、シームレスな地域連携の強化及び患者・家族の不安解消にもつながっている。</p> <p>地域医療連携システムについては、今後の診療情報のIT化を見据え、新たな地域医療連携システム(きさいやネット)を構築し平成27年度から本格稼働している。また、脳卒中地域連携パスの運用実績は年間122件と大幅に実績を伸ばしている。</p>							決算額
							—
							実績値
							—
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
<p>○各専門職の特性を活かした相談支援機能の強化を図ることができた。</p> <p>○地域医療連携ネットワークシステム(きさいやネット)の運用体制を確立した。</p>							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	2 生涯を通じた健康支援						
施策の方向及び具体的施策	3 保健・医療体制の整備			(3) 地域医療の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
地域がん診療連携拠点病院としての機能充実	病院局			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
<p>全国どこでも適切ながん医療が受けられる体制の整備に向け、地域がん診療拠点病院として認定を受けている。以下の方針に基づき、圏域の医療機関とも連携を図りながら、手術、放射線療法、化学療法等による治療を行うとともに、患者または家族からの相談に対する情報提供や転院等の調整、早期発見を啓発するための広報活動を実施するなど、地域のがん医療水準の引き上げを目指す。</p> <p>○専門的ながん医療の提供を行う。 ○地域の医療機関の情報を把握し、連携の拠点として、地域におけるがん医療提供体制の構築に寄与する。 ○地域のがん医療を支える人材を育成する。</p>							
平成26年度実績							
<ul style="list-style-type: none"> ・年3回の市民公開講座、医師等を対象とした放射線・化学療法・緩和ケアなどの研修を実施した。 ・拠点病院として緩和ケア研修会を実施し、がん診療に従事する医師等の緩和ケアに関する基本的知識、技術の習得を図った。 ・がん患者とその家族を対象にがんサロン(さくらサロン)を開設し、療養上の悩みや不安、気持ちを分かち合うことで、大きな心の支えの場を設けた。 ・がん相談支援センター窓口として、患者または家族からの相談を受け付け、医師、看護師等との連携を図りながら、がん治療等に関する情報提供や心理面での支援などを行った。 <p>平成26年度 面談相談 980件、電話相談 570件</p>						決算額	
						18,493千円	
						実績値	
						左記のとおり	
						進捗状況	
						5	
事業に対する評価・課題等							
おおむね好評をいただいている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						5	
平成27年度予定							
これまで同様継続してゆく						予算額	
						—	
						目標値	
						—	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(1) 地域生活支援体制の整備			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
コミュニティバス運行事業	企画情報課	37,323人	43,000人				
事業の概要							
事業者路線バスの廃止代替路線として3路線、交通空白地域への対策として7路線を運行している。							
平成26年度実績							
利用者 36,190人							決算額
							28,486千円
							実績値
							左記参照
						進捗状況	
						2	
事業に対する評価・課題等							
各路線とも利用者数は減少傾向か横ばいという状況であることから、利用者数の増加と収支率の向上を図るための方策はもちろんのこと、利用者の方々に、今後も継続して利用していただけるような取り組みが必要である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						-	
平成27年度予定							
継続して実施							予算額
							42,012千円
							目標値
						-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(1) 地域生活支援体制の整備			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
生活交通バス路線維持・確保事業	企画情報課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
住民の生活交通を維持・確保するため、事業者が運行する路線バス運行に要する経費の一部を補助するもの。							
平成26年度実績							
国庫補助路線 25,168千円 10系統 県単補助路線 43,380千円 5系統 市町単独路線 10,355千円 13系統						決算額	
						78,903千円	
						実績値	-
						進捗状況	-
事業に対する評価・課題等							
利用者の減少→路線廃止、減便等縮小→さらなる利用者の減少、といった悪循環に陥っており、路線再編、経費削減等、事業者の経営努力による対応は、既に限界にきている。路線バスの交通網は辛うじて維持されているものの、補助金の負担も多額であり、市財政を圧迫している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						-	
平成27年度予定							
継続して実施						予算額	
						79,000千円	
						目標値	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(1) 地域生活支援体制の整備			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
離島航路維持・確保事業	企画情報課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
離島住民の生活交通を維持・確保するため、事業者が運行する離島航路運航に要する経費の一部を補助するもの。							
平成26年度実績							
九島航路 42,764千円 日振航路 108,339千円						決算額	
						151,102千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	-
事業に対する評価・課題等							
離島航路においては、離島人口の減少を主な原因とする収入減により、欠損額は増加する一方であり、経費削減等、事業者の経営努力による対応も、既に限界にきている。航路はかろうじて維持されているものの、補助金の負担も多額であり、市財政を圧迫している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						-	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						-	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						-	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						-	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						-	
平成27年度予定							
継続して実施						予算額	
						169,345千円	
						目標値	-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(1) 地域生活支援体制の整備			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
在宅福祉事業(宇和島市緊急通報装置貸与事業)	高齢者福祉課			①充実	②継続	●	③新規
事業の概要							
独居高齢者および重度身体障害者等に対し緊急通報装置を貸与することにより、急病や災害等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図る。							
平成26年度実績							
利用者数 : 256人(3月末利用者) 総事業費 : 2,159,869円						決算額	
						2,160千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
ケアマネージャーや民生委員等に対して業務説明を行ったため、ある程度の周知は図られたが、市全体として更なる周知を行っていきたい。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成27年度予定							
利用者数 : 290人 総事業費 : 2,650,000円(委託料2,200千円、設置手数料450千円)						予算額	
						2,789千円	
						目標値	
						-	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
意志疎通支援事業(コミュニケーション支援事業)	福祉課	374人	事業利用者数 500人	①充実 ●	②継続		③新規
事業の概要							
聴覚、言語機能、音声機能その他の障害のため、意思疎通を図ることに支障がある障害者等の意思疎通の円滑化を目的に、手話通訳等の方法により障害者等とその他の者の意思疎通を仲介する手話通訳者等の派遣等を実施する。							
平成26年度実績							
							決算額
							1,552千円
手話通訳者派遣数 387回							実績値
要約筆記奉仕員派遣数 18回							405人
							進捗状況
							2
事業に対する評価・課題等							
ニーズに対しては必要な支援を実施。課題であった、新規登録通訳者の増員は、2名確保できたが、既登録者の高齢化や昼間動ける登録者の減少(登録者の就労が原因)により、今後長期にわたり昼間活動できる登録者の育成が必要と思われる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							3
平成27年度予定							
							予算額
継続して必要な支援を実施予定。数字は昨年度並みの依頼数を見込んで計上。							1,552千円
							目標値
							400回

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
移動支援事業	福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
屋外で移動に著しい制限のある視覚障害者、全身性障害者、知的障害者、精神障害者及び障害児に対して、外出のための支援を行うことにより当該障害者等の移動に関する福祉の向上に寄与する。							
平成26年度実績							
実利用者数:13人						決算額	
						2,335千円	
						実績値	
						13人	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
必要な支援を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						3	
平成27年度予定							
前年度と同様						予算額	
						2,417千円	
						目標値	
						13人	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
地域活動支援センター	福祉課	175人/月	延利用人数 9,500人	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
障害者(児)及びその家族等に対して地域の実情に応じ、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与することにより、障害者等の地域生活支援の促進に寄与する。							
平成26年度実績							
							決算額
(利用者数 延べ人数) 地域活動支援センターたちばな作業所 1,742人(委託料 6,360,000円/年) 地域活動支援センター柿の木 3,438人(委託料 10,860,000円/年) 地域活動支援センターグリーン工房 3,079人(指定管理料 13,726,641円/年) 地域活動支援センター青空どりーむ 806人(直費 4,452,101円/年) 合計 9,065人(委託料等計 35,398,742円/年)							35,399千円
							実績値
(月別利用者数 延べ人数) 189人(9,065人/12か月)							189人/月
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
必要な支援は実施していると思われる。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
							予算額
前年度と同様							34,849千円
							目標値
							200人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
日常生活用具医療等事業	福祉課	588人	350人				
事業の概要							
在宅の重度障害者(児)に対し、日常生活用具を給付又は貸与することにより、日常生活の便宜を図り、もって障害者の福祉の増進に寄与する。							
平成26年度実績							
給付件数 2,084件 事業利用者人数 560人							決算額
							21,830千円
							実績値
							560人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
平成26年度と同様に実施する							予算額
							23,700千円
							目標値
							560人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
相談支援事業	福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
障害者等が自立した社会生活を営むことができるよう、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を実施する。							
平成26年度実績							
相談実人数：704人 相談延人数：6,276人						決算額	
						25,411千円	
地域活動支援センター柿の木 : 実人数 226人・延人数 3,014人						実績値	
相談支援センター豊正園 : 実人数 238人・延人数 2,107人						6,276人	
南愛媛療育センター : 実人数 174人・延人数 600人						進捗状況	
地域活動支援センターグリーン工房 : 実人数 66人・延人数 555人						4	
事業に対する評価・課題等							
障害者本人や家族、関係者からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、障害福祉サービスの利用等必要な支援を実施している。相談数は、実人数、延人数共に昨年度より増加している。相談者の障害内容は、発達障害、高次脳機能障害、難病など多岐にわたり、相談内容も複雑で、困難ケースも多い。相談支援の充実を図るために、より高い専門性、関係機関との連携、調整などのコーディネート力が求められる。相談件数が増えているが、相談支援専門員数、特に女性の相談支援専門員の確保が困難な状況にある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						3	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						3	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成27年度予定							
平成26年と同様に実施する。相談支援事業所に、相談支援専門員(特に女性の相談支援専門員)の増員をはたらきかける。						予算額	
						23,755千円	
						目標値	
						6,500人	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
自立支援医療事業	福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
障害のため、医療を必要とする者に対し、医療費の助成を行うことにより、自立と日常生活の安定に寄与する。							
平成26年度実績							
自立支援医療(更生医療) 対象レセプト 3,620件(148,335,046円) 自立支援事業(育成医療) 対象レセプト 71件(1,022,947円)							決算額
							149,358千円
							実績値
							3,691件
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
必要な医療助成を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
前年度と同様に、制度に基づき実施。							予算額
自立支援医療(更生医療) 175,000,000円 (育成医療) 2,000,000円							177,000千円
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
重度心身障害者医療事業	福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
重度心身障害者のため医療を必要とする者に対し、医療費の助成を行うことにより、医療費の無料化を実施し、重度心身障害者の生活の安定と福祉の増進に寄与する。							
平成26年度実績							
対象人員:2,327人 助成件数:61,024件 助成金額:338,765千円 施行事務費:4,737千円							決算額
							338,765千円
							実績値
							2,327人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
必要な医療助成を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
前年度と同様に実施予定。							予算額
							360,000千円
							目標値
							2,327人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
特別障害者(児)福祉手当事業	福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
在宅重度障害者の福祉の増進を図るため、精神又は身体に重度の障害を有する在宅障害者の方に対し、その重度の障害によって生ずる特別な負担の一助として手当を支給する。							
平成26年度実績							
対象延べ人数:1,403人						決算額	
						31,093千円	
						実績値	
						1,403人	
						進捗状況	
						4	
事業に対する評価・課題等							
着実に事務を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						4	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						4	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						4	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						4	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						4	
平成27年度予定							
前年度と同様に実施予定。						予算額	
						33,000千円	
						目標値	
						1,403人	

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(2) 地域生活の支援			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
特別児童扶養手当事務事業	福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
精神又は身体に障害のある児童を家庭において看護している者に対して、国が特別児童扶養手当を支給し、その児童の福祉の増進を図るため、事務取扱を実施する。							
平成26年度実績							
受給者数:157人							決算額
							217千円
							実績値
							157人
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
着実に事務を実施している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
前年度と同様に実施予定。							予算額
							275千円
							目標値
							157人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(3) 教育・育成の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
特別支援教育推進事業	福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
関係機関との連携のもと、障害児教育、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努める。							
平成26年度実績							
宇和特別支援学校の進路学習会に参加(3回/年) 目的:卒業後の進路や福祉サービスに関する情報提供と関係機関の連携を図るため 9月 8日 高等部1年生(11名) 10月 6日 高等部2年生(9名) 12月15日 高等部3年生(12名)							決算額
							実績値
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
進路の選択や福祉サービスの手続きなどについて、相談支援専門員と行政が助言等を行っている。福祉サービスを利用する場合にはどのような支援が必要か確認できる機会になっている。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							
平成27年度予定							
宇和特別支援学校の進路学習会に参加(3回/年) 日程未定							予算額
							目標値

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進		(3) 教育・育成の充実		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
特別支援教育推進事業	福祉課 【教育総務課】			①充実 ●	②継続 □ ③新規 □
事業の概要					
関係機関との連携のもと、障害児教育、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努める。					
平成26年度実績					
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携をとり、個別の特別支援教育の取組や、特別支援教育研修会、講演会、就学相談を受けながら、一貫した教育・育成に努めた。 ・特別支援教育連携協議会や研修会に積極的に参加し、障害児教育の理解に努める。また、小学校や関係機関との連携を図り、就学に向けた教育相談を実施した。 ・幼児一人一人の実態を把握し、幼児の成長・発達を促すために研修・実践を行い、教育の充実を図る。 ・保護者、あけぼの園、保健師、小学校等との連携を図りながら保育を進めるとともに、就学に向けた支援に努めた。 					決算額
					—
					実績値
					100%
					進捗状況
					5
事業に対する評価・課題等					
<ul style="list-style-type: none"> ・個別の特別支援教育の就学相談などの保護者の理解と協力を得てどのように推進していくか。 ・配慮を要する幼児についての共通理解を図り、指導にあたることで成果が感じられた。 ・保護者や小学校、関係機関との連携を図ることによって研修が深まり、個別の支援教育の充実を図ることができた。 ・研修会への参加や園内研修の充実を図り、関係機関や小学校との連携を強化することができた。 ・園内研修等で、特別支援コーディネーターを中心に、配慮を要する幼児についての共通理解を図り、指導にあたることができた。 ・保護者を含め、配慮を要する幼児への温かい関係づくりができた。小学校にも理解と配慮をってもらうことができ、安心して就学することができた。 ・信頼関係のもと、支援を要する幼児の保護者と連携を図る努力を続けなければならない。 					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					5
平成27年度予定					
<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育の研修会や講演会に参加し、理解を深め、援助の仕方を工夫していく。 ・家庭や関係機関、小学校等との連携を図り、就学後の引き継ぎを計画的・組織的に行うための工夫をしていく。 ・個別の指導計画、個別の支援計画の作成。 ・あけぼの園、保健師との情報交換に努め、配慮を要する幼児にとって居心地のいい園づくりを行う。 ・望ましい支援の在り方について、職員研修を充実させる。 					予算額
					—
					目標値
					100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(3) 教育・育成の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
特別支援教育推進事業	学校教育課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
関係機関との連携の下、特別支援教育の充実、就学・進路相談の充実など、一貫した教育・育成に努める。 高齢者や障害者についての理解を深める。 相手の立場と人格を尊重する態度を育成する。							
平成26年度実績							
特別養護老人施設を訪れるなど、福祉問題を学ぶ学習機会を充実させた。 学校・学級通信・保健室便りを通して、障害を持った人々への理解を深める内容を掲載した。 校内支援委員会において、特別支援学級の児童だけでなく、支援の必要な児童についての共通理解を図り、共通実践した。 特別支援学級在籍の児童をより深く理解するため、特別支援学校や支援施設に出向き、指導法について研修した。 校内支援委員会の充実を図った。 高齢者との交流会を通じて、様々な知恵や生きる力を実感させることができた。 老人介護養護施設を訪問したり、老人クラブと交流したりして、障害のある人々へや高齢者への理解を深めた。 地域の高齢者と軽スポーツを通して交流した。 全教職員参加の教育相談を行い、児童理解に努めた。 保護者や家族の願いを把握するため、個別懇談会を定期的に行った。							決算額
							実績値
							90%
							進捗状況
4							
事業に対する評価・課題等							
特別支援教育コーディネーターを中心に校内就学指導委員会を組織し、定期的に開催することにより、全職員が共通理解のもと取り組むことができた。 また、ケース会議等、関係機関と連携した取組も積極的に行うことができた。 各専門機関と連携をとり、指導を受けながら個々のニーズにあった支援を行うことができた。 障害のある方との交流を通して、相手の立場に立って考えることの大切さを学ぶことができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
校内就学指導委員会の実施、特別支援教育の研修の実施、ケース会議の開催。 配慮が必要な生徒の数が多くなっているため、校内においては、特別支援教育支援員や学校生活支援員との連携を強化する。 さらに、特別支援学校等、外部の専門的機関からの指導・助言を受けるなど校内研修の充実を図る。 校内支援委員会を充実したものにし、児童の個に応じた支援を行っていく。							予算額
							目標値
							100%

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(4) 消費者対策の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	②継続	●	③新規
消費者教育事業(消費者講座)	企画情報課	310人	500人				
事業の概要							
消費者支援講座の開催。							
平成26年度実績							
各地域の集まりや、社協のサロン・公民館事業等において消費生活出前講座を開催 3回(参加人数 述べ92人) (消費者相談員による悪質商法の手口等の対処方法等の紹介等)							決算額
							-
							実績値
							92名
							進捗状況
							3
事業に対する評価・課題等							
市民に対して、自分自身で身を守る知識や判断能力を身に付けることを目的とした講座を行った。今後においても、消費に関する正しい情報や知識を啓発することが大切と考える。ただし、消費生活相談員が1名体制のため窓口等での相談業務との両立が困難である。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
公民館職員研修会や民生児童委員等の会議で、消費生活出前講座及び悪徳商法等についてのパンフレットを配布し、啓発活動を行いながら実施。							予算額
							-
							目標値
							500人

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(4) 消費者対策の充実			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
消費者啓発事業	企画情報課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
消費者に関する理解を広めるため、消費生活センターの周知を行なうとともに、意識啓発を図ろうとするもの。							
平成26年度実績							
広報うわじまへの記事掲載 3回/年 安心安全メールによる注意喚起 11回(H27.4.21現在 5,288名登録) ロビー展開催 H26.7.7-7.11 市役所1階ロビー 市民約500名 H26.7.14 南予文化会館(男女共同参画講演会時) 市民約834名							決算額
							-
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
多くの市民に対して最近多くみられる事例等を紹介することができ、消費者被害に遭わないように注意喚起・啓発を行うことができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							-
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
例年同様に各種手法を用いた注意喚起等を行っていく。							予算額
							-
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進		(5) 高齢者の生きがいがづくり		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
老人クラブ育成事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
高齢者の生きがいや健康づくりを推進するため、老人クラブ活動への補助金を交付している。					
平成26年度実績					
年間活動延月数 : 1,320ヶ月(110クラブ) ○社会奉仕活動事業(地域清掃活動、花づくり活動、独居高齢者訪問活動等) ○老人教養講座開催事業(介護講座、健康講座、防災講座等) ○健康増進事業(健康体操教室、グランドゴルフ、ペタンク等)					決算額
					1,716千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
					3
事業に対する評価・課題等					
高齢者の生きがいや健康づくりの推進が図られた。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成27年度予定					
年間活動延月数 : 1,320ヶ月 ○社会奉仕活動事業(地域清掃活動、花づくり活動、独居高齢者訪問活動等) ○老人教養講座開催事業(介護講座、健康講座、防災講座等) ○健康増進事業(健康体操教室、グランドゴルフ、ペタンク等)					予算額
					1,716千円
					目標値
					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(5) 高齢者の生きがいつくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)	①充実	●	②継続	③新規
高齢者の生きがいつくり推進事業(地区公民館)	生涯学習課	26館	30館				
事業の概要							
高齢者が地域の活動に積極的に参加し、生き生きと暮らしていけるよう、各地区公民館において高齢者が気軽に参加できる学級・講座や学校の教育活動を支援するボランティア活動を実施するもの。							
平成26年度実績							
							決算額
							75千円
【高齢者学級】 実施公民館数 : 27館 実施回数 : 90回 高齢者参加数 : 1,927人(うち、男性625人、女性1,302人)							実績値
							27館
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
各種学級・講座は、男女の別や年齢に関わらず、できるだけ多くの方が学べるように、土日や日中、夜間等に分散しており、内容もできるだけ住民の学習ニーズに応えられるように工夫している。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							3
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
							予算額
【高齢者学級】 実施公民館数 : 28館 実施回数 : 81回 延べ時間数 : 143時間							163千円
							目標値
							28館

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	1 社会参画の推進			(6) 高齢者や障害者等にやさしいまちづくり			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
障害者用トイレ設置事業(中央・地区公民館)	生涯学習課	13館	15館	①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
公民館33館(中央公民館、分館2館含む)のうち、障害者用トイレ設置館は13館で、将来的に全館設置を目指しているものの、多額の財源を必要とするため、長期的な計画として引き続き平成29年度までに2館増を目標とするもの。							
平成26年度実績							
障害者用トイレ設置のための現地調査を実施したが、多くの財源を必要とするため事業を実施することができなかった。							決算額
							0千円
							実績値
							—
							進捗状況
							1
事業に対する評価・課題等							
障害者用トイレ設置済みの公民館からは、暖房便座、ウォシュレット等の設置希望があり、今後未設置の公民館の設置と併せて協議していく必要がある。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							—
平成27年度予定							
障害者トイレ設置のための現地調査を継続する。							予算額
							0千円
							目標値
							—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実		(1) 介護予防事業の実施		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
介護予防事業に係る二次予防事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められた65歳以上の者(二次予防事業対象者)を、基本チェックリストで把握する。把握した二次予防事業対象者に、通所型介護予防事業や訪問型介護予防事業を実施する。事業の利用等により、要介護状態等となることを防ぎ、活動的で生きがいのある生活や人生を送ることができるよう支援する。					
平成26年度実績					
○基本チェックリスト実施者……4,345人 ○二次予防事業対象者……720人 ○通所型介護予防事業利用者 ・運動器の機能向上プログラム参加者……実人員135人 ・栄養改善プログラム参加者……実人員1人 ・口腔機能の向上プログラム参加者……実人員27人 ○訪問型介護予防事業利用者……実人員0人					決算額
					12,269千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
					4
事業に対する評価・課題等					
○各関係機関との連携により、広く基本チェックリストの実施が図れてきている。 ○広報、リーフレット配布等により啓発活動を行い、広く周知されてきた。 ○二次予防事業利用者に、運動器の機能向上プログラム等を実施し効果があらわれている。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					3
平成27年度予定					
○二次予防事業対象者……見込み700人 ○通所型介護予防事業利用者……最大利用見込み実人員147人 宇和島会場1セット24回：計6セット、三間・吉田・津島会場1セット13回：計各会場2セット ○訪問型介護予防事業利用者……実人員1人					予算額
					14,178千円
					目標値
					-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実		(1) 介護予防事業の実施		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
介護予防事業に係る一次予防事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
地域において介護予防に資する自発的な活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組が主体的に実施されることを図る。 健康教育や健康相談等を通じて、介護予防を普及啓発したり、地域における活動の育成や支援を行う。					
平成26年度実績					
◎介護予防普及啓発事業 ○各種講座……313回・7,753人(うち介護予防講座…64回・1,459人) ○相談会……12回・152人、健康相談(保険健康課)…220回・1,635人 ○「シニア元気づくりお役立ちガイド及び情報」発行……34,800部配布 ○介護予防リーフレット配布3,000枚 ◎地域介護予防活動支援事業 ○ボランティア講座等……32回・357人、ボランティアスキルアップ研修……6回・135人 ○シニア元気づくりサポーター育成事業……12回・124人 ○高齢者元気づくり推進事業……2,667件 ○ミニサークル支援活動……20回・226人 ○ふれあいいいききサロン……45回・595人 ○自主グループ支援……13回・97人					決算額
					9,582千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
事業に対する評価・課題等					
◎介護予防普及啓発事業 ・広報、パンフレット配布、保険健康課や公民館事業と連携した普及・啓発は図れている。 ・シニア元気づくり体操普及事業・通所型介護予防事後事業を実施することにより、介護予防活動が市民に浸透してきている。 ◎地域介護予防活動支援事業 ・シニア元気づくりサポーター育成事業や介護予防ボランティア養成講座の実施により、介護予防活動への参加・ボランティア養成の基盤整備を図っているが、ボランティアの育成までには至っていない。今後の取り組みが必要。 ・高齢者元気づくり推進事業等により、高齢者が身近に集う場としての高齢者サロンの拡充や介護予防の普及啓発が図れてきている。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					
平成27年度予定					
○シニア元気づくり体操普及事業(元気アップ体操教室)……5会場各毎月1回6ヶ月間 計30回(実人数150人) ○通所型介護予防事後事業……12回(実人数15人) ○認知症予防教室1コース6回 年4回 計24回(実人数60人) (心動げんき教室) ○介護予防講座……40回 ○健康相談(保険健康課)……220回、健康教育……230回 ○ボランティア講座等……38回 ○地域活動組織への講師派遣……580回 ○「シニア元気づくりお役立ちガイド」発行……34,800部配布					予算額
					11,352千円
					目標値
—					

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実			(2) 地域包括支援センター事業の実施			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
介護予防ケアマネジメント事業	高齢者福祉課			①充実		②継続 ●	③新規
事業の概要							
要介護状態等となるおそれの高い虚弱な状態にあると認められた65歳以上の者(二次予防事業対象者)を、要介護状態となることを予防する為、心身や環境等の状況に応じて、対象者自らの選択に基づき、介護予防事業等その他の適切な事業が包括的かつ効率的に実施されるよう必要な援助を行うことを目的としてケアマネジメントを行う。							
平成26年度実績							
介護予防ケアプラン作成数 : 135件 介護予防ケアプラン評価数 : 135件						決算額	
						284千円	
						実績値	
						左記参照	
						進捗状況	4
事業に対する評価・課題等							
○個別性を重視し自立支援を目指した適切な介護予防ケアプランの作成や、計画を定期的に評価し見直しを行うことで、改善に向けた支援ができた。 ○二次予防事業の通所型介護予防事業や訪問型介護予防事業と連携して実施する事ができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか						3	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか						5	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか						5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか						5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか						3	
平成27年度予定							
介護予防ケアプラン作成見込数 : 130件						予算額	
						307千円	
						目標値	—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実		(2) 地域包括支援センター事業の実施		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
<p>高齢者が安心して生活を続けていくために、介護保険サービスだけでなく関係機関のネットワークを活かしながら、総合相談支援を通じて、制度の垣根を越えた横断的・多面的な援助を目指す。</p> <p>高齢者が認知症や要介護状態になっても、生命や財産が守られ、日常生活に支障をきたすことなく安心して暮らすことができるよう、個人の尊厳を保持するための権利擁護事業の効果的な活用を促進する。</p>					
平成26年度実績					
◎総合相談事業 ○総合相談延べ件数……4,405件 ◎権利擁護事業 ○高齢者虐待通報件数……23件(内、虐待と認定した件数……16件) ○成年後見制度に係る相談件数延べ件数……353件(実人数51人、申立て件数10件)					決算額
					5,821千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
4					
事業に対する評価・課題等					
○個別訪問により実態把握を行うことで、支援を必要とする高齢者を発見し、適切な支援や継続的な見守りを行い、問題の予防的対応を図っていくことができた。 ○協力事業所や見守り推進員と連携して、地域全体で見守りや訪問等を行い、日常的な安否を確認するとともに、異常等を発見した時に迅速に対応できるよう努めた。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					5
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					3
平成27年度予定					
◎総合相談事業 ○初期相談から、継続的・専門的な援助まで対応する総合的な相談支援 ○高齢者の実態把握のための個別訪問 ○高齢者地域見守りネットワークの運営 ◎権利擁護事業 ○高齢者虐待防止への取組 ○成年後見制度の活用 ○消費者被害の防止					予算額
					6,007千円
					目標値
					—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり				
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備				
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実		(2) 地域包括支援センター事業の実施		
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向	
		現状値(H25)	目標値(H29)		
成年後見人制度支援事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ● ③新規
事業の概要					
①高齢者などからの権利擁護に関わる相談などに対応する。 ②成年後見人制度の利用が必要と思われる人について、その家族などに成年後見人制度の必要性や手続き等を説明し、申し立てにつなげる。 ③成年後見人制度が必要であるにも関わらず身寄りがないような人について、市長申し立てにつなげる事等の権利擁護に係る事業を行う。					
平成26年度実績					
○相談延べ件数……353件 ○申し立て支援……51件 ○申し立て件数……10件(うち市長申し立て件数 1件)					決算額
					96千円
					実績値
					左記参照
					進捗状況
4					
事業に対する評価・課題等					
成年後見人制度の利用に関する説明や助言を行い、申し立てにともなう支援を行った。又、成年後見人制度を広く普及させるための広報の利用、並びに地域の医療機関、権利擁護に関わる団体等との連携を図った。					
男女共同参画の視点での評価					
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					4
平成27年度予定					
○成年後見人制度利用支援事業見込人数……2名 ○市長申し立て見込件数……3件 ○制度普及のための研修会開催……2回 ○相談・制度説明・手続支援					予算額
					771千円
					目標値
—					

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり					
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備					
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実		(2) 地域包括支援センター事業の実施			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向		
		現状値(H25)	目標値(H29)			
包括的・継続的ケアマネジメント事業	高齢者福祉課			①充実	②継続 ●	③新規
事業の概要						
地域包括ケア体制ネットワークの構築 介護支援専門員の情報交換促進 介護支援専門員に対する日常的指導・相談 支援困難事例への指導						
平成26年度実績						
地域ケアネットワーク会議を構成する部会を定期的を開催することで、地域ケアネットワーク会議の強化を図った。 ◎地域ケアネットワーク会議……3回 ・介護支援専門員部会……6回 ・介護サービス事業所部会……3回 ・認知症対策部会……8回 ・地域見守り部会……2回 ・権利擁護部会……4回 ・介護予防部会……4回 ・主任介護支援専門員研修会……1回 ・ケアマネ支援…218件/年、 サービス担当者会議への参加…20回/年、 合計238件					決算額	
					762千円	
					実績値	
					左記参照	
					進捗状況	
						4
事業に対する評価・課題等						
市内41か所の居宅介護支援事業所の介護支援専門員100名からの相談は、年々支援困難事例が増加しているため、部会を定期的を開催し関係機関との繋がりを強化することで、個別の事例に対応できるネットワーク構築に力を入れている。今後は、独居高齢者の見守り、虐待、認知症等多様化する問題に対応できる様、地域ケアネットワーク会議及び部会の充実を図り、運営協議会との繋がりを強めていく必要がある。						
男女共同参画の視点での評価						
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか					5	
性別による固定的な役割分担等が行われていないか					3	
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか					5	
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか					5	
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか					3	
平成27年度予定						
◎介護支援専門員に対する個別支援 ①支援困難事例を抱える介護支援専門員への支援(窓口相談・同行訪問) ②サービス担当者会議の開催支援 ③ケアマネジメントの質の向上のための研修会開催 ◎包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築 ①「地域ケアネットワーク会議」を中心とした関係機関の連携体制づくり					予算額	
					865千円	
					目標値	
						—

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	—

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり			
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備			
施策の方向及び具体的施策	2 介護予防事業の充実		(3) 認知症高齢者への支援	
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向
		現状値(H25)	目標値(H29)	
介護予防事業に係る一次事業 総合相談・権利擁護事業	高齢者福祉課			①充実 ②継続 ● ③新規
事業の概要				
「認知症になっても安心して暮らせる街・宇和島」を目指し、認知症高齢者を取り巻く問題の支援体制システムを構築する。一次予防事業の中で認知症の予防を図り、総合相談・権利擁護事業で認知症の方の相談を行い、認知症の方がより安心して生活できるよう支援する。				
平成26年度実績				
宇和島市独自で認知症高齢者への対策に取り組む。(包括的支援事業の一環としての取組) ○地域ケアネットワーク会議・認知症対策部会……適宜部会を開催し、宇和島市として取り組む認知症対策について、検討する。年8回開催。 ○認知症ケアパス検討会 年3回 ○徘徊SOSネットワークの構築事業……徘徊SOSネットワーク構築の為の協力者を確保するとともに、情報伝達のしくみを宇和島市全体で取り組む。認知症フォーラム1回開催(79名参加)、だんだんネット協力事業所25事業所追加。により、26年度末時点で協力事業所総数398事業所。 ○認知症学習会 ・認知症講演会 174名参加 ・認知症講座(サポーター養成講座) 年28回・914人 ・キャラバンメイトフォローアップ研修……キャラバン・メイト連絡会の結成 年1回・26名参加、メイト登録者147名 ・認知症家族のつどいへの協力 年12回、 ・認知症相談室……医師相談 年5回・12件				決算額
				390千円
				実績値
				左記参照
				進捗状況
4				
事業に対する評価・課題等				
○認知症に係る事例検証など、学習会及び研修会を通じて関係者を通じて、認知症が病気であることの理解者や支援できる認知症サポーターの養成が推進できた。				
○徘徊SOSネットワークの構築については、系統的な情報伝達のしくみについて、整備に一層の努力が必要と思われる。				
男女共同参画の視点での評価				
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか				5
性別による固定的な役割分担等が行われていないか				3
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか				5
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか				5
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか				3
平成27年度予定				
オレンジプランに基づき認知症高齢者への対策に取り組む。(包括的支援事業の一環としての取組) ○地域ケアネットワーク会議・認知症対策部会……適宜部会を開催し、認知症対策について、検討する。 ○徘徊SOSネットワークの構築事業……徘徊SOSネットワーク構築の為の協力者を確保し、情報伝達ルートの確立。 ○認知症医療・ケア研修会、ケアマネとの連携 ○認知症学習会 ・認知症講演会の実施 年1回 ・認知症講座(サポーター養成講座) 年30回 ・キャラバンメイトフォローアップ研修……キャラバン・メイト連絡会の開催 年1回 ・認知症家族のつどいへの協力 年12回 ・認知症相談室……医師相談 年6回 ○認知症ケアパス検討会 年3回 認知症ケアパス作成ワーキング会議 年5回				予算額
				599千円
				目標値
-				

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-

基本目標	Ⅳ 男女がともに安心して暮らすことができる地域づくり						
推進方策	3 高齢者や障害者等がいきいきと生活できる条件整備						
施策の方向及び具体的施策	3 貧困など生活上の困難に直面する男女への支援			(1) 多重債務相談の実施			
関連事業	担当課	数値目標		計画(第2次)での方向			
		現状値(H25)	目標値(H29)				
多重債務相談	企画情報課			①充実		②継続	③新規
事業の概要							
認定司法書士による多重債務相談を行ない、問題解決方法などの情報提供を行なう。							
平成26年度実績							
認定司法書士による多重債務相談 年6回開催。							決算額
							90千円
							実績値
							-
							進捗状況
							4
事業に対する評価・課題等							
債務問題を抱えた方に対して、専門家による問題解決方法などの情報提供を行うことができた。また、消費生活相談員による消費生活に関する問題に対する相談窓口の充実を図ることができた。							
男女共同参画の視点での評価							
事業の企画・立案・実施にあたり、男女双方の意見が取り入れられているか							4
性別による固定的な役割分担等が行われていないか							4
事業の対象者を男女ともに想定し、双方が利用・参加しやすいような配慮がなされているか							4
事業の効果が、男女双方に及ぶように配慮されているか							4
広報・出版物などが男女共同参画に配慮した表現となるよう工夫されたか							4
平成27年度予定							
認定司法書士による多重債務相談 年6回開催。							予算額
							90千円
							目標値
							-

実績の進捗状況	
かなり進んでいる	5
ある程度進んでいる	4
若干進んだと思う	3
あまり進んでいない	2
全く進んでいない	1

男女共同参画の視点での評価	
十分に考慮されている	5
ある程度、考慮されている	4
若干、考慮されている	3
ほとんど考慮されていない	2
全く考慮されていない	1
該当しない	-